

平成26年  
山梨県観光入込客統計調査報告書

## 目 次

<b>第 1 部 観光入込客統計調査</b> .....	<b>1</b>
1 . 調査目的.....	2
2 . 調査期間.....	2
3 . 調査方法.....	2
4 . 調査分析項目.....	3
5 . 圏域分類.....	4
6 . 用語の定義 .....	5
7 . 平成 26 年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8 . 調査結果（実人数） .....	8
( 1 ) 平成 26 年本県観光の概況 .....	8
( 2 ) 平成 26 年圏域別観光入込客数.....	10
( 3 ) 平成 26 年市町村別観光入込客数 .....	12
( 4 ) 平成 26 年宿泊観光客数.....	15
( 5 ) 平成 26 年観光消費額 .....	17
( 6 ) 月別の観光動向.....	18
( 7 ) 圏域別観光の動向 .....	22
【参考】観光入込客数（延べ人数） .....	27
<b>第 2 部 観光地点等パラメータ調査による分析</b> .....	<b>33</b>
1 . 調査の概要 .....	<b>34</b>
( 1 ) 調査日 .....	34
( 2 ) 調査地点、サンプル数.....	34
( 3 ) 本報告書の計算値について.....	34
2 . 観光客の特性、動態状況の分析 .....	<b>35</b>
( 1 ) 本県観光客の全体像.....	35
( 2 ) 性別・年代別の観光客の特徴.....	69
( 3 ) 圏域別の観光客の特徴.....	73
3 . アンケート調査票.....	<b>84</b>

## 第 1 部 観光入込客統計調査

## 1．調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

## 2．調査期間

平成26年1月1日～平成26年12月31日

## 3．調査方法

### （1）調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、本県では平成22年4月より観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を導入し、観光入込客数や観光消費額について、全国共通の基準により四半期毎に調査集計を行っている。

具体的には、観光地点等入込客数調査（単純集計による延べ人数）、観光客を対象とする観光地点アンケート（パラメータ）調査を実施し、及びの調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、観光入込客の分析を行った。

図表1 観光入込客調査方法

項目	調査内容
調査対象	・年間入込客数が1万人以上、又は特定月で5千人以上の観光地点を集計する。（集計対象は前年実績により毎年当初に判定。）
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会
調査地点数	・平成26年対象地点398箇所

### （2）集計方法の留意点

観光入込客実人数の算定では、イベント・行祭事を含めていない。

また、各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

#### 4 . 調査分析項目

調査分析項目は以下のとおりである。

図表2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数（月別、圏域別、市町村別、外国人）
宿泊客数	実人数（月別、圏域別、外国人）
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

## 5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域( 峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部 )に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

図表3 圏域分類

圏域名	所在市町村
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 甲府市(湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向) 旧敷島 芸術の森・武田神社周辺 甲府市(上記地区以外) 広河原・芦安温泉周辺 旧芦安村 榊山・果実郷周辺 旧八田村、旧白根町、旧榊形町 釜無川沿岸 旧竜王町、旧双葉町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 風土記の丘周辺 旧中道町、旧豊富村、旧上九一色村(甲府市編入区域)
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 旧塩山市 勝沼ぶどう郷周辺 旧勝沼町、旧大和村 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 山梨市(旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村) 石和温泉・果実郷周辺 笛吹市(旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村)
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 身延町(旧下部町、旧身延町、旧中富町) 早川周辺 早川町 峡南北部 市川三郷町(旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町)、富士川町(旧増穂町、旧鯉沢町) 峡南南部 南部町(旧南部町、旧富沢町)
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 金峰・みずがき周辺 旧須玉町 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 韮崎市、旧白州町、旧武川村 茅ヶ岳周辺 旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 旧上九一色村(富士河口湖町編入区域)、旧足和田村、鳴沢村 本栖湖・精進湖・西湖周辺 忍野村、山中湖村 山中湖・忍野周辺 忍野村、山中湖村 大月・北都留 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 桂川・道志川周辺 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 新分類による圏域位置図



## 6 . 用語の定義

### ( 1 ) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

### ( 2 ) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

### ( 3 ) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

### ( 4 ) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

### ( 5 ) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

### ( 6 ) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

### ( 7 ) 観光地点等入込客数 ( 延べ人数 )

観光地点及び行祭事・イベント ( 以下「観光地点等」という。 ) ごとの観光入込客の総数をいう。

### ( 8 ) 観光入込客数 ( 実人数 )

県内の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。この実人数は、観光地点パラメータ調査で把握された観光入込客の平均訪問地点数で、延べ人

数を除することで求められる。

( 9 ) 訪問地点数

観光入込客 1 人の 1 回の旅行において県内で訪問した観光地点の数をいう。

( 10 ) 観光消費額単価

観光入込客 1 人の 1 回の旅行における県内での観光消費額をいう。

( 11 ) 観光消費額

本県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数(実人数)と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。



## 7. 平成 26 年観光客入込客調査結果の概要

### (1) 観光入込客

観光客実人数	30,017 千人 (前年(29,678 千人)比 101.1%)
観光客延人数	43,406 千人 (前年(43,515 千人)比 99.8%)
平均訪問観光地点数	1.3 地点 (前年 1.3 地点)

観光客実人数はイベント・行祭事を除き算定 (5 ページ 6(8)参照)  
観光客延人数はイベント・行祭事を含み算定 (5 ページ 6(7)参照)

### (2) 日帰り・宿泊別観光入込客

日帰り客実人数	22,624 千人 (前年(23,157 千人)比 97.7%)
宿泊客実人数	7,393 千人 (前年(6,521 千人)比 113.4%)

### (3) 居住地別観光入込客

県外客実人数	22,732 千人 (前年(22,120 千人)比 102.8%)
県内客実人数	7,285 千人 (前年(7,558 千人)比 96.4%)

### (4) 訪日外国人客

延べ宿泊者数	942 千人 (前年(492 千人)比 191.3%)
--------	-----------------------------

本項目は観光庁宿泊旅行統計調査 (速報値) の数字を比較。

### (5) 目的別観光入込客 (延べ人数)

自然	6,602 千人 (前年(6,091 千人)比 108.4%)
歴史・文化	9,261 千人 (前年(8,855 千人)比 104.6%)
温泉・健康	5,716 千人 (前年(6,025 千人)比 94.9%)
スポ・レク	9,041 千人 (前年(9,376 千人)比 96.4%)
都市型観光	4,047 千人 (前年(4,269 千人)比 94.8%)
行祭事・イベント	3,514 千人 (前年(3,605 千人)比 97.5%)
その他	5,225 千人 (前年(5,294 千人)比 98.7%)

本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客数の単純集計結果による。

### (6) 季節別観光入込客

春(3~5月)	7,276 千人 (前年(7,240 千人)比 100.5%)
夏(6~8月)	9,899 千人 (前年(9,550 千人)比 103.7%)
秋(9~11月)	8,137 千人 (前年(7,972 千人)比 102.1%)
冬(1~2月、12月)	4,704 千人 (前年(4,916 千人)比 95.7%)

### (7) 観光消費額

観光消費額	4,460 億円 (前年(3,643 億円)比 122.4%)
1人当たり平均消費額	14,858 円 (前年(12,274 円)比 121.1%)

## 8. 調査結果（実人数）

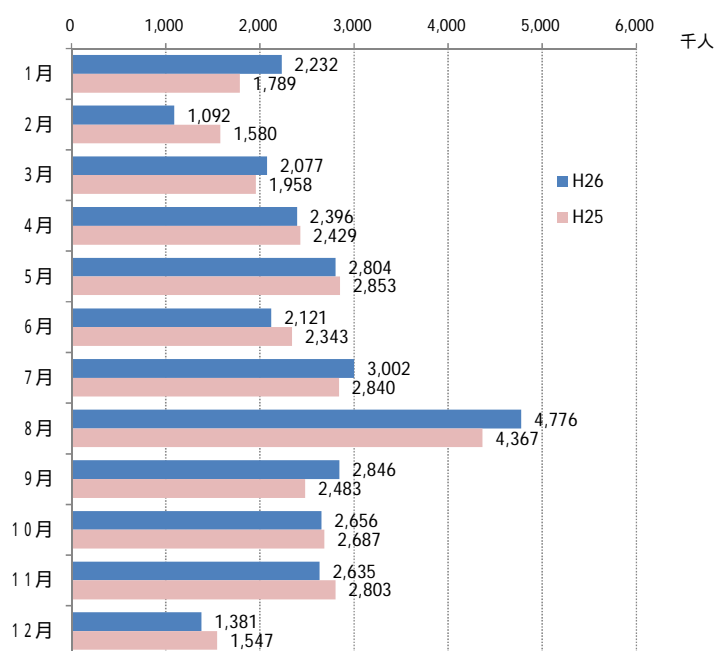
### （1）平成26年本県観光の概況

平成26年の山梨県における観光入込客数は、実人数で3,002万人と推計され、前年(2,968万人)から1.1%の増加となった(図表5)。月別の観光入込客(実人数)では、8月が478万人(構成比15.9%)と最も多く、次いで7月の300万人(同10.0%)となっている。

図表5 月別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

項目	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,231,725	7.4%	1,789,395	6.0%	124.7%
2月	1,091,550	3.6%	1,580,109	5.3%	69.1%
3月	2,076,894	6.9%	1,957,557	6.6%	106.1%
4月	2,395,805	8.0%	2,429,422	8.2%	98.6%
5月	2,803,601	9.3%	2,852,782	9.6%	98.3%
6月	2,120,823	7.1%	2,343,116	7.9%	90.5%
7月	3,002,094	10.0%	2,839,956	9.6%	105.7%
8月	4,776,161	15.9%	4,366,908	14.7%	109.4%
9月	2,846,438	9.5%	2,483,176	8.4%	114.6%
10月	2,655,787	8.8%	2,686,868	9.1%	98.8%
11月	2,634,851	8.8%	2,802,535	9.4%	94.0%
12月	1,381,114	4.6%	1,546,613	5.2%	89.3%
年計	30,016,843	100.0%	29,678,438	100.0%	101.1%



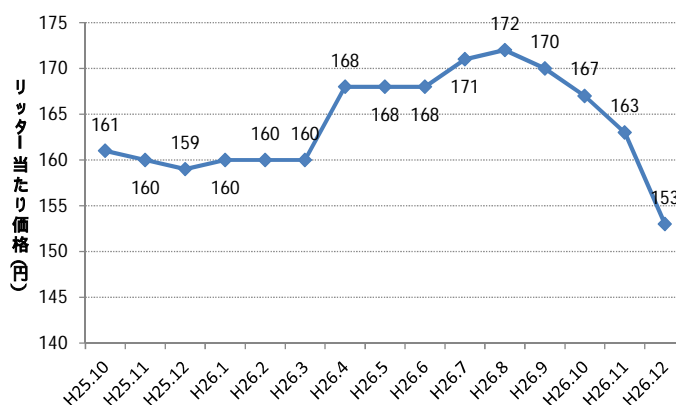
月別の特徴をみると、1月は前年末までの増加傾向が継続して好調であったが、2月は山梨県の気象観測史上最高の豪雪に見舞われ、県内各地において、鉄道や道路などの交通網の混乱等の影響により、実人数は前年に比べ大幅に減少した。3月については、前年比増まで回復した。4月から6月にかけては、富士山の世界文化遺産登録によって大幅に増加した前年の反動もあって減少した。7月から9月は、ガソリン価格(図表6)が年内最高水準まで上昇したものの、5%以上の伸びを示した。その要因として、猛暑による減少に転じた前年からの入込客の回復、4月から放映が開始されたNHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」による山梨県の知名度の向上及び全国高等学校総合体育大会の開催などが考えられる。一方、10月から12月については前年よりも伸び悩んだ。

4月から消費税が増税されたことや休日特別割引等高速道路のETC割引の一部が終了したことに加え、貸切バスの料金制度の改定に伴い、事実上値上げされたことを受け、日帰りツアー料金やルートの見直しが行われるなど、様々な負の要素が観光活動に影響を及ぼしていることも推測される。

このような厳しい環境の中、今後の課題としては、引き続き、世界遺産登録を契機とした新規訪問者をリピーターとして定着を図ること、また、夏季のみならず、年間を通じて一定の観光客数を保てるよう平準化していくこと、さらに、特定の地点のみならず、県内広範囲への周遊に結びつけられるようにするといった方策について、模索していくことが必要であると思われる。

	主な出来事
1月	ロンドンにおける山梨県知事の甲州ワイントップセールス実施
2月	2/14～15観測史上最高の降雪量を記録
3月	
4月	NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」放映(～9月末)
5月	新御坂トンネル天井板撤去工事に伴う全面通行止め(～6月末)
6月	南アルプスユネスコエコパークの登録決定
7月	7/10富士スバルラインマイカー規制(8月と合わせて53日間)
8月	全国高等学校総合体育大会開催(～8/20)
9月	
10月	台風18号及び19号による大雨被害
11月	
12月	12/17JR東海リニア中央新幹線着工

図表6 レギュラーガソリン価格の推移(総務省「小売物価統計調査」より)



(2) 平成26年圏域別観光入込客数

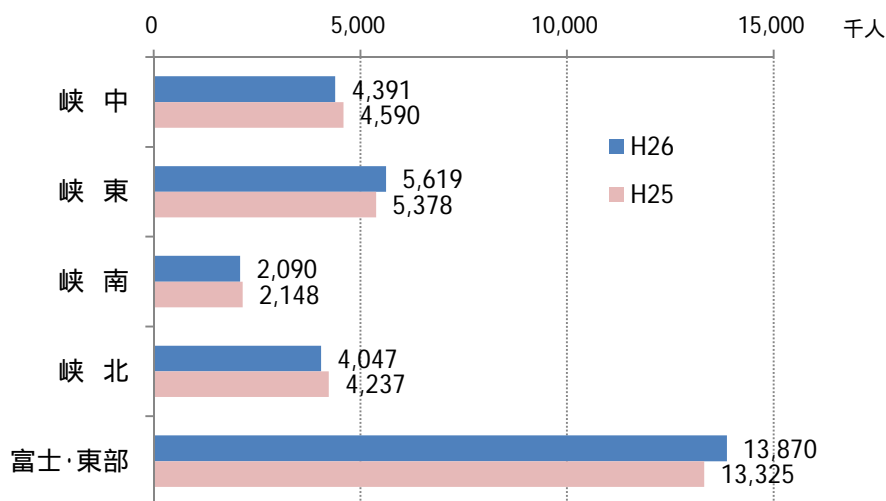
平成26年の観光入込客数を圏域別にまとめると、**図表7**のとおりである。

圏域別では、富士・東部圏域が1,387万人（前年比104.1%）と最も多く、構成比では県内全体の46.2%を占めている。次いで峡東が562万人（同104.5%）、峡中が439万人（同95.7%）、峡北が405万人（同95.5%）、峡南が209万人（同97.3%）となっている。前年との比較では、峡東での増加割合が高く4.5%増加したほか、富士・東部も4.1%増となった。富士・東部では、構成比が1.3ポイントと大きく上昇しており、入込客の集中が続いている。

図表7 圏域別観光入込客（実人数）

（単位：人、%）

圏域名	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,391,174	14.6%	4,590,067	15.5%	95.7%
峡東	5,619,031	18.7%	5,378,330	18.1%	104.5%
峡南	2,089,857	7.0%	2,148,210	7.2%	97.3%
峡北	4,046,891	13.5%	4,236,813	14.3%	95.5%
富士・東部	13,869,889	46.2%	13,325,019	44.9%	104.1%
年計	30,016,843	100.0%	29,678,438	100.0%	101.1%



なお、平成26年の圏域別観光入込客数を、さらに詳細に、月別・小圏域単位でまとめると、**図表8**のとおりである。

図表8 平成26年観光入込客数 小園域別・月別一覽表(実人数)

(単位:人、%)

	H26年												H25年		前年比		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計			
峡中園域	昇仙峡・湯村温泉周辺	54,046	9,657	24,161	22,680	35,466	36,632	27,003	41,615	38,558	46,068	68,973	19,167	424,027	508,334	83.4%	
	芸術の森・武田神社周辺	148,055	103,218	218,827	227,896	273,891	131,039	231,641	339,293	168,517	221,710	228,864	92,846	2,385,796	2,389,786	99.8%	
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	35	234	207	622	332	1,028	436	104	0	2,996	6,489	46.2%	
	柳形山・果実郷周辺	12,072	7,099	11,815	23,038	12,771	30,361	18,738	28,670	15,098	12,186	9,241	7,347	188,437	193,677	97.3%	
	釜無川沿岸	74,236	143,228	71,032	77,985	61,968	66,420	61,606	70,627	65,044	112,748	82,590	55,990	943,475	989,463	95.4%	
峡東園域	風土記の丘周辺	28,477	15,571	34,789	32,787	38,987	48,253	42,637	61,286	39,567	40,514	38,863	24,714	446,443	502,319	88.9%	
	小計	316,886	278,774	360,623	384,421	423,316	312,913	382,247	541,823	327,812	433,662	428,634	200,065	4,391,174	4,590,067	95.7%	
	大菩薩・恵林寺周辺	37,628	11,129	34,673	58,228	42,096	38,836	34,365	33,537	42,772	41,057	41,709	19,273	435,303	439,507	99.0%	
峡南園域	勝沼ぶどう郷周辺	55,704	65,255	80,605	76,141	79,347	98,199	145,549	251,181	282,818	254,011	116,309	56,836	1,561,955	1,491,818	104.7%	
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	76,662	32,445	72,788	83,298	128,083	152,898	93,709	131,875	150,045	115,056	110,558	50,945	1,198,362	1,209,576	99.1%	
	石和温泉・果実郷周辺	218,027	78,510	167,874	344,802	147,392	149,635	250,473	383,827	217,088	181,859	175,338	108,586	2,423,413	2,237,428	108.3%	
	小計	388,020	187,339	355,940	562,469	396,918	439,568	524,096	800,420	692,723	591,983	443,914	235,641	5,619,031	5,378,330	104.5%	
	身延山・下部温泉周辺	129,034	38,700	113,051	206,693	104,267	95,603	72,641	77,987	61,329	83,194	87,825	55,604	1,125,929	1,147,643	98.1%	
峡北園域	早川周辺	427	151	250	470	9,173	532	1,876	3,001	1,357	752	1,160	249	19,397	19,218	100.9%	
	峡南北部	56,527	24,339	48,028	68,642	38,833	37,527	50,835	184,710	37,773	34,088	56,459	33,456	671,196	701,496	95.7%	
	峡南南部	22,861	11,566	23,986	29,384	22,717	18,363	18,875	50,654	19,880	17,815	21,424	15,820	273,335	279,853	97.7%	
峡北園域	小計	208,849	74,746	185,315	305,189	174,990	152,026	144,227	316,352	120,338	135,829	166,867	105,129	2,089,857	2,148,210	97.3%	
	八ヶ岳高原周辺	183,604	76,225	161,818	143,272	243,661	176,505	257,793	440,418	243,592	224,799	170,389	108,470	2,430,546	2,568,880	94.6%	
	金峰・みずがき周辺	8,155	2,811	8,402	12,379	16,752	12,183	16,675	26,195	18,814	19,160	19,683	7,119	168,328	187,742	89.7%	
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	68,118	41,506	79,678	108,611	91,039	76,967	107,669	211,023	98,442	101,964	91,974	55,273	1,132,265	1,147,579	98.7%	
	茅ヶ岳周辺	8,518	2,226	7,000	12,282	22,844	33,371	47,933	123,492	10,861	10,966	22,108	14,152	315,753	332,611	94.9%	
富士・東部園域	小計	268,396	122,767	256,898	276,545	374,296	299,026	430,070	801,128	371,709	356,889	304,154	185,014	4,046,891	4,236,813	95.5%	
	富士山五合目	70,255	32,529	139,032	227,809	278,473	247,735	480,257	491,057	389,722	343,137	239,963	128,524	3,068,493	2,678,531	114.6%	
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	623,081	209,792	476,599	321,433	424,305	373,108	591,152	1,037,956	489,942	406,301	621,732	277,307	5,852,708	5,760,806	101.6%	
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	183,289	109,628	147,750	145,822	460,602	120,718	185,867	307,647	159,221	128,338	132,968	79,610	2,161,462	2,247,081	96.2%	
	山中湖・忍野周辺	62,051	48,595	45,878	40,296	83,180	47,455	75,171	195,666	85,595	67,589	91,685	53,400	896,562	906,026	99.0%	
東部園域	大月・北都留	53,593	8,976	42,224	47,258	67,187	47,647	56,800	94,948	59,841	62,557	66,430	51,568	659,029	663,406	99.3%	
	桂川・道志川周辺	57,304	18,404	66,635	84,563	120,333	80,628	132,207	189,164	149,534	129,503	138,504	64,855	1,231,635	1,069,169	115.2%	
	小計	1,049,574	427,924	918,118	867,181	1,434,081	917,291	1,521,454	2,316,438	1,333,855	1,137,425	1,291,283	655,265	13,869,889	13,325,019	104.1%	
	合計	2,231,725	1,091,550	2,076,894	2,395,805	2,803,601	2,120,823	3,002,094	4,776,161	2,846,438	2,655,787	2,634,851	1,381,114	6,671,752	30,016,843	29,678,438	101.1%
	四半期合計	7,320,229												6,671,752	100.0%		
月別構成比	7.4%												8.8%	8.8%			
	3.6%												8.8%	4.6%			
8.0%												9.5%	100.0%				
7.1%												9.5%	4.6%				
10.0%												8.8%	4.6%				
15.9%												8.8%	4.6%				
10.0%												9.5%	4.6%				
7.1%												9.5%	4.6%				
9.3%												8.8%	4.6%				
8.0%												9.5%	4.6%				
3.6%												8.8%	4.6%				
7.4%												8.8%	4.6%				

(3) 平成26年市町村別観光入込客数

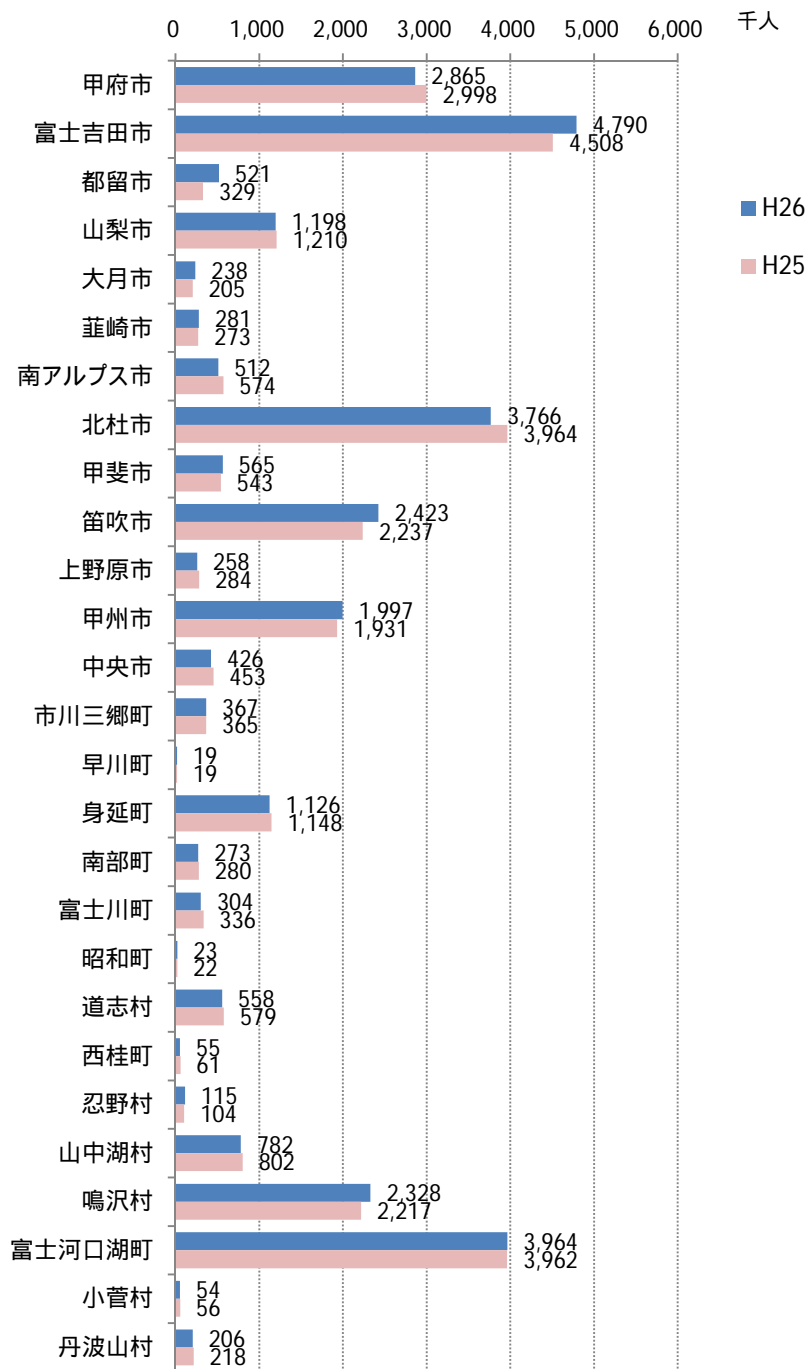
平成26年の観光入込客数を市町村別にまとめると、**図表9**のとおりである。

富士吉田市が479万人(構成比16.0%)と最も多く、次いで富士河口湖町が396万人(同13.2%)、北杜市377万人(同12.5%)などとなっている。前年との比較では、27市町村のうち、13市町村で増加したものの、減少に転じた自治体は過半数にのぼった。県内のシェア3%以上の市町村について構成比をみると、甲府市や山梨市、北杜市、身延町、富士河口湖町で減少し、富士吉田市や笛吹市、甲州市、鳴沢村で増加した。特に富士吉田市は、対前年比(6.3%増) 構成比(0.8ポイント増)共に増加した。

図表9 市町村別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

市町村名	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	2,865,326	9.5%	2,998,061	10.1%	95.6%
富士吉田市	4,790,442	16.0%	4,508,126	15.2%	106.3%
都留市	520,996	1.7%	329,423	1.1%	158.2%
山梨市	1,198,362	4.0%	1,209,576	4.1%	99.1%
大月市	237,639	0.8%	205,203	0.7%	115.8%
韮崎市	280,508	0.9%	272,602	0.9%	102.9%
南アルプス市	511,855	1.7%	573,580	1.9%	89.2%
北杜市	3,766,383	12.5%	3,964,212	13.4%	95.0%
甲斐市	565,012	1.9%	543,284	1.8%	104.0%
笛吹市	2,423,413	8.1%	2,237,428	7.5%	108.3%
上野原市	258,439	0.9%	283,978	1.0%	91.0%
甲州市	1,997,257	6.7%	1,931,325	6.5%	103.4%
中央市	425,977	1.4%	453,213	1.5%	94.0%
市川三郷町	367,405	1.2%	365,251	1.2%	100.6%
早川町	19,397	0.1%	19,218	0.1%	100.9%
身延町	1,125,929	3.8%	1,147,643	3.9%	98.1%
南部町	273,335	0.9%	279,853	0.9%	97.7%
富士川町	303,791	1.0%	336,245	1.1%	90.3%
昭和町	23,004	0.1%	21,929	0.1%	104.9%
道志村	557,947	1.9%	578,757	2.0%	96.4%
西桂町	55,425	0.2%	61,293	0.2%	90.4%
忍野村	115,056	0.4%	104,378	0.4%	110.2%
山中湖村	781,506	2.6%	801,648	2.7%	97.5%
鳴沢村	2,328,307	7.8%	2,216,517	7.5%	105.0%
富士河口湖町	3,963,915	13.2%	3,961,776	13.3%	100.1%
小菅村	54,466	0.2%	56,147	0.2%	97.0%
丹波山村	205,750	0.7%	217,773	0.7%	94.5%
年計	30,016,843	100.0%	29,678,438	100.0%	101.1%



なお、平成 26 年の市町村別観光入込客数を、さらに詳細に月別でまとめると、**図表 10** のとおりである。

図表10 平成26年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(実人数)

(単位:人、%)

	H26年												H25年 合計	前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計
甲府市	200,771	110,832	243,485	251,671	315,238	174,514	267,025	393,606	214,382	278,478	303,791	111,531	2,865,326	2,998,061	95.6%
富士吉田市	508,959	144,847	381,790	257,566	361,067	269,914	463,381	920,377	487,319	392,085	372,842	230,295	4,790,442	4,508,126	106.3%
都留市	16,138	5,921	19,421	26,365	38,095	33,123	55,463	82,678	70,839	67,011	70,584	35,358	520,996	329,423	158.2%
山梨市	76,662	32,445	72,788	83,298	128,083	152,898	93,709	131,875	150,045	115,056	110,558	50,945	1,198,362	1,209,576	99.1%
大月市	19,143	2,353	12,749	15,015	15,831	18,476	16,775	43,342	22,058	25,257	26,815	19,825	237,639	205,203	115.8%
韮崎市	22,741	12,575	21,993	17,901	17,080	19,732	20,289	53,583	22,212	34,468	20,621	17,315	280,508	272,602	102.9%
南アルプス市	41,161	121,141	38,530	40,061	28,974	45,441	36,274	48,620	32,088	28,034	26,251	25,280	511,855	573,580	89.2%
北杜市	245,655	110,192	234,905	258,644	357,216	279,293	409,781	747,545	349,498	322,421	283,533	167,699	3,766,383	3,964,212	95.0%
甲斐市	44,684	27,496	43,637	42,824	44,726	49,240	44,170	49,571	48,350	84,511	47,952	37,852	565,012	543,284	104.0%
笛吹市	218,027	78,510	167,874	344,802	147,392	149,635	250,473	383,827	217,088	181,859	175,338	108,586	2,423,413	2,237,428	108.3%
上野原市	20,541	5,526	23,623	22,621	23,159	20,801	24,427	20,839	28,481	22,319	25,064	21,038	258,439	283,978	91.0%
甲州市	93,331	76,384	115,279	134,369	121,443	137,035	179,914	284,718	325,590	295,068	158,018	76,109	1,997,257	1,931,325	103.4%
中央市	29,200	18,350	33,621	48,906	33,530	42,884	33,832	49,120	32,594	29,485	49,786	24,669	425,977	453,213	94.0%
市川三郷町	28,583	12,081	22,724	18,329	18,440	16,793	18,102	159,721	19,078	16,611	18,998	17,945	367,405	365,251	100.6%
早川町	427	151	250	470	9173	532	1,876	3,001	1,357	752	1,160	249	19,397	19,218	100.9%
身延町	129,034	38,700	113,051	206,693	104,267	95,603	72,641	77,987	61,329	83,194	87,825	55,604	1,125,929	1,147,643	98.1%
南部町	22,861	11,556	23,986	29,384	22,717	18,363	18,875	50,654	19,880	17,815	21,424	15,820	273,335	279,853	97.7%
富士川町	27,944	12,258	25,304	50,313	20,393	20,735	32,732	24,989	18,685	17,458	37,460	15,511	303,791	336,245	90.3%
昭和町	1,070	955	1,350	959	847	833	945	906	399	13,153	854	732	23,004	21,929	104.9%
道志村	26,463	6,858	32,665	46,837	69,472	35,709	61,974	92,426	60,374	50,788	55,388	18,995	557,947	578,757	96.4%
西野村	5,165	2,237	5,342	3,958	5,102	3,929	4,815	6,787	5,004	4,657	4,657	3,773	55,425	61,293	90.4%
忍野村	4,588	1,590	6,443	5,321	10,706	6,690	12,361	38,042	10,526	8,656	7,705	2,428	115,056	104,378	110.2%
山中湖村	57,463	47,005	39,435	34,975	72,474	40,765	62,810	157,625	75,069	58,933	83,980	50,972	781,506	801,648	97.5%
鳴沢村	151,331	69,044	166,137	166,550	232,770	150,998	284,432	374,759	241,993	203,654	176,340	110,299	2,328,307	2,216,517	105.0%
富士河口湖町	216,335	138,058	215,454	270,948	569,543	320,649	509,464	541,524	309,573	282,037	445,482	144,848	3,963,915	3,961,776	100.1%
小菅村	3,685	801	2,696	3,674	13,059	2,635	3,893	6,868	4,442	3,568	6,191	2,954	54,466	56,147	97.0%
丹波山村	19,764	3,684	12,364	13,351	22,802	13,602	21,659	31,173	18,178	18,459	16,234	14,480	205,750	217,773	94.5%
合計	2,231,725	1,091,550	2,076,894	2,395,805	2,803,601	2,120,823	3,002,094	4,776,161	2,846,438	2,655,787	2,634,851	1,381,114	30,016,843	29,678,438	101.1%
月別構成比	7.4%	3.6%	6.9%	8.0%	9.3%	7.1%	10.0%	15.9%	9.5%	8.8%	8.8%	4.6%	100.0%		



#### (4) 平成 26 年宿泊観光客数

平成 26 年の宿泊観光客数（実人数）は、739 万人と推計された。これは、前年（652 万人）と比較すると、13.4%の伸びとなる。

圏域別に見ると、富士・東部圏域が 398 万人（前年比 119.6%）と全体の過半数を占め最多となった。次いで、峡東圏域（141 万人、前年比 113.2%）、峡中圏域（92 万人、前年比 104.6%）、峡北圏域（86 万人、前年比 99.6%）、峡南圏域（22 万人、前年比 109.3%）となっており、峡北圏域以外の圏域では前年と比較して増加した。

さらに、小圏域別に見ると、主なエリアでは、河口湖周辺の宿泊施設群などを擁する「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺」で 207 万人と群を抜いて多く、山中湖周辺の宿泊施設群を持つ「山中湖・忍野周辺」は 143 万人と続き、メジャーな温泉観光地のある「石和温泉・果実郷周辺」で 129 万人と増加した。その他には、八ヶ岳地域を含む「八ヶ岳高原周辺」が 65 万人、市街地の宿泊施設群を有する「芸術の森・武田神社周辺」で 62 万人などとなっている。

峡中・峡東の市街地型観光地においては年間を通して比較的客数の変動が小さい一方、富士北麓や峡北の自然資源豊かなエリアについては、特に夏季において客数が著しく増加するなど、季節的な変動が大きくなっている。

なお、外国人の宿泊客については、観光庁の宿泊旅行統計調査結果によると、平成 25 年は国籍別に 1 位中国（全体の 25.9%）、2 位台湾（同 24.6%）、3 位タイ（同 18.4%）という結果であったが、平成 26 年も 1 位中国（同 44.0%）、2 位台湾（同 17.0%）、3 位タイ（同 15.5%）と同じ 3 か国が上位を占めた。中国人宿泊客数が前年比 214.7%と大幅に増加、シェアも 44.0%となった一方、台湾（前年比 28.1%）とタイ（同 56.8%）はそれぞれ減少した。また、インド（同 163.0%）、イギリス（同 118.8%）、オーストラリア（同 107.2%）が大きく増加し、シェアが低い諸国からの宿泊客も増加しており、国籍の多様化の動きがみられる。

平成 26 年の推計宿泊者数を小圏域別・月別にまとめると、**図表 11** のとおりである。

図表 1-1 平成26年 四半別別・圏域別推計宿泊客数一覧表(美人数ベース)

(単位:人、%)

区分	1-3月期			4-6月期			7-9月期			10-12月期			H26宿泊客数計			H25 宿泊客数 計	前年比
	宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)			
		うち 外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		
峡中	界仙峡・湯村温泉周辺	37,117	1,313	31,040	2,477	44,398	3,043	39,221	548	151,777	7,381	181,562	1,537	617,644	9,049	876,248	104.6%
	芸術の森・武田神社周辺	135,434	1,569	104,570	2,056	196,078	3,887	181,562	1,537	617,644	9,049	1,402	-	9,059	65		
	広河原・声安温泉周辺	94	-	659	-	6,903	65	294,247	1,402	9,059	65	59	-	12,886	432		
	榊形山・泉実郷周辺	3,256	1	3,200	43	6,370	389	(18,558)	59	12,886	432	25,094	6,912	84,210	20,710		
	釜無川沿岸	15,531	1,991	15,635	714	27,951	11,093	10,162	85	41,205	334	10,388	12	36,075	33		
	風土記の丘周辺	9,768	149	8,730	19	12,545	81	399	-	4,947	9	329,231	19,558	1,294,341	100,866		
	大菩薩・恵林寺周辺	7,918	15	7,220	7	10,550	-	41,535	36	185,668	5,525	41,535	36	185,668	5,525		
	勝沼ぶどう郷周辺	2,515	9	363	-	1,670	-	3,995	14	10,680	14	3,995	14	10,680	14		
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	13,747	7	16,438	23	23,684	90	3,190	1,013	9,137	1,299	24,948	68	78,816	188		
	石和温泉・泉実郷周辺	274,015	12,431	301,662	31,118	389,433	37,758	6,111	1,047	1,726	325	329,231	19,558	1,294,341	100,866		
峡東	身延山・下部温泉周辺	22,572	69	52,579	1,671	68,982	3,748	41,535	36	185,668	5,525	41,535	36	185,668	5,525	1,249,174	113.2%
	早川周辺	1,121	-	2,155	-	3,410	-	3,995	14	10,680	14	3,995	14	10,680	14		
	峡南北部	1,868	21	1,747	222	2,332	44	3,190	1,013	9,137	1,299	3,190	1,013	9,137	1,299		
	峡南部	3,102	-	1,526	122	6,111	1,047	1,726	325	12,465	1,494	1,726	325	12,465	1,494		
	八ヶ岳高原周辺	86,423	7,284	158,860	26,020	241,464	17,896	163,253	11,564	649,999	62,764	163,253	11,564	649,999	62,764		
	金峰・みずかき周辺	3,139	-	7,228	-	16,794	-	7,998	3	35,159	3	7,998	3	35,159	3		
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	34,950	64	35,122	29	68,723	177	35,691	44	174,486	314	35,691	44	174,486	314		
	茅ヶ岳周辺	-	-	613	3	3,207	-	1,015	-	4,835	3	1,015	-	4,835	3		
	富士山五合目	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0	-		
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	350,309	49,678	456,689	65,454	801,428	128,367	464,223	80,223	2,072,649	323,723	464,223	80,223	2,072,649	323,723		
富士 東部	本栖湖・精進湖・西湖周辺	66,440	25,238	99,512	22,597	135,416	29,297	78,423	28,026	379,791	105,158	78,423	28,026	379,791	105,158	3,328,067	119.6%
	山中湖・忍野周辺	198,837	66,663	396,329	103,534	575,917	117,472	260,008	85,889	1,431,090	373,559	260,008	85,889	1,431,090	373,559		
	大月・北都留	15,003	85	15,190	70	20,941	144	14,528	25	65,662	324	14,528	25	65,662	324		
	桂川・道志川周辺	2,704	49	6,173	8	11,052	40	10,523	3	30,452	100	10,523	3	30,452	100		
	合計	1,285,862	166,638	1,723,239	256,185	2,675,360	354,638	1,708,573	235,885	7,393,034	1,013,346	1,708,573	235,885	7,393,034	1,013,346		

観光庁「宿泊旅行統計調査」の集計値を基に、回客宿泊施設における従業員数規模ごとの平均値を算出し、小圏域ごとに調査対象施設数に乘じる等により推計した数値。

また、「宿泊旅行統計調査」では調査対象外となっている実家・キャンプ場の利用者等についても推計を行った値となっている。

(5) 平成26年観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、アンケート調査に基づく1人あたり観光消費額単価等から観光庁提供の推計支援ツール(年間版)を用いて算出した。この結果、総消費額は4,460億円(前年(3,643億円)比122.4%)となった(図表12)。また、1人当たりの平均観光消費額を求めると、14,858円となった。

図表12 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

(A)観光入込客数(実人数) (千人回)

区分	日帰り客 22,624		宿泊客 7,393		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	6,389	18	570	308	7,285
県外	15,243	740	4,268	1,233	21,484
訪日外国人	198	36	964	49	1,248
合計	21,831	793	5,802	1,591	30,017

宿泊客数は観光庁「宿泊旅行統計調査」の数値を活用

(B)観光消費額単価 (円/人回)

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	5,413	3,672	20,814	15,938
県外	8,819	5,434	27,871	22,922
訪日外国人	19,356	12,581	103,316	101,308

(C)観光消費額 = (A)観光入込客(実人数) × (B)観光消費額単価 (百万円)

	日帰り客 177,396		宿泊客 268,599		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	34,587	65	11,871	4,911	51,433
県外	134,435	4,018	118,952	28,269	285,675
訪日外国人	3,842	449	99,586	5,010	108,887
合計	172,864	4,532	230,409	38,190	445,995

観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数 (人)	平均同行者数 (人)	1人当たり 平均訪問地点数 (地点)	1人当たり 平均消費額 (円)	1人当たり平均訪 問都道府県数 (箇所)
12,650	4.2	1.3	14,858	1.2

## (6) 月別の観光動向

月別の観光動向について概要をまとめた。通年の傾向として、富士山の世界文化遺産登録の影響が依然として大きく、富士・東部を中心に、入込客数の増加がみられた。また、ガソリン価格の上昇、消費税増税、休日特別割引等高速道路のETC割引の一部が終了といったマイナス要因の発生、2月の大雪や10月の台風に伴う大雨といった天候不順が客足の伸びに關与したことなどが推察される。

### 1月

1月の観光入込客数の対前年同月比は124.7%と大幅に増加した。気温は平年並みであったが、日照時間が長く、好天に恵まれる日が多かった。特に、正月三が日は日中の最高気温が10度を超える日もあるなど穏やかな晴天に恵まれたため、神社仏閣等を中心とした参拝客の増加がみられた。また、温泉施設や道の駅、スポーツ・レクリエーション施設等を中心に各観光地点を訪れる延べ人数も対前年同月比で111.1%と増加した。さらに、富士・東部圏域を訪れる観光客数の増加が顕著であった。これは、富士山の世界文化遺産登録の影響も考えられ、自然や歴史文化施設を始めとして、幅広い分野の観光地点で観光客数の伸びが目立った。

### 2月

2月の観光入込客数の対前年同月比は69.1%と大幅に減少した。山梨県の気象観測史上最高の豪雪に見舞われ、県内各地において、鉄道の運休や道路の通行規制などといった交通機関の乱れが数日程度続いたこと、イベントの中止や休業に近い状態を余儀なくされた施設も少なからずあったこと等の影響が最大要因と考えられる。このため、ほぼ県内全域で観光施設の種別を問わず観光客の大幅な減少がみられた。

### 3月

3月の観光入込客数の対前年同月比は106.1%と前年比増まで回復した。最高気温、最低気温、平均気温いずれも平年を上回り、特に下旬には、最高気温が20度を超える日も出始めた。峡東や富士・東部などの屋内型の観光施設で客足の持ち直しが見受けられた。一方、2月の大雪の影響からか、自然やスポーツ・レクリエーション施設の屋外型の観光施設等を始め前月に引き続き入込みが低迷している観光地点もみられた。

### 4月

4月の観光入込客数の対前年同月比は98.6%と減少した。気温は平年並みで、日照に恵まれ、降水量も平年に比べ少なかった。桜の満開時期が4月上旬であったため、桜の名所では来客数が増加した。一方、花の見頃時期が5月となった富士・東部の観光地点

等では客数が減少しているところも見られた。また、歴史・文化施設などでは増加したが、温泉施設、スポーツ・レクリエーション、都市型観光施設で減少した地点が多かった。

当月には、前月まで高値安定していたガソリン価格の更なる上昇(160円/L→168円/L)、消費税増税(5%→8%)、さらに休日特別割引等高速道路のETC割引の一部終了といったマイナス要因が重なり、これらが入込客数に少なからず影響を及ぼしたことも考えられる。

#### 5月

5月の観光入込客数の対前年同月比は98.3%と減少した。平年に比べて気温が高めで、降水量が少なく、日照に恵まれたものの、ゴールデンウィークは長期休暇が取りにくい曜日配列であったことや、ガソリン価格の高騰、消費税増税、高速道路のETC割引の一部終了といったこと等からか、スポーツ・レクリエーション、温泉施設を始め減少している観光地点がみられた。一方、花の見頃時期を迎えた富士・東部を中心とした自然や道の駅、歴史・文化施設等では増加した地点が多くなっているものの、全体では、減少となった。

#### 6月

6月の観光入込客数の対前年同月比は90.5%と引き続き減少した。県内の梅雨入りはほぼ平年並みの6月5日ごろであったが、降水量は平年よりも少なく推移した。また、気温は平年よりも高めとなった。富士山の世界遺産登録によって大幅に増加した前年の反動もあって減少した。富士・東部の歴史・文化施設で増加した地点があるものの、県内全体では、温泉施設、都市型観光施設、道の駅等多岐にわたり客数が伸び悩むところがあった。

#### 7月

7月の観光入込客数の対前年同月比は105.7%と増加であった。梅雨明けが平年並みの7月21日ごろであり、降水量も非常に少なく、日照にも恵まれた。平均気温は26.4度、最高気温の平均も32.4度といずれも平年よりも高い気温であった。富士山の世界遺産登録によって大幅に増加した前年の反動の影響か、富士・東部では、自然、歴史・文化施設や道の駅等で減少した。県内全体ではスポーツ・レクリエーション施設等において客数が好調であった。

#### 8月

8月の観光入込客数の対前年同月比は109.4%と増加した。平均気温、最高・最低気温それぞれ平年並み、降水量は平年よりも多く、日照時間は少なかった。月内にガソリン価

格が年内最高水準（172円/L）に到達するという負の要素はあったものの、山梨県全体では、入込客数が大きく伸長した。その要因としては、7月末から山梨県内の各地で全国高等学校体育大会が開催されたことや、NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」が高視聴率を保ち、山梨県の知名度が向上したことなどが要因ではないかと考えられる。峡中では、歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設、峡東ではワイナリーやぶどう狩り、桃狩り等で増加した。一方、富士・東部の歴史・文化施設、自然で減少した。スバルラインでのマイカー規制が7月10日から8月31日までの連続53日間連続で行われたことや、前月同様、富士山の世界遺産登録によって大幅に増加した前年の反動など複合的な要因によるものと推察される。

## 9月

9月の観光入込客数の対前年同月比は114.6%と増加した。平均気温、最高・最低気温それぞれ平年並みであった。降水量について平年に比べ少なかったことや、ガソリン価格も前月に比べわずかではあるが下落傾向であったこと（172円/L 170円/L）なども増加要素に含まれるのではないかとと思われる。また、祝日（秋分の日）が飛石連休になったことで、近場で手軽に楽しもうとする県内在住・日帰り客が増加したと想定され、全体的に増加となる観光地点が多くみられた。具体的には、峡東、峡北、富士・東部の歴史・文化施設や温泉、道の駅等が挙げられる。

## 10月

10月の観光入込客数の対前年同月比は98.8%と微減となった。平年より平均気温、最高・最低気温全て高めで推移したが、台風18号及び19号の影響による大雨などで平年の2.4倍の降水量となった。そのため、自然やスポーツ・レクリエーション施設などで減少が目立った。峡東や富士・東部の道の駅、峡東の都市型観光施設、峡南の都市型観光施設等で増加がみられた観光地点もあったものの、総じて減少に転じた。

## 11月

11月の観光入込客数の対前年同月比は94.0%と減少した。気温は平均気温、最高・最低気温共に平年を上回った。降水量は平年より少なかったものの、日照時間が平年を下回った。祝日（勤労感謝の日）が土曜日となり3連休が1回であった前年と比べ、本年は2回あったこと、ガソリン価格も年内最高時から下落で推移していること（172円/L 163円/L）が功を奏したためか、峡東の歴史・文化、温泉、都市型観光施設、峡北の歴史・文化施設では客足が好調に伸びた地点もあった。一方、峡北の道の駅、富士・東部の歴史・文化施設、道の駅などで減少している地点もみられ、県全体では減少した。

12月

12月の観光入込客数の対前年同月比は89.3%と減少した。天候は気温、日照共に平年以下で厳しい寒さが続く日が多くみられた。また、降水量は平年以上であった。

そのためか、スポーツ・レクリエーション施設などで客足が減少した地点もあった。そのほか、歴史・文化施設、都市型観光施設や温泉施設などでも減少がみられた。

図表18 甲府における気象状況等

	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
1月	2.8	(2.8)	9.4	(8.8)	-2.8	(-2.4)	20.0	(40.2)	239.9	(204.8)
2月	2.9	(4.3)	8.3	(10.3)	-1.7	(-1.0)	142.0	(46.1)	173.1	(189.9)
3月	8.1	(8.0)	14.5	(14.2)	2.9	(2.7)	110.5	(87.9)	208.3	(198.7)
4月	13.3	(13.8)	20.7	(20.4)	7.3	(8.3)	61.0	(77.7)	229.7	(202.0)
5月	19.2	(18.3)	26.8	(24.6)	13.0	(13.3)	39.5	(86.3)	279.5	(196.3)
6月	22.6	(21.9)	28.4	(27.3)	18.4	(17.9)	103.5	(122.5)	155.2	(148.9)
7月	26.4	(25.5)	32.4	(30.9)	22.3	(21.8)	74.0	(132.6)	198.1	(164.1)
8月	26.5	(26.6)	31.7	(32.5)	23.1	(22.8)	163.0	(149.5)	136.2	(197.3)
9月	22.0	(22.8)	27.5	(28.0)	17.6	(19.1)	86.5	(180.3)	176.8	(142.2)
10月	17.2	(16.5)	22.8	(21.9)	13.1	(12.3)	306.0	(125.2)	179.0	(160.9)
11月	11.5	(10.4)	16.9	(16.4)	6.8	(5.5)	34.0	(54.9)	161.2	(176.6)
12月	3.9	(5.0)	9.6	(11.2)	-0.9	(-0.2)	50.0	(32.1)	198.2	(201.3)

( )内の値は1981年～2010年の平年値

	桜		梅雨		イチョウ
	開花	満開	梅雨入り	梅雨明け	黄葉
平成26年	3月28日	4月4日	6月5日ごろ	7月21日ごろ	11月22日
平年値(1981～2010年)	3月27日	4月3日	6月8日ごろ	7月21日ごろ	11月12日

## (7) 圏域別観光の動向

圏域の観光動向を見るために、観光入込客数（実人数）の推移と施設ごとの市町村報告値をみながら、前年比較を行った。

### 峡中圏域

峡中圏域では、対前年比 95.7%と減少した（**図表 19**）。

小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、一部の歴史・文化施設や都市型施設を中心として大幅に客数が減少したため、地域としては前年から 16.6%の減少となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、公共的な歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設で堅調に客数を伸ばしたところと客数が減少したところに分かれ、全体としてはわずかに減少した。

「広河原・芦安温泉周辺」では、温泉施設の利用者が大幅に減少した。

「楡形山・果実郷周辺」では、一部の歴史・文化施設や行祭事・イベント等で客数が増加したものの、温泉施設の利用者が減少したため、全体として 2.7%の減となった。

「釜無川沿岸」では、温泉施設で客数が増加したものの、スポーツ・レクリエーション施設等の利用者が減少したため、全体として 4.6%の減となった。

「風土記の丘周辺」では、歴史・文化施設や都市型観光施設等において客数が伸び悩み、全体として減少となった。

図表 19 峡中圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成26年	平成25年	対前年比
昇仙峡・湯村温泉周辺	424,027	508,334	83.4%
芸術の森・武田神社周辺	2,385,796	2,389,786	99.8%
広河原・芦安温泉周辺	2,996	6,489	46.2%
楡形山・果実郷周辺	188,437	193,677	97.3%
釜無川沿岸	943,475	989,463	95.4%
風土記の丘周辺	446,443	502,319	88.9%
小計	4,391,174	4,590,067	95.7%



## 峡東圏域

峡東圏域では、対前年比 104.5%と増加した（**図表 20**）。

小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、一部の自然、物産販売施設で堅調に伸びたが、歴史・文化施設や観光農園で停滞するところもあり、全体としては減少した。

「勝沼ぶどう郷周辺」では、スポーツ・レクリエーション施設が振るわなかったが、ぶどう狩りや一部のワイナリー、道の駅が好調となり、全体として増加した。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、一部の温泉施設等は増加したが、道の駅等が振るわず、全体としてやや減少した。

「石和温泉・果実郷周辺」では、温泉施設が若干低調であったが、ぶどう狩り・桃狩り、物販施設や歴史・文化施設等で客数が伸びたため、全体として 8.3%増加した。

図表 20 峡東圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成26年	平成25年	対前年比
大菩薩・恵林寺周辺	435,303	439,507	99.0%
勝沼ぶどう郷周辺	1,561,955	1,491,818	104.7%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,198,362	1,209,576	99.1%
石和温泉・果実郷周辺	2,423,413	2,237,428	108.3%
小計	5,619,031	5,378,330	104.5%

## 峡南圏域

峡南圏域では、対前年比 97.3%と減少した（**図表 21**）。

小圏域別にみると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、主力の歴史・文化施設や自然施設などで減少したため、全体として減少となった。

「早川周辺」は、温泉客の入込みが増加となった。

「峡南北部」では、温泉施設や都市型施設などで減となり、全体で減少となった。

「峡南南部」では、温泉施設、道の駅やスポーツ・レクリエーション施設などでやや低調であったため、全体として減少した。

図表 2 1 峡南圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成26年	平成25年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,125,929	1,147,643	98.1%
早川周辺	19,397	19,218	100.9%
峡南北部	671,196	701,496	95.7%
峡南南部	273,335	279,853	97.7%
小計	2,089,857	2,148,210	97.3%

## 峡北圏域

峡北圏域では、対前年比 95.5%と減少した（**図表 22**）。

小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」では、歴史・文化施設などで客数を伸ばしたものの、屋外型のレクリエーション施設や主力の都市型観光施設及び一部の温泉施設で伸び悩み、全体として 5.4%の減少となった。

「金峰・みずがき周辺」では、物産販売施設、温泉施設等で客数が伸び悩み、全体として 10.3%の減少となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、歴史・文化施設で順調に客足が伸びたが、スポーツ・レクリエーション施設、道の駅等で客足がやや伸びず、全体として 1.3%減少した。

「茅ヶ岳周辺」では、主力のスポーツ・レクリエーション施設で客数が伸びず、全体として 5.1%の減少となった。

図表 2 2 峡北圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成26年	平成25年	対前年比
八ヶ岳高原周辺	2,430,546	2,568,880	94.6%
金峰・みずがき周辺	168,328	187,742	89.7%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,132,265	1,147,579	98.7%
茅ヶ岳周辺	315,753	332,611	94.9%
小計	4,046,891	4,236,813	95.5%

### 富士・東部圏域

富士・東部圏域では、対前年比 104.1%と増加した（**図表 23**）。

小圏域別に見ると、「富士山五合目」は、富士山の世界遺産登録 2 年目の平成 26 年も堅調な動きを示し、年間で 14.6%の増加となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」では、一部の都市型観光施設で客数を減らした先もあったが、世界遺産関連の施設等を中心に客足が伸び、全体としては 1.6%の増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、自然や道の駅などで減少し、全体として 3.8%の減少となった。

「山中湖・忍野周辺」では、温泉施設やレクリエーション施設の客数がやや伸びず、全体として 1.0%の減少となった。

「大月・北都留」では、自然等で客数が伸びたが、この地域で主力のゴルフ場がやや足踏み状態となったため、全体として 0.7%の減少となった。

「桂川・道志川周辺」では、温泉施設や道の駅で伸び悩んだものの、都留市内の歴史・文化施設が大きく客数を伸ばし、全体としては 15.2%の増加となった。

図表 2 3 富士・東部圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成26年	平成25年	対前年比
富士山五合目	3,068,493	2,678,531	114.6%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	5,852,708	5,760,806	101.6%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	2,161,462	2,247,081	96.2%
山中湖・忍野周辺	896,562	906,026	99.0%
大月・北都留	659,029	663,406	99.3%
桂川・道志川周辺	1,231,635	1,069,169	115.2%
小計	13,869,889	13,325,019	104.1%

## 【参考】観光入込客数（延べ人数）

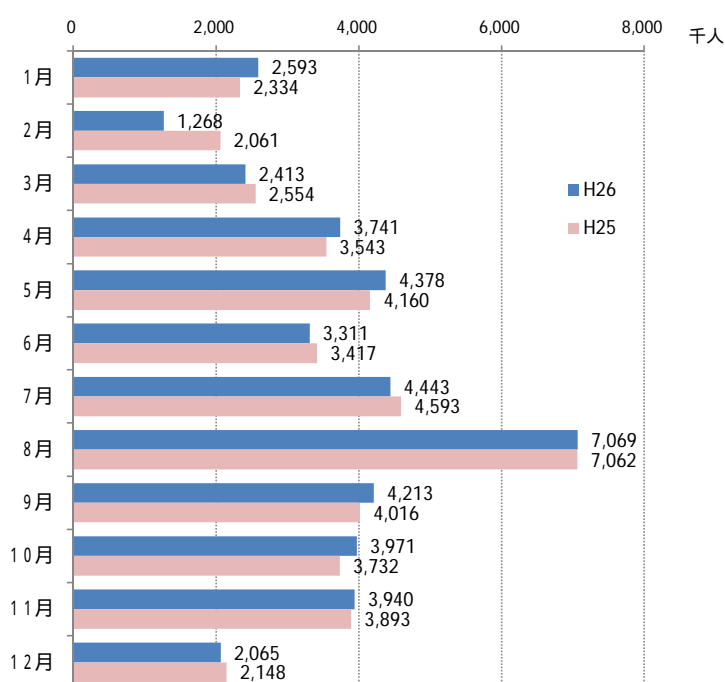
実人数の推計の基礎となった観光地点等入込客数（市町村調査による延べ人数）について、参考までに集計及び前年比較を行った。

### 月別の推移

平成 26 年の延べ観光入込客数は 4,341 万人であり、前年に比べて 0.2%の減少となった（図表 13）。

図表 1 3 月別観光入込客（延べ人数）（単位：人、％）

項目	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,593,117	6.0%	2,334,381	5.4%	111.1%
2月	1,268,309	2.9%	2,061,355	4.7%	61.5%
3月	2,413,213	5.6%	2,553,760	5.9%	94.5%
4月	3,740,813	8.6%	3,542,971	8.1%	105.6%
5月	4,377,546	10.1%	4,160,383	9.6%	105.2%
6月	3,311,455	7.6%	3,417,107	7.9%	96.9%
7月	4,443,205	10.2%	4,592,924	10.6%	96.7%
8月	7,068,887	16.3%	7,062,390	16.2%	100.1%
9月	4,212,828	9.7%	4,015,921	9.2%	104.9%
10月	3,971,317	9.1%	3,732,191	8.6%	106.4%
11月	3,940,010	9.1%	3,892,859	8.9%	101.2%
12月	2,065,241	4.8%	2,148,321	4.9%	96.1%
年計	43,405,941	100.0%	43,514,563	100.0%	99.8%



## 圏域別の推移

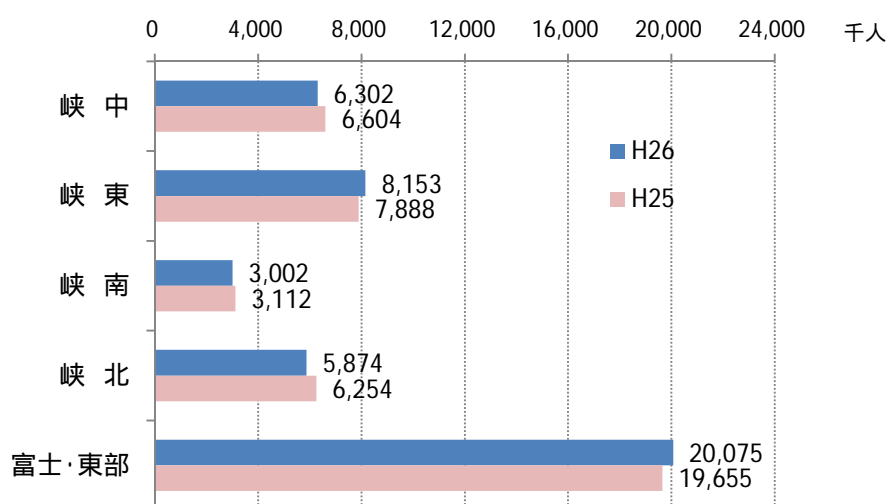
圏域別にみると、富士・東部が2,007万人（前年比102.1%）で最多となり、次いで、峡東（815万人、同103.4%）、峡中（630万人、同95.4%）、峡北（587万人、同93.9%）、峡南（300万人、同96.4%）であった。峡東及び富士・東部では増加したが、他の圏域は前年から減少となった（**図表14**）。

小圏域の主たる地域を見ていくと、峡中の「芸術の森・武田神社周辺（344万人、前年比99.7%）」、峡東の「石和温泉・果実郷周辺（350万人、同106.9%）」、峡南の「身延山・下部温泉周辺（161万人、前年比98.1%）」、峡北の「八ヶ岳高原周辺（352万人、同92.9%）」、富士・東部圏域の「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺（836万人、同99.0%）」となっている（**図表15**）。

図表14 圏域別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	6,302,344	14.5%	6,604,333	15.2%	95.4%
峡東	8,153,410	18.8%	7,888,286	18.1%	103.4%
峡南	3,001,585	6.9%	3,112,378	7.2%	96.4%
峡北	5,873,632	13.5%	6,254,324	14.4%	93.9%
富士・東部	20,074,970	46.2%	19,655,242	45.2%	102.1%
年計	43,405,941	100.0%	43,514,563	100.0%	99.8%



図表 1.5 平成26年観光入込客数 小園域別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H26年												H25年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
	昇仙峡・湯村温泉周辺	62,798	11,221	28,074	35,413	55,376	57,198	39,966	61,592	57,067	68,887	103,139	28,661	609,392	
芸術の森・武田神社周辺	172,030	119,933	254,262	355,837	427,653	204,605	342,837	502,165	249,411	331,533	342,230	138,837	3,441,333	3,450,190	99.7%
広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	54	365	323	920	491	1,521	652	155	0	4,481	10,200	43.9%
櫛形山・果実郷周辺	14,027	8,249	13,728	35,972	19,940	47,405	27,733	42,433	22,346	18,223	13,818	10,987	274,861	282,916	97.2%
釜無川沿岸	86,257	166,422	82,534	121,766	96,757	103,708	91,179	104,531	96,288	168,597	123,500	83,725	1,325,244	1,405,336	94.3%
風土記の丘周辺	33,088	18,092	40,422	51,193	60,875	75,343	63,104	90,705	58,560	60,582	58,113	36,956	647,033	733,067	88.3%
小計	368,200	323,917	419,020	600,235	660,966	488,582	565,739	801,917	485,173	648,474	640,955	299,166	6,302,344	6,604,333	95.4%
大菩薩・恵林寺周辺	43,721	12,931	40,288	90,917	65,729	60,639	50,861	49,636	63,304	61,394	62,369	28,820	630,609	630,771	100.0%
勝沼ぶどう郷周辺	64,724	75,822	93,658	118,887	123,893	153,328	215,418	371,756	418,580	379,834	173,922	84,989	2,274,811	2,216,256	102.6%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	89,076	37,699	84,575	130,061	199,989	238,735	138,692	195,180	222,072	172,048	165,322	76,181	1,749,630	1,767,768	99.0%
石和温泉・果実郷周辺	253,333	91,224	195,058	538,375	230,138	233,640	370,709	568,078	321,298	271,942	262,191	162,374	3,498,360	3,273,491	106.9%
小計	450,854	217,676	413,579	878,240	619,749	686,342	775,680	1,184,650	1,025,254	885,218	663,804	352,364	8,153,410	7,888,286	103.4%
身延山・下部温泉周辺	149,929	44,967	131,358	322,731	162,803	149,275	107,511	115,424	90,769	124,404	131,328	83,147	1,613,646	1,644,180	98.1%
早川周辺	496	176	291	734	14,322	831	2,777	4,441	2,008	1,124	1,734	372	29,306	28,338	103.4%
峡南北部	65,681	28,280	58,805	107,178	60,634	58,595	75,237	273,377	55,905	50,944	84,425	50,028	966,089	1,032,492	93.6%
峡南南部	26,563	13,427	27,870	45,880	35,471	28,672	27,936	74,970	29,423	26,639	32,036	23,657	392,544	407,368	96.4%
小計	242,669	86,850	215,324	476,523	273,230	237,373	213,461	468,212	178,105	203,111	249,523	157,204	3,001,585	3,112,378	96.4%
八ヶ岳高原周辺	213,336	88,568	188,022	223,705	380,452	275,595	381,543	651,834	360,525	336,152	254,790	162,200	3,516,722	3,783,992	92.9%
金峰・みずがき周辺	9,476	3,266	9,762	19,329	26,157	19,022	24,680	38,769	27,845	28,651	29,433	10,646	247,036	276,293	89.4%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	79,149	48,227	92,580	169,586	142,148	120,177	159,354	312,322	145,698	152,471	137,533	82,652	1,641,897	1,687,602	97.3%
茅ヶ岳周辺	9,897	2,586	8,134	19,177	35,669	52,105	70,942	182,773	16,075	16,398	33,059	21,162	467,977	506,437	92.4%
小計	311,858	142,647	298,498	431,797	584,426	466,899	636,519	1,185,698	550,143	533,672	454,815	276,660	5,873,632	6,254,324	93.9%
富士山五合目	81,632	37,796	161,546	355,702	434,808	386,814	710,797	726,781	576,802	513,108	358,828	192,188	4,536,802	4,050,578	112.0%
富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	723,979	243,764	553,776	501,886	662,511	582,571	874,926	1,536,212	725,131	607,560	929,704	414,669	8,356,689	8,442,329	99.0%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	212,970	127,381	171,676	227,687	719,185	188,489	275,090	455,328	235,653	191,910	198,833	119,045	3,123,247	3,292,343	94.9%
山中湖・忍野周辺	72,099	56,464	53,307	62,918	129,877	74,097	111,256	289,593	126,684	101,069	137,101	79,852	1,294,317	1,333,050	97.1%
大月・北都留	62,272	10,430	49,061	73,788	104,906	74,396	84,066	140,526	88,567	93,544	99,336	77,112	958,004	969,243	98.6%
桂川・道志川周辺	66,584	21,384	77,426	132,037	187,888	125,892	195,671	279,970	221,316	193,651	207,111	96,981	1,805,911	1,567,699	115.2%
小計	1,219,536	497,219	1,066,792	1,354,018	2,239,175	1,432,259	2,251,806	3,428,410	1,974,153	1,700,842	1,930,913	979,847	20,074,970	19,655,242	102.1%
合計	2,593,117	1,288,309	2,413,213	3,740,813	4,377,546	3,311,455	4,443,205	7,068,887	4,212,828	3,971,317	3,940,010	2,065,241	43,405,941	43,514,563	99.8%
四半期合計	6,274,639												15,724,920	9,976,568	
月別構成比	6.0%	2.9%	5.6%	8.6%	10.1%	7.6%	10.2%	16.3%	9.7%	9.1%	9.1%	4.8%	100.0%		

## 市町村別の推移

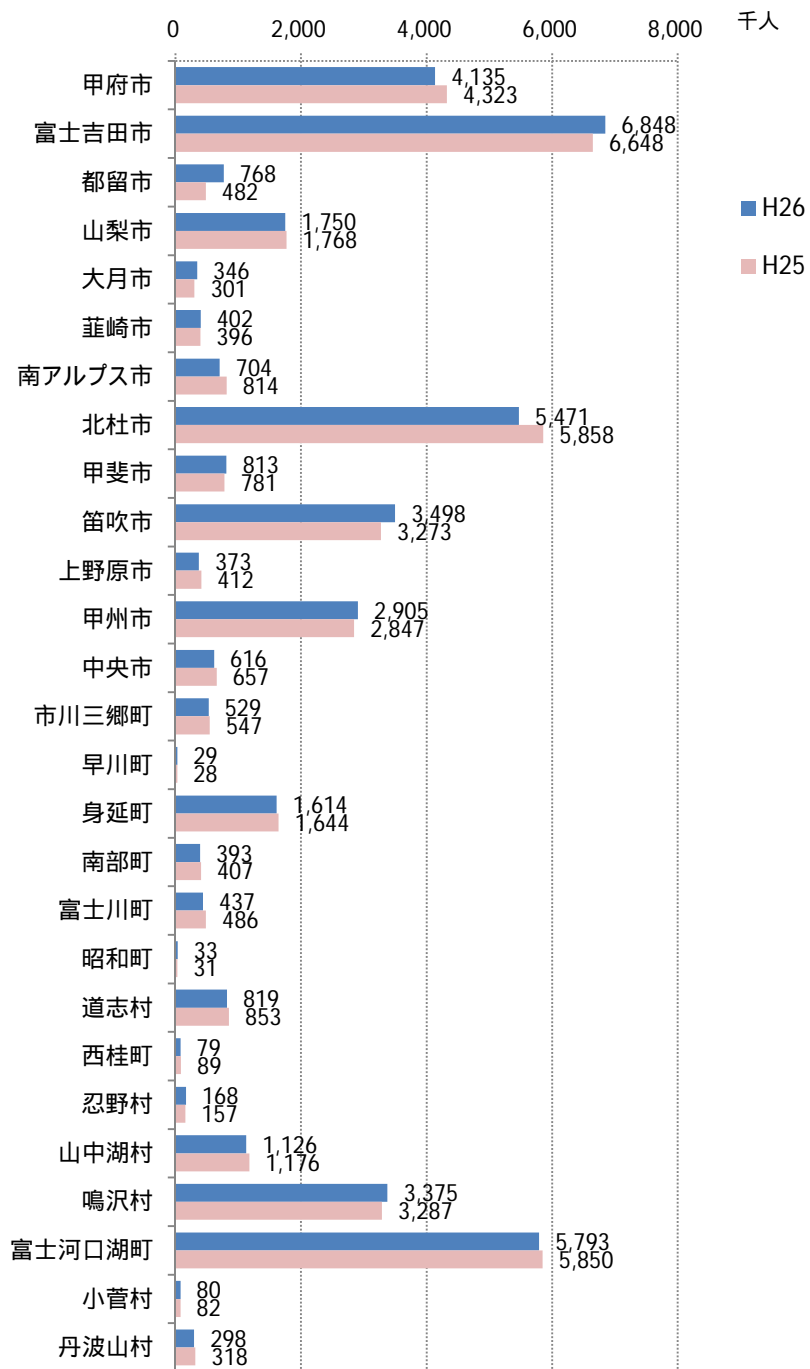
市町村別に見ると、富士吉田市で 685 万人（前年比 103.0%）と最多であり、次いで富士河口湖町（579 万人、同 99.0%）、北杜市（547 万人、同 93.4%）、甲府市（414 万人、同 95.7%）などとなっている（図表 16、17）。

図表 16 市町村別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

項目	平成26年		平成25年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	4,135,157	9.5%	4,322,613	9.9%	95.7%
富士吉田市	6,848,132	15.8%	6,647,528	15.3%	103.0%
都留市	768,486	1.8%	481,932	1.1%	159.5%
山梨市	1,749,630	4.0%	1,767,768	4.1%	99.0%
大月市	345,935	0.8%	301,332	0.7%	114.8%
韮崎市	402,492	0.9%	396,469	0.9%	101.5%
南アルプス市	704,211	1.6%	813,595	1.9%	86.6%
北杜市	5,471,140	12.6%	5,857,855	13.5%	93.4%
甲斐市	813,134	1.9%	780,701	1.8%	104.2%
笛吹市	3,498,360	8.1%	3,273,491	7.5%	106.9%
上野原市	373,157	0.9%	411,594	0.9%	90.7%
甲州市	2,905,420	6.7%	2,847,027	6.5%	102.1%
中央市	616,428	1.4%	656,629	1.5%	93.9%
市川三郷町	528,786	1.2%	546,859	1.3%	96.7%
早川町	29,306	0.1%	28,338	0.1%	103.4%
身延町	1,613,646	3.7%	1,644,180	3.8%	98.1%
南部町	392,544	0.9%	407,368	0.9%	96.4%
富士川町	437,303	1.0%	485,633	1.1%	90.0%
昭和町	33,414	0.1%	30,795	0.1%	108.5%
道志村	819,077	1.9%	853,229	2.0%	96.0%
西桂町	79,235	0.2%	88,980	0.2%	89.0%
忍野村	168,408	0.4%	157,472	0.4%	106.9%
山中湖村	1,125,909	2.6%	1,175,578	2.7%	95.8%
鳴沢村	3,375,309	7.8%	3,287,478	7.6%	102.7%
富士河口湖町	5,793,297	13.3%	5,850,244	13.4%	99.0%
小菅村	80,098	0.2%	81,838	0.2%	97.9%
丹波山村	297,927	0.7%	318,037	0.7%	93.7%
年計	43,405,941	100.0%	43,514,563	100.0%	99.8%





図表17 平成26年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H26年												H25年 合計	前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計
	甲府市	233,283	128,779	282,914	392,960	492,213	272,487	395,207	582,551	317,293	416,421	454,272			166,777
富士吉田市	591,377	168,303	443,615	402,164	563,771	421,444	685,820	1,362,190	721,249	586,302	557,527	344,370	6,848,132	6,647,528	103.0%
都留市	18,751	6,880	22,566	41,166	59,482	51,718	82,087	122,367	104,844	100,204	105,548	52,873	768,486	481,932	159.5%
山梨市	89,076	37,699	84,575	130,061	199,989	238,735	138,692	195,180	222,072	172,048	165,322	76,181	1,749,630	1,767,768	99.0%
大月市	22,243	2,734	14,814	23,444	24,719	28,848	24,828	64,147	32,647	37,768	40,098	29,645	345,935	301,332	114.8%
韮崎市	26,423	14,611	25,554	27,950	26,668	30,810	30,028	79,305	32,874	51,541	30,836	25,892	402,492	396,469	101.5%
南アルプス市	47,826	140,758	44,769	62,551	45,240	70,952	53,687	71,959	47,491	41,921	39,254	37,803	704,211	813,595	86.6%
北杜市	285,435	128,036	272,944	403,847	557,758	436,089	606,491	1,106,393	517,269	482,131	423,979	250,768	5,471,140	5,857,855	93.4%
甲斐市	51,920	31,948	50,703	66,865	69,836	76,883	65,373	73,367	71,559	126,373	71,705	56,602	813,134	780,701	104.2%
笛吹市	253,333	91,224	195,058	536,375	230,138	233,640	370,709	568,078	321,298	271,942	262,191	162,374	3,498,360	3,273,491	106.9%
上野原市	23,867	6,421	27,448	35,320	36,160	32,479	36,153	30,842	42,153	33,375	37,480	31,459	373,157	411,594	90.7%
甲州市	108,445	88,753	133,946	209,804	189,622	213,967	266,279	421,392	481,884	441,228	236,291	113,809	2,905,420	2,847,027	102.1%
中央市	33,928	21,322	39,065	76,362	52,354	66,959	50,073	72,699	48,240	44,090	74,447	36,889	616,428	656,629	93.9%
市川三郷町	33,212	14,037	26,404	28,619	28,792	26,220	26,792	236,392	28,236	24,839	28,409	26,834	528,786	546,859	96.7%
早川町	496	176	291	734	14,322	831	2,777	4,441	2,008	1,124	1,734	372	29,306	28,338	103.4%
身延町	149,929	44,967	131,358	322,731	162,803	149,275	107,511	115,424	90,769	124,404	131,328	83,147	1,613,646	1,644,180	98.1%
南部町	26,563	13,427	27,870	45,880	35,471	28,672	27,936	74,970	29,423	26,639	32,036	23,657	392,544	407,368	96.4%
富士川町	32,469	14,243	29,401	78,559	31,842	32,375	48,445	36,985	27,669	26,105	56,016	23,194	437,303	485,633	90.0%
昭和町	1,243	1,110	1,569	1,497	1,323	1,301	1,399	1,341	590	19,669	1,277	1,095	33,414	30,795	108.5%
道志村	30,748	7,968	37,954	73,132	108,473	55,756	91,724	136,793	89,355	75,946	82,824	28,404	819,077	853,229	96.0%
西桂町	6,001	2,599	6,207	6,180	7,966	6,134	7,127	10,045	7,406	6,964	6,964	5,642	79,235	88,980	89.0%
忍野村	5,331	1,847	7,486	8,308	16,716	10,446	18,295	56,303	15,579	12,944	11,522	3,631	168,408	157,472	106.9%
山中湖村	66,768	54,617	45,821	54,610	113,161	63,651	92,961	233,290	111,105	88,125	125,579	76,221	1,125,909	1,175,578	95.8%
鳴沢村	175,837	80,224	193,040	260,052	363,448	235,768	420,969	554,656	358,158	304,533	263,689	164,935	3,375,309	3,287,478	102.7%
富士河口湖町	251,367	160,414	250,343	423,059	889,285	500,662	754,024	801,475	458,179	421,743	666,149	216,697	5,793,297	5,850,244	99.0%
小菅村	4,282	931	3,132	5,736	20,391	4,115	5,762	10,165	6,574	5,335	9,258	4,417	80,098	81,838	97.9%
丹波山村	22,964	4,281	14,366	20,847	35,603	21,238	32,056	46,137	26,904	27,603	24,275	21,653	297,927	318,037	93.7%
合計	2,593,117	1,268,309	2,413,213	3,740,813	4,377,546	3,311,455	4,443,205	7,068,887	4,212,828	3,971,317	3,940,010	2,065,241	43,405,941	43,514,563	99.8%
月別構成比	6.0%	2.9%	5.6%	8.6%	10.1%	7.6%	10.2%	16.3%	9.7%	9.1%	9.1%	4.8%	100.0%		

## 第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

## 1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 26 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年代別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

### (1) 調査日

観光地点を、

歴史・文化

都市型観光

温泉・健康

スポーツ・レクリエーション

自然

その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

冬 : 平成 26 年 2 月 11 日(火)  
 平成 26 年 3 月 1 日(土)、2 日(日)、8 日(土)、9 日(日)  
 春 : 平成 26 年 5 月 17 日(土)  
 夏 : 平成 26 年 8 月 2 日(土)  
 秋 : 平成 26 年 11 月 1 日(土)

2 月中に記録的な降雪が二度あり、調査困難な地点においては調査日を 3 月に移行している。

### (2) 調査地点、サンプル数

分類	観光地点名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	76	78	76	76	306
歴史・文化	山梨県立美術館	峡中	76	76	76	74	302
歴史・文化	勝沼ぶどうの丘	峡東	71	75	75	76	297
都市型観光	モンデ酒造	峡東	76	76	42	65	259
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	103	76	76	53	308
温泉・健康	みはらしの丘みたまの湯	峡南	75	77	75	75	302
都市型観光	八ヶ岳アウトレット	峡北	101	102	102	102	407
その他・道の駅	道の駅こぶちざわ	峡北	78	75	75	76	304
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	富士・東部	102	124	103	123	452
自然	カチカチ山ロープウェイ	富士・東部	44	76	49	107	276
合計			802	835	749	827	3,213

### (3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が 100%にならない場合がある。

## 2. 観光客の特性、動態状況の分析

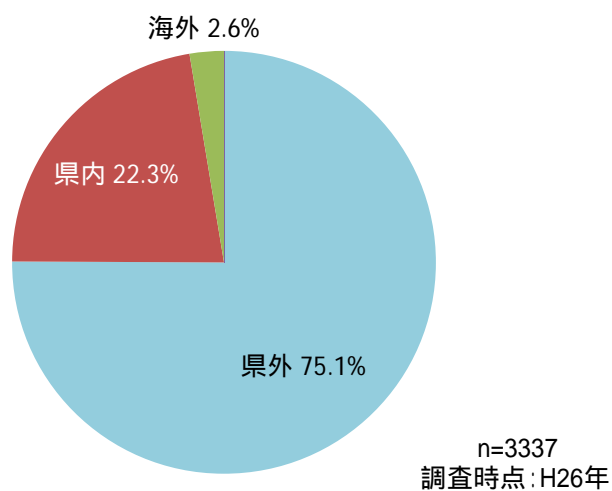
観光地アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

### (1) 本県観光客の全体像

#### 居住地

観光客の居住地は、「県内」が22.3%、「県外」が75.1%、「海外」が2.6%である。

前年調査と比較すると、海外は1.5ポイント増加したものの、県外が4.4ポイント減少している。



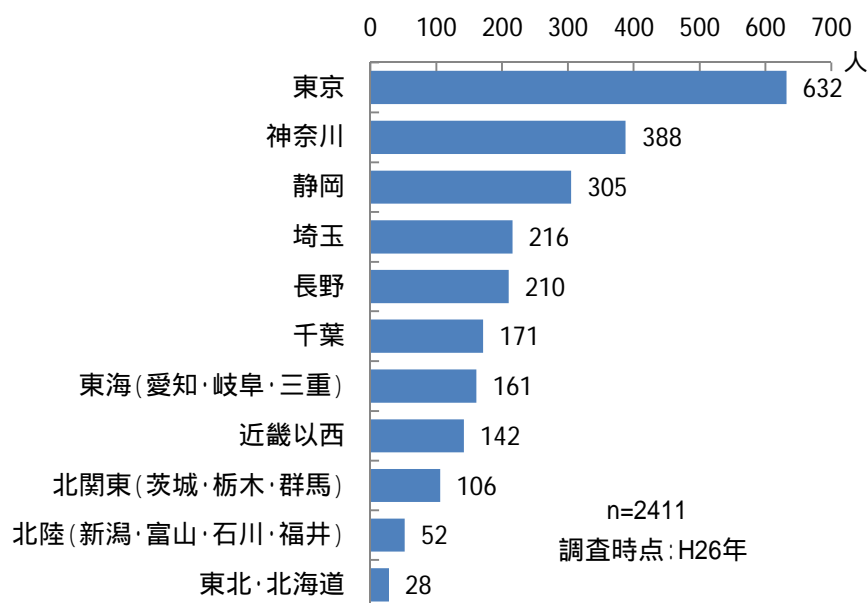
#### 【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%ポイント)	H25年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
県外	75.1%	79.4%	4.4
県内	22.3%	19.4%	2.9
海外	2.6%	1.1%	1.5
不明	0.0%	0.1%	0.1

有意な差あり

また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都（26.2%）、神奈川県（16.1%）、静岡県（12.7%）、埼玉県（9.0%）、長野県（8.7%）と、隣接する都県からの来訪者が多い。

季節変動をみると、前年度と同じような傾向を示している都道府県が多いが、千葉県からの来訪者が秋に急増している。また、神奈川県からの来訪者の割合は、年間通じて構成比が増加している季節が多い。



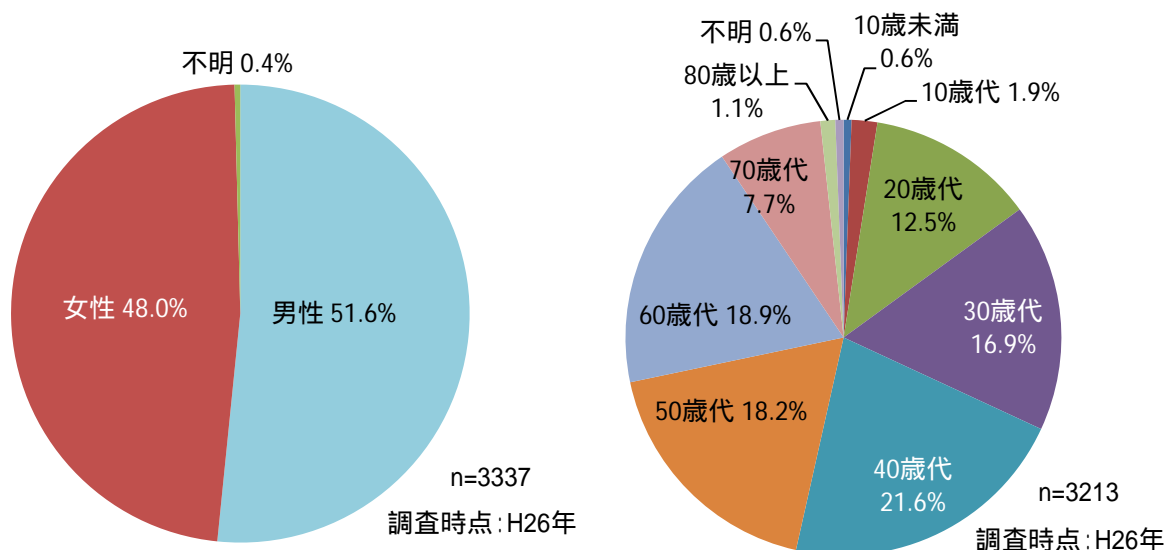
### 【季節対比】

H26年	冬	春	夏	秋	年間
東京	30.0%	26.3%	21.7%	26.7%	26.2%
神奈川	16.3%	14.9%	17.7%	15.8%	16.1%
静岡	16.6%	11.4%	13.8%	9.6%	12.7%
埼玉	8.0%	10.8%	9.8%	7.4%	9.0%
長野	9.8%	9.8%	5.5%	9.4%	8.7%
千葉	5.6%	6.2%	5.8%	10.2%	7.1%
東海(愛知・岐阜・三重)	5.2%	8.2%	6.7%	6.3%	6.7%
近畿以西	4.3%	4.4%	9.1%	5.9%	5.9%
北関東(茨城・栃木・群馬)	2.4%	5.7%	4.2%	5.0%	4.4%
北陸(新潟・富山・石川・福井)	1.3%	1.4%	3.1%	2.8%	2.2%
東北・北海道	0.5%	0.8%	2.6%	0.9%	1.2%

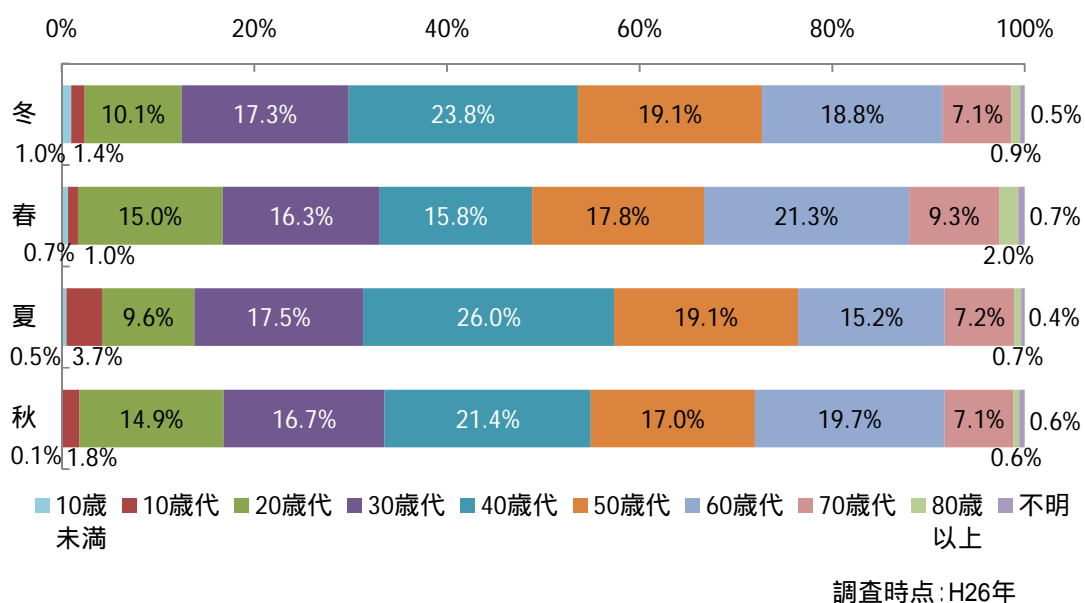
### 性別・年代別

アンケート回答者のうち、男性は51.6%、女性は48.0%である。

年齢層をみると、「40歳代」(21.6%)が最も多く、「60歳代」(18.9%)、「50歳代」(18.2%)と続いている。



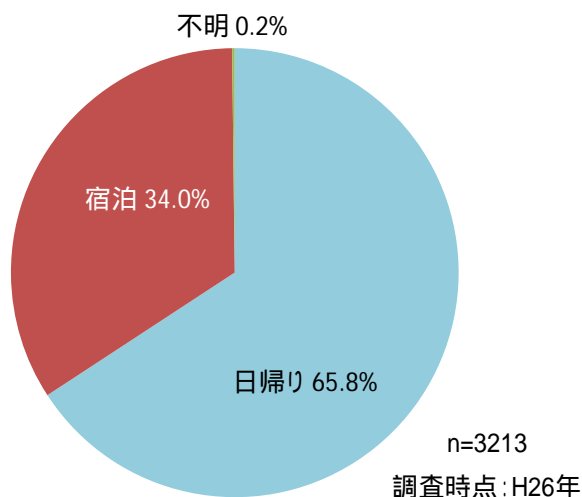
季節毎で見ると、春は「60歳代」、それ以外の季節は「40歳代」の割合が最も高くなっている。



### 滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況は、「日帰り」が65.8%を占める。「宿泊」は、34.0%であり、平成25年調査結果と比較して統計的な差異は無かった。

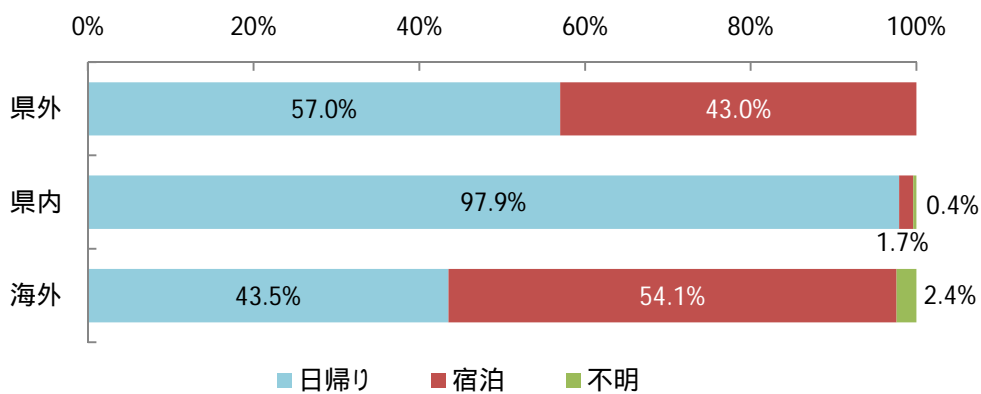
居住地別でみると、県内は「日帰り」が97.9%を占めるのに対し、県外では43.0%、海外では54.1%が「宿泊」となっている。



#### 【前年対比】

カテゴリ	H26年 (% <sup>入</sup> -入)	H25年 (% <sup>入</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
日帰り	65.8%	65.0%	0.8
宿泊	34.0%	34.9%	0.9
不明	0.2%	0.1%	0.1

差は統計誤差の範囲内



調査時点: H26年

#### 【居住地対比】

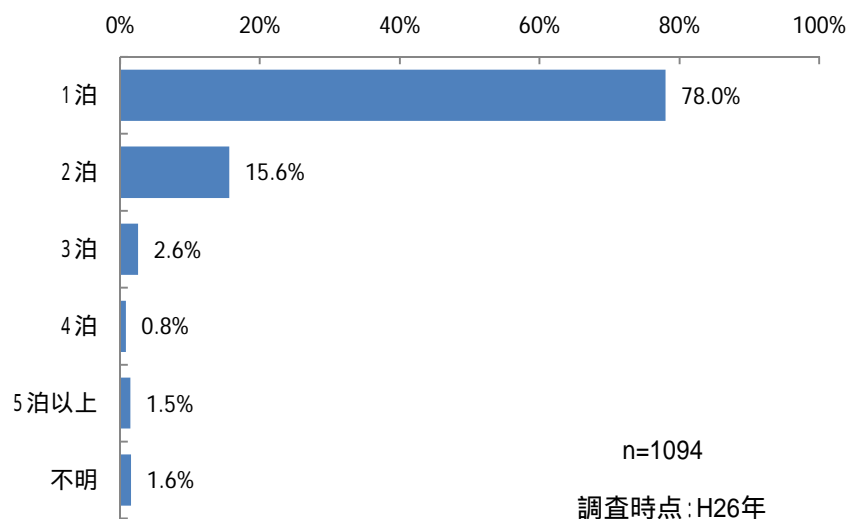
カテゴリ	県外 (% <sup>入</sup> -入)	県内 (% <sup>入</sup> -入)	海外 (% <sup>入</sup> -入)
日帰り	57.0%	97.9%	43.5%
宿泊	43.0%	1.7%	54.1%
不明	0.0%	0.4%	2.4%

有意な差あり



宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」(78.0%)が最も高く、次いで「2泊」(15.6%)である。

平成25年調査結果と比較すると、「1泊」の割合が2.1ポイント増加し、「2泊」の割合が3.3ポイント減少した。



\*複数回答

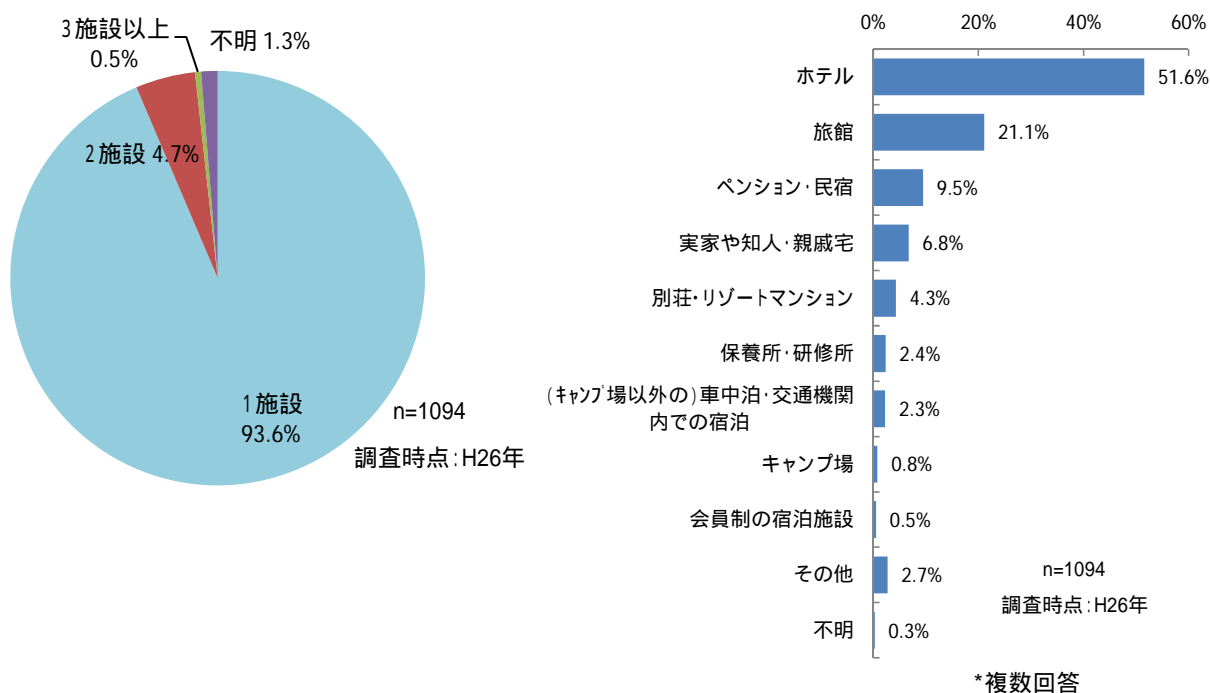
【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%)	H25年 (%)	比較増減 (ポイント)
1泊	78.0%	75.9%	2.1
2泊	15.6%	18.9%	3.3

## 宿泊施設

宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」(93.6%)がほとんどである。

宿泊施設の種類は、「ホテル」(51.6%)が過半数を占める。次いで、「旅館」(21.1%)、「ペンション・民宿」(9.5%)、「実家や知人・親戚宅」(6.8%)、「別荘・リゾートマンション」(4.3%)の順となっており、前年と同様の構成であった。



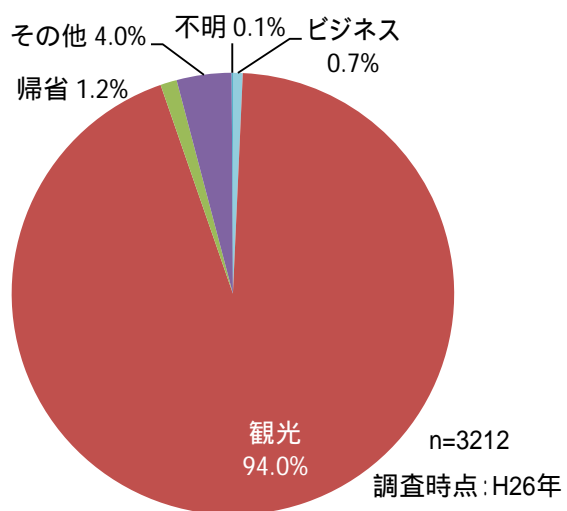
## 【前年対比】

カテゴリ	H26年 (% <sup>^</sup> -入)	H25年 (% <sup>^</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
ホテル	51.6%	52.4%	0.8
旅館	21.1%	22.3%	1.2
ペンション・民宿	9.5%	8.7%	0.8
実家や知人・親戚宅	6.8%	6.0%	0.8
別荘・リゾートマンション	4.3%	5.1%	0.8
保養所・研修所	2.4%	1.8%	0.6
(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	2.3%	2.2%	0.1

## 旅行の主な目的

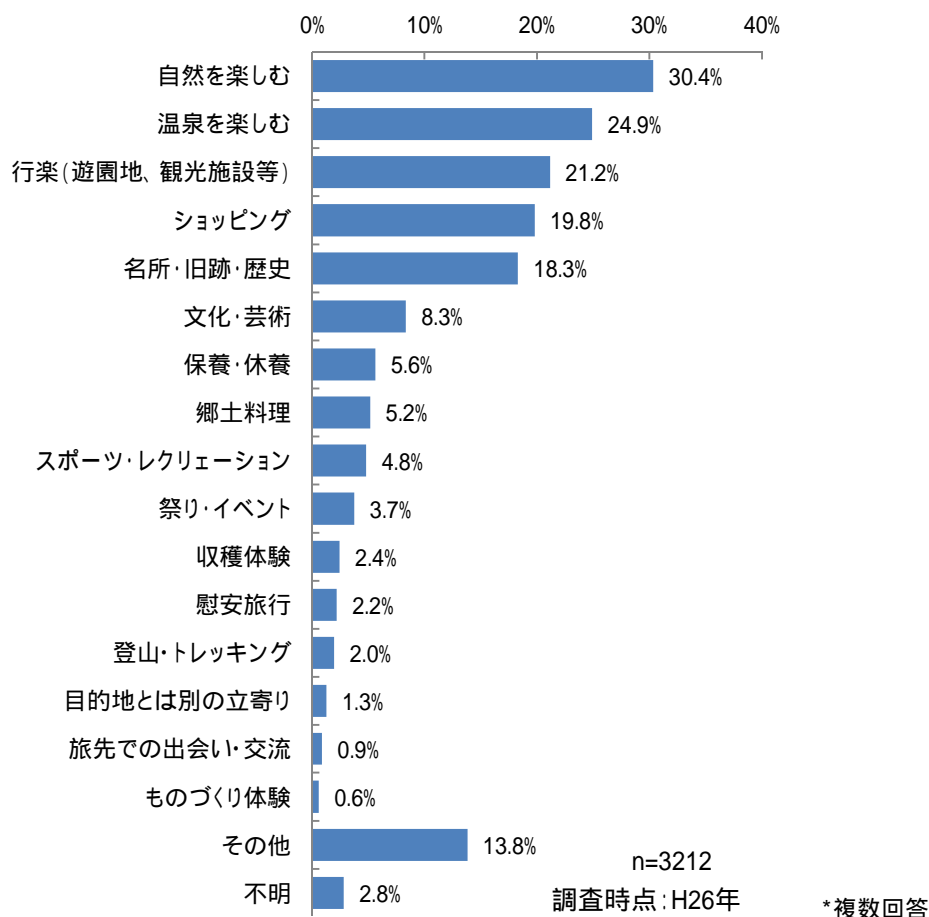
旅行の主な目的は、「観光」が94.0%を占める。

「その他」(4.0%)の内容は「神社仏閣の参拝」や「ワイン」などである。



目的をみると、「自然を楽しむ」が30.4%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(24.9%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(21.2%)となっている。

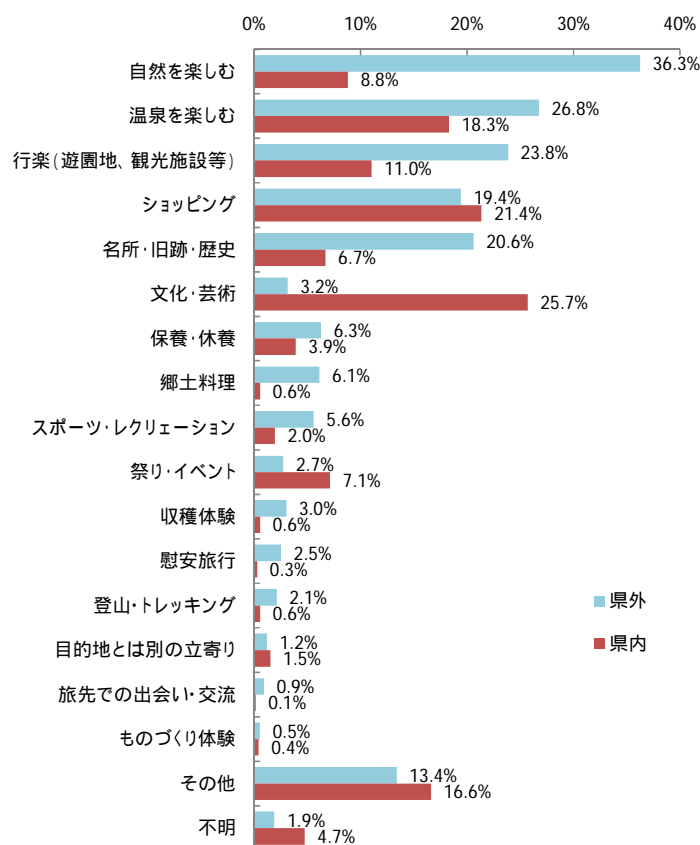
平成25年調査結果と比較すると、ほぼ同様の構成比であったが、特に「自然を楽しむ」が3.2ポイント減少し、「行楽(遊園地、観光施設等)」が3.5ポイント増加している。



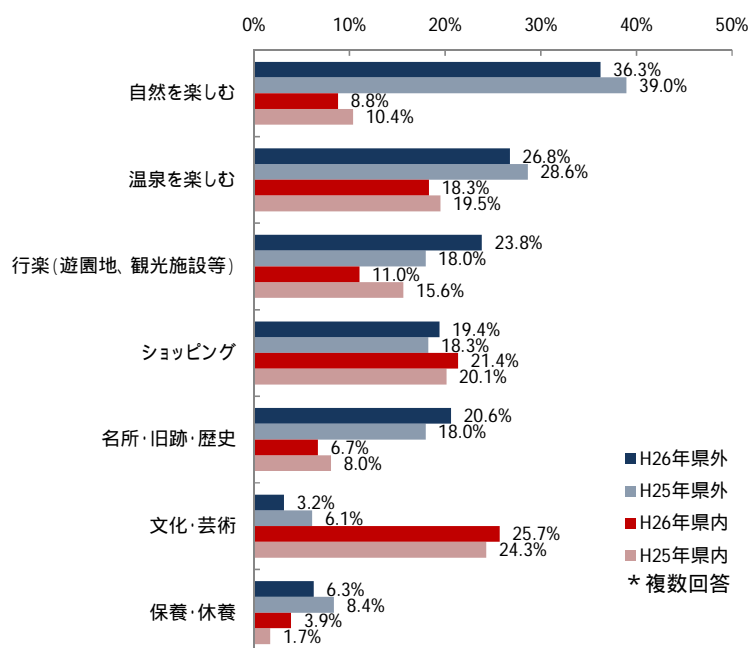
### 【季節対比・前年対比】

	冬	春	夏	秋	H26年	H25年	比較増減
自然を楽しむ	13.8%	37.8%	27.8%	41.1%	30.4%	33.6%	3.2
温泉を楽しむ	30.8%	25.5%	17.1%	25.6%	24.9%	26.8%	1.9
行楽(遊園地、観光施設等)	17.6%	24.1%	19.4%	23.3%	21.2%	17.7%	3.5
ショッピング	21.4%	17.4%	17.1%	23.1%	19.8%	18.6%	1.2
名所・旧跡・歴史	20.0%	20.5%	16.7%	16.0%	18.3%	16.3%	2.0
文化・芸術	10.7%	8.3%	11.2%	3.5%	8.3%	9.7%	1.4
保養・休養	4.9%	5.3%	7.2%	5.3%	5.6%	7.0%	1.4
郷土料理	6.0%	3.0%	4.0%	7.6%	5.2%	4.6%	0.6
スポーツ・レクリエーション	7.0%	3.1%	6.4%	2.9%	4.8%	3.8%	1.0

観光旅行の目的を居住地別にみると、県外客では「自然を楽しむ」(36.3%)が最も高く、次いで、「温泉を楽しむ」(26.8%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(23.8%)の順となっている。一方、県内客では「文化・芸術」が25.7%で最も高く、「ショッピング」(21.4%)が続いている。平成25年調査結果と比較するとほぼ同様の傾向であるが、「行楽(遊園地、観光施設等)」が県外で5.8ポイント増加しており、県内では4.6ポイント減少している。



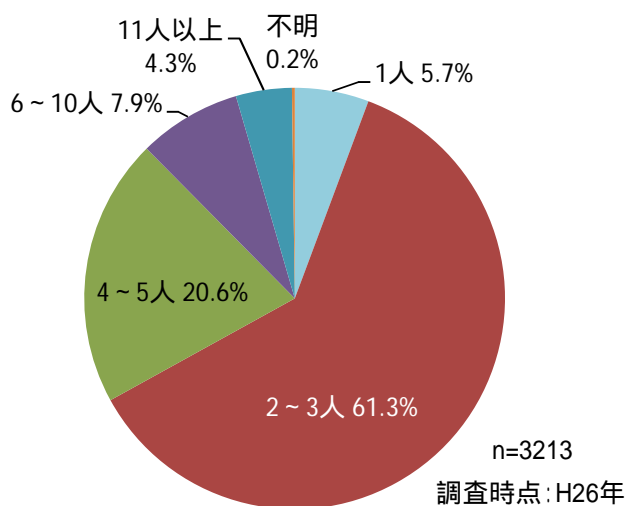
\* 複数回答



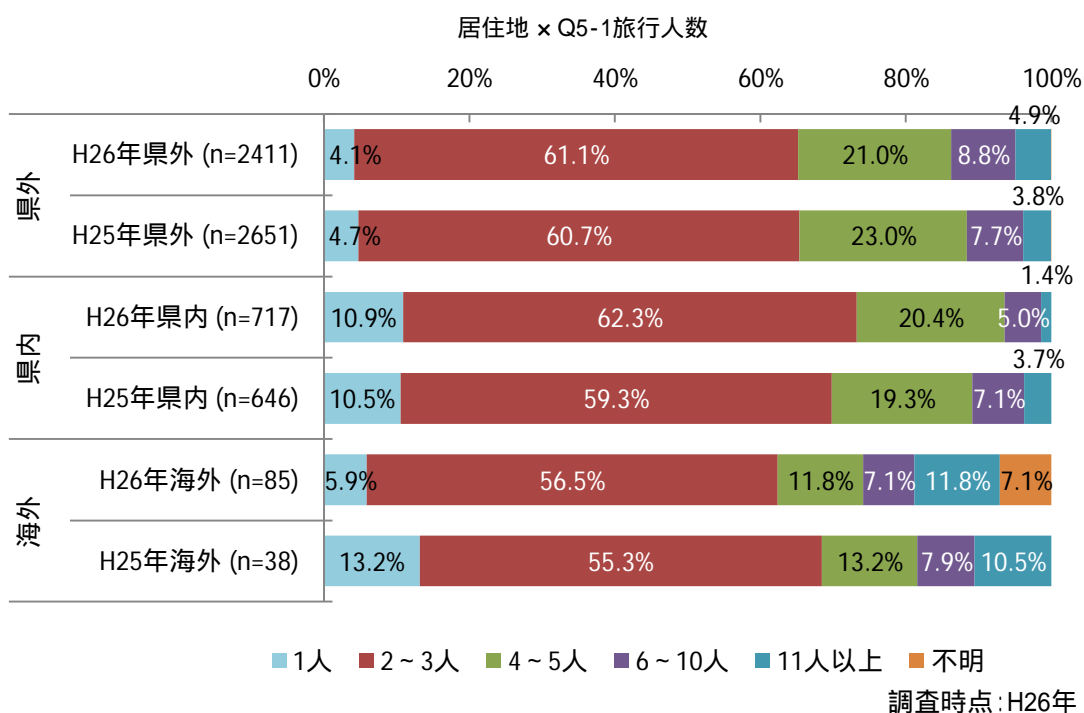
\* 複数回答

## 同行者

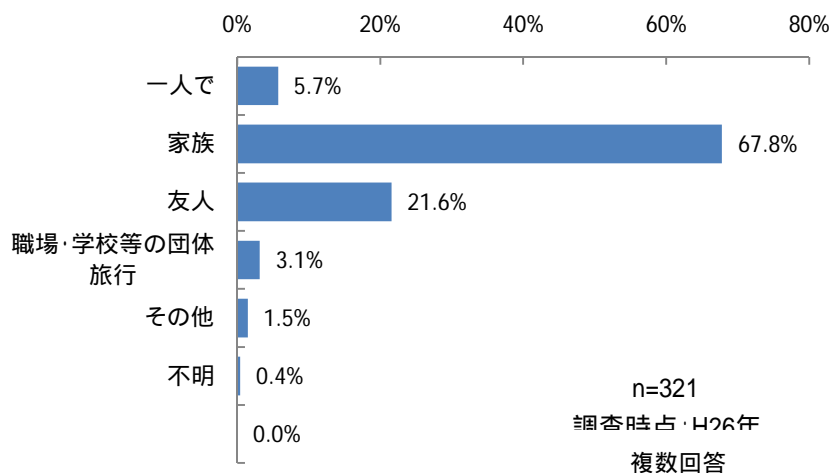
同行人数は、「2～3人」が61.3%と最も高く、次いで「4～5人」(20.6%)となっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が8割以上を占めている。



居住地別の旅行人数では、前年調査と同様に、県外・県外・海外いずれも「2～3人」のグループが最も多い傾向は変わらなかったが、海外の「1人」は7.3ポイント減少し、「2～3人」や「11人以上」で若干の増加がみられる。



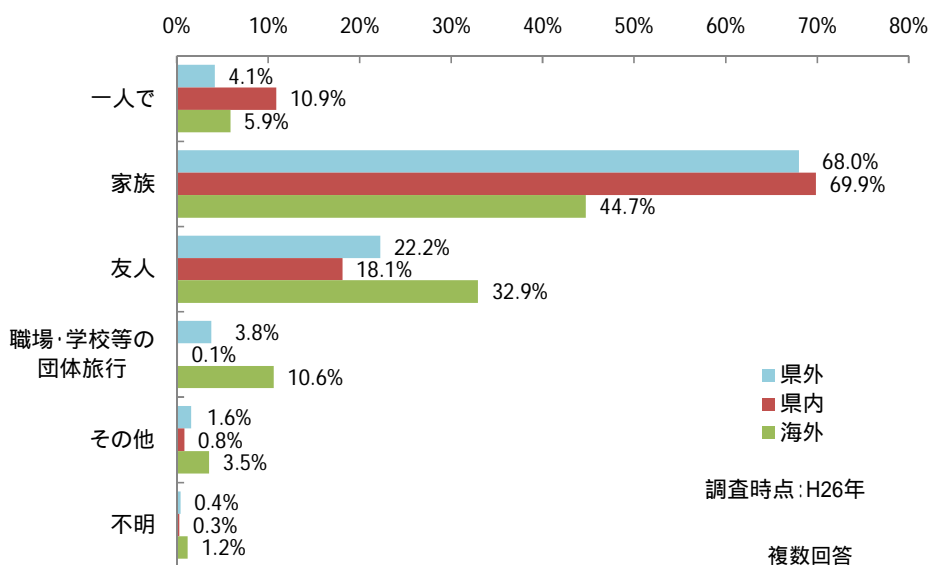
同行者は「家族」が67.8%で最も高く、次いで「友人」(21.6%)となっている。  
前年調査と比較すると、「家族」が2.6ポイント減少し、「友人」が2.7ポイント増加している。



【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%ポイント)	H25年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
一人で	5.7%	5.9%	0.2
家族	67.8%	70.4%	2.6
友人	21.6%	18.9%	2.7
職場・学校等の団体旅行	3.1%	3.7%	0.6
その他	1.5%	0.7%	0.8
不明	0.4%	0.6%	0.2

居住地別でみると、県内外は同様の傾向となっているものの、海外では「家族」が40%台とやや低く、「友人」が30%台とやや高くなっている。また、県内では「一人で」、海外では「職場・学校等の団体旅行」が1割程度みられる。

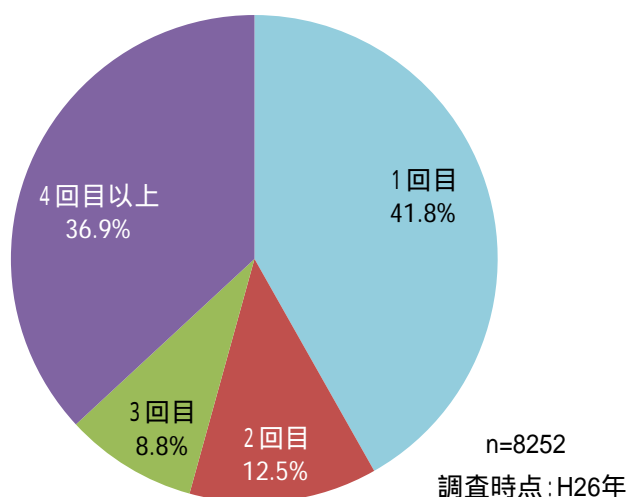


### 今いる観光地への訪問回数（同行者含む）

同行者全員の観光地への訪問回数を知っていると回答した2,776人（86.4%）について、回答した方と同行者も含めた「今いる観光地」への訪問回数をみると、「1回目」（41.8%）、「4回目以上」（36.9%）の順で高い割合となっている。

季節毎にみてみると、冬は「4回目以上」の割合が最も高く、春以降は「1回目」の割合が最も高くなっており、冬は観測史上初となった大雪の影響で、リピーター以外の足が遠のいたことが考えられる。

前年調査と比較してみると、「1回目」が3.3ポイント減少し、「3回目」以上が3.5ポイント増加している。



### 【季節対比・前年対比】

カテゴリ	冬 (% <sup>△</sup> -入)	春 (% <sup>△</sup> -入)	夏 (% <sup>△</sup> -入)	秋 (% <sup>△</sup> -入)	H26年 (% <sup>△</sup> -入)	H25年 (% <sup>△</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
1回目	35.4%	45.1%	43.0%	43.8%	41.8%	45.1%	3.3
2回目	9.7%	13.8%	14.3%	12.1%	12.5%	12.7%	0.2
3回目	8.8%	7.8%	8.1%	10.4%	8.8%	6.1%	2.7
4回目以上	46.1%	33.3%	34.5%	33.7%	36.9%	36.1%	0.8

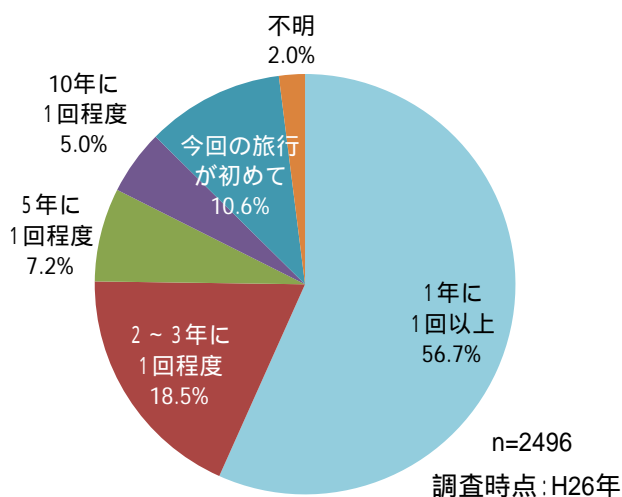
有意な差あり



### 県外客の山梨への訪問頻度

県外客が山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が56.7%で最も高く、次いで「2～3年に1回程度」(18.5%)、「今回の旅行が初めて」(10.6%)、「5年に1回程度」(7.2%)と続いている。

また、前年調査と比較すると、「今回の旅行が初めて」が2.3ポイント増加しているが、一方で「1年に1回以上」が3.4ポイント減少している。



### 【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%ポイント)	H25年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
1年に1回以上	56.7%	60.1%	3.4
2～3年に1回程度	18.5%	18.5%	0.0
5年に1回程度	7.2%	7.0%	0.2
10年に1回程度	5.0%	5.2%	0.2
今回の旅行が初めて	10.6%	8.3%	2.3
不明	2.0%	1.0%	1.0

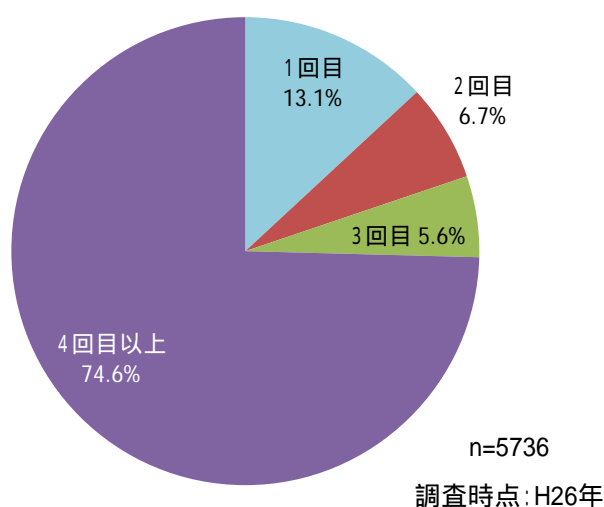
有意な差あり

### 同行者の本県への訪問回数

同行者全員の山梨県への訪問回数を知っていると回答した 1,992 人（県外居住者の 79.8%）について、回答した方と同行者も含めた山梨県への訪問回数をみると、「4 回目以上」が 74.6%と最も高く、次いで「1 回目」（13.1%）となっている。

季節毎では、1 年を通して「4 回目以上」が最も比率が高い。特に冬は、80.2%と高い割合になっているが、大雪の影響によりリピーター以外は敬遠したと考えられる。

前年調査と比較すると、「1 回目」が 2.4 ポイント増加、「4 回目以上」が 2.9 ポイント減少している。



### 【季節対比・前年対比】

カテゴリ	冬 (% <sup>^</sup> -入)	春 (% <sup>^</sup> -入)	夏 (% <sup>^</sup> -入)	秋 (% <sup>^</sup> -入)	H26年 (% <sup>^</sup> -入)	H25年 (% <sup>^</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
1回目	8.6%	11.5%	17.0%	15.0%	13.1%	10.7%	2.4
2回目	5.9%	6.1%	7.8%	7.1%	6.7%	6.2%	0.5
3回目	5.3%	7.1%	5.9%	4.3%	5.6%	5.6%	0.0
4回目以上	80.2%	75.2%	69.3%	73.6%	74.6%	77.5%	2.9

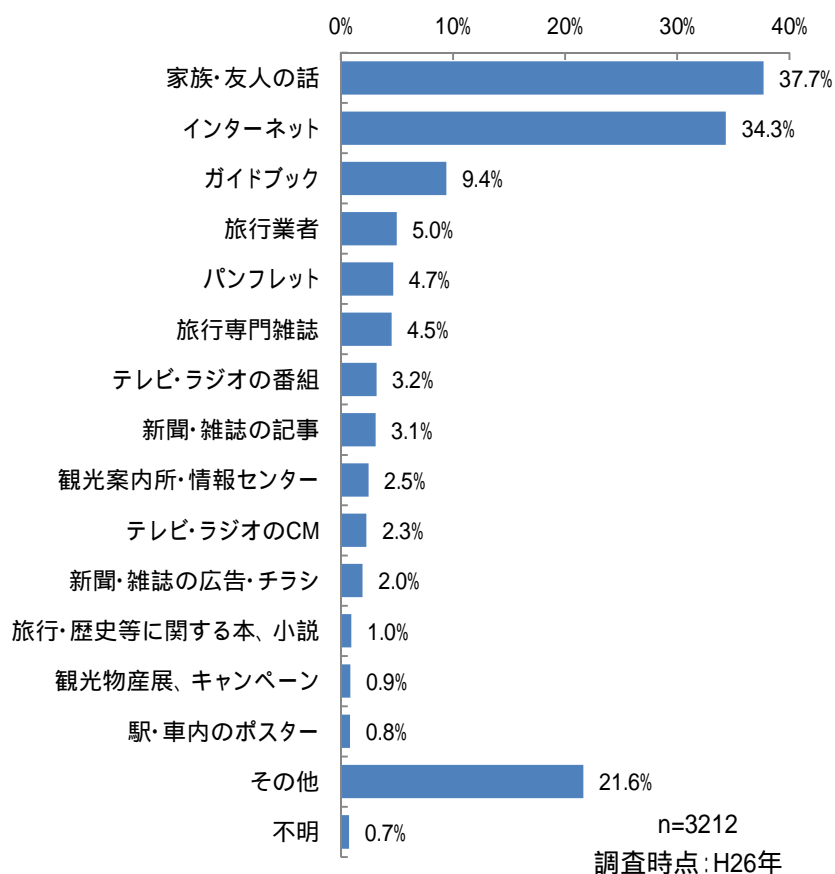
有意な差あり

有意な差あり

## 旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が37.7%で最も高い。次いで「インターネット」(34.3%)、「ガイドブック」(9.4%)と続いており、いずれも前年調査と比較して増加がみられる。

「その他」が21.6%と多くなっているが、これは回答者が訪問地を以前から知っていたり、リピーターであったりするケースが多い。

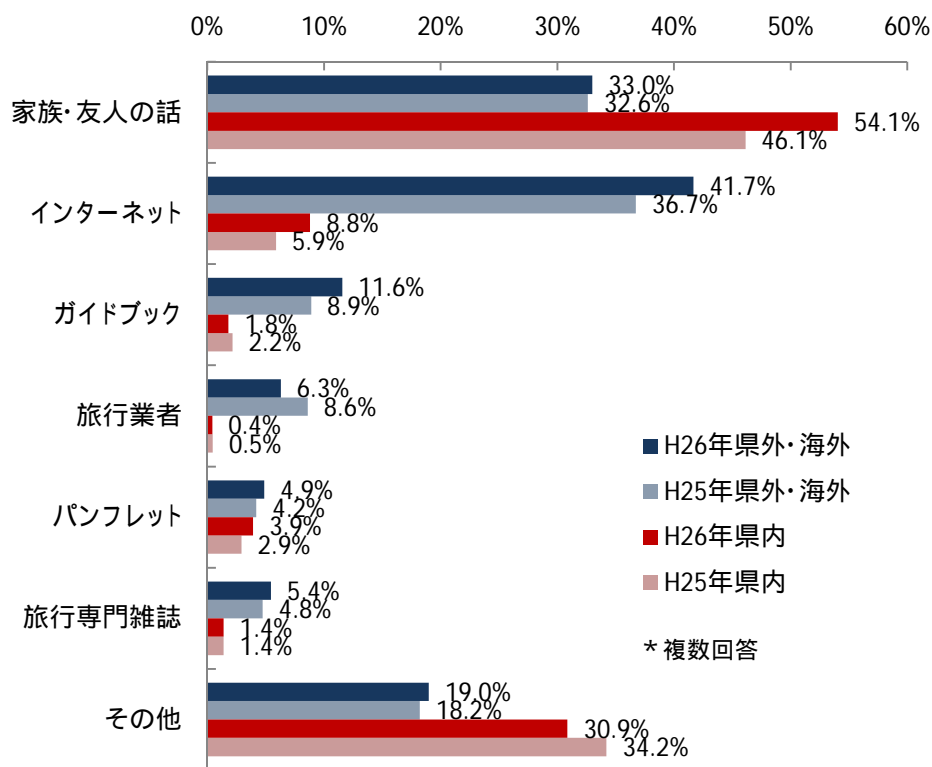


### 【前年対比】

\* 複数回答

	H26年	H25年	比較増減
家族・友人の話	37.7%	34.9%	2.8
インターネット	34.3%	30.3%	4.0
ガイドブック	9.4%	7.5%	1.9
旅行者	5.0%	6.9%	1.9
パンフレット	4.7%	3.9%	0.8
旅行専門雑誌	4.5%	4.0%	0.5
テレビ・ラジオの番組	3.2%	5.3%	2.1
新聞・雑誌の記事	3.1%	2.8%	0.3

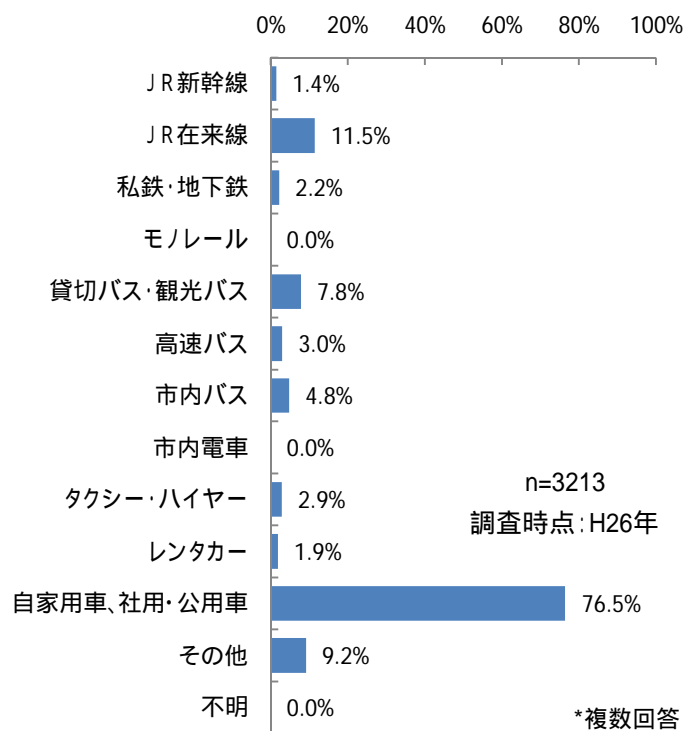
旅行計画の参考資料を居住地別にみると、県外では「インターネット」(41.7%)が最も高く、次いで「家族・友人の話」(33.0%)、「ガイドブック」(11.6%)と続いており、いずれも前年調査と比較して増加がみられる。一方、県内では「家族・友人の話」(54.1%)がもっとも高くなっており、「インターネット」(8.8%)とともに前年より増加がみられる。

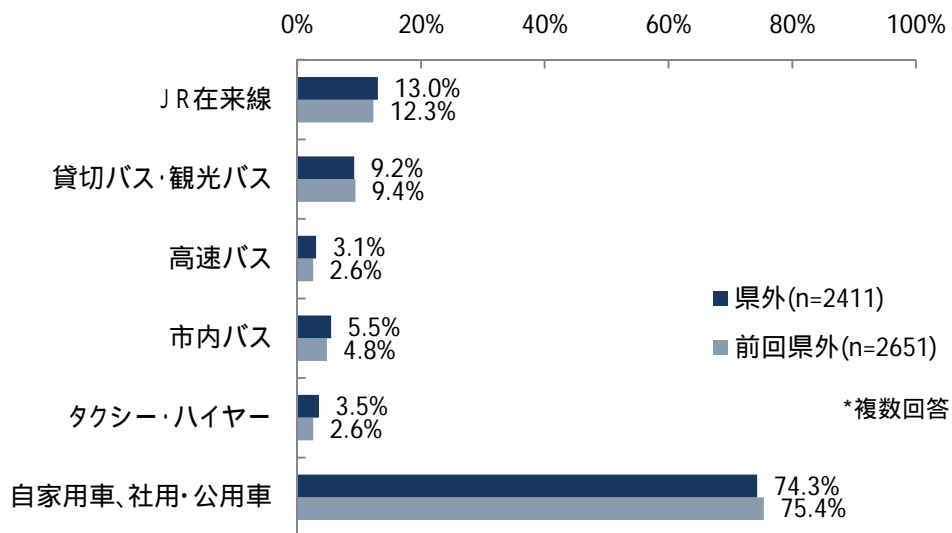
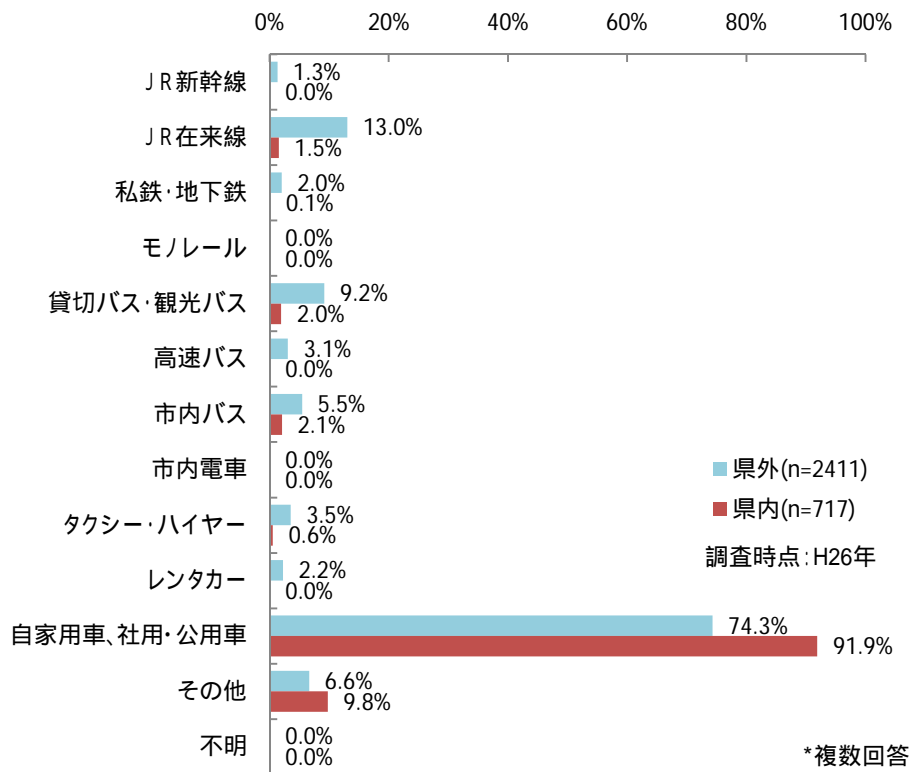


## 観光客の交通手段

県内観光の際に利用した交通手段は、「自家用車、社用・公用車」の割合が圧倒的に高く7割以上を占める。次いで「JR在来線」(11.5%)、「貸切バス・観光バス」(7.8%)となっている。

前年同時期の調査と比較すると、構成はほぼ同様の結果となった。

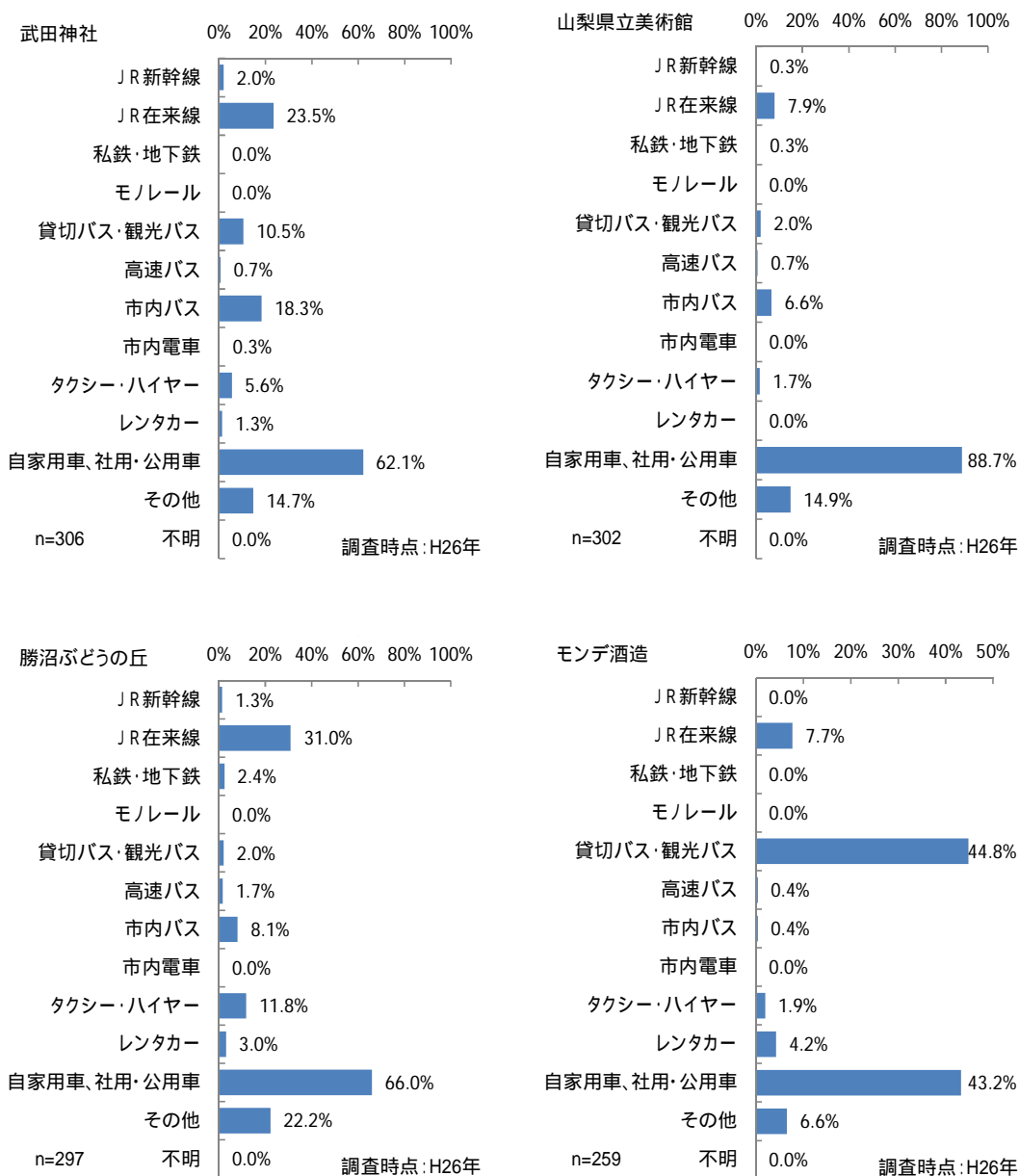




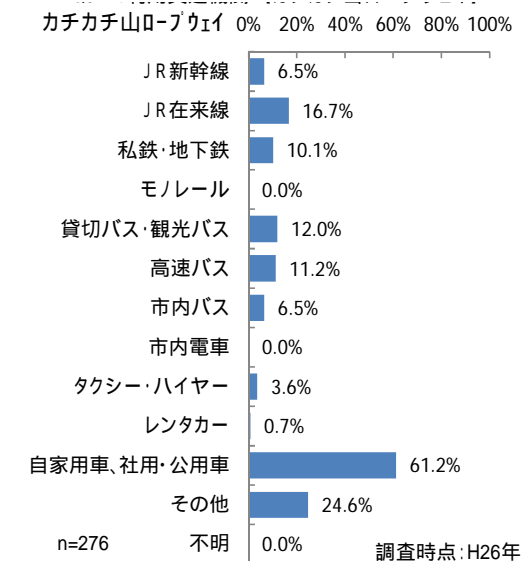
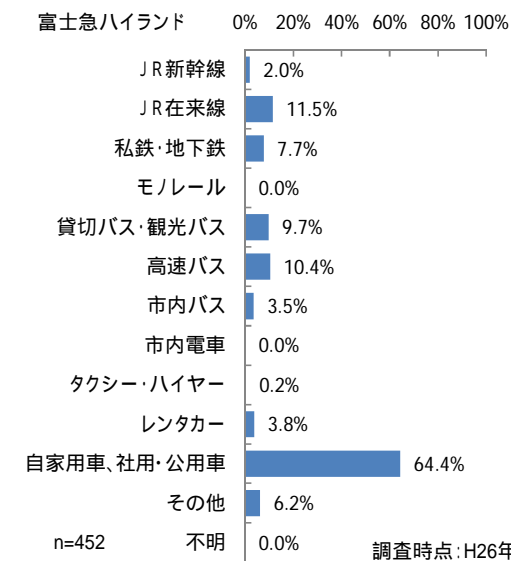
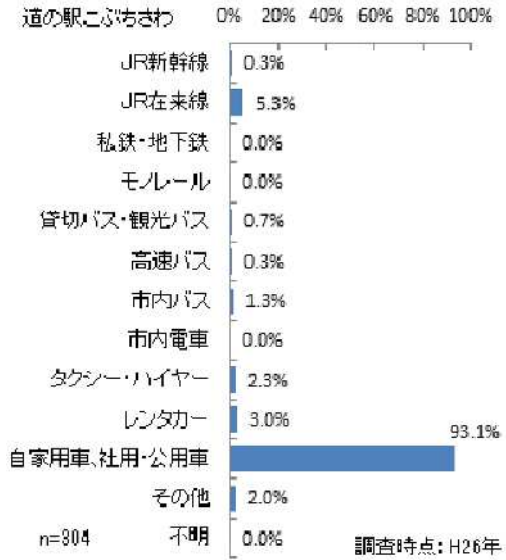
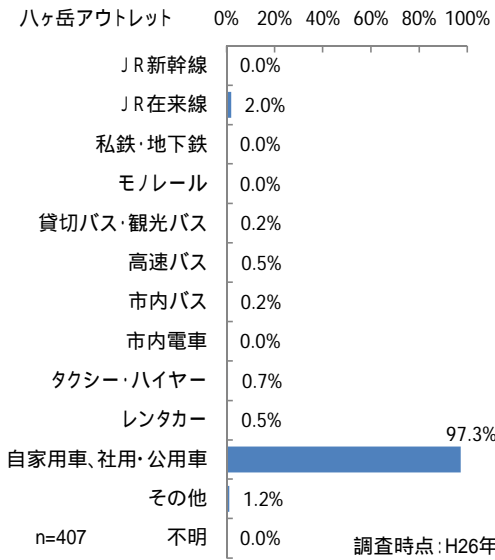
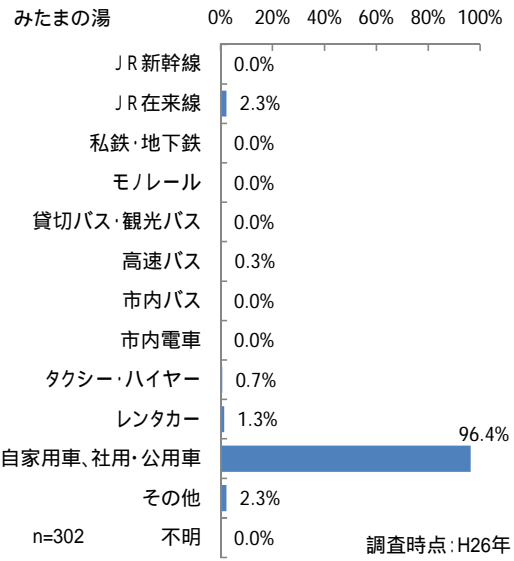
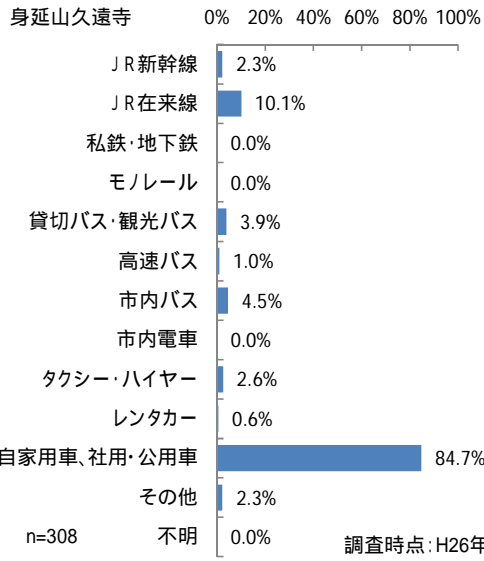
地点別では、「モンデ酒造」では「貸切バス・観光バス」の利用が4割程度を占めており、団体バス旅行が有力顧客層を形成している状況がうかがえる。

また、「武田神社」では「JR 在来線」「市内バス」,「勝沼ぶどうの丘」では「JR 在来線」「タクシー・ハイヤー」,「富士急ハイランド」では「JR 在来線」「高速バス」,「カチカチ山ロープウェイ」では「JR 在来線」「私鉄・地下鉄」「貸切バス・観光バス」「高速バス」などの利用が比較的高い。

一方、「八ヶ岳アウトレット」「道の駅こぶちさわ」「みたまの湯」では、「自家用車、社用・公用車」が9割以上を占めており、公共交通機関の利用はほとんどみられない。



\* すべて複数回答





## 県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「パック旅行以外の個人・団体旅行客」と「パック旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

また、パック旅行以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の3つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

### A. パック旅行以外の個人・団体旅行客

県外宿泊・県外及び県内日帰り別の一人当たり平均観光消費額は、「県外宿泊客」が27,322円、「県外日帰り客」が9,192円、「県内日帰り客」が4,644円となった。全体の平均消費額は、宿泊が27,569円、日帰りの支出が7,592円だった。

季節別にみると、県外客は宿泊では夏、日帰りでは秋が高くなっている。

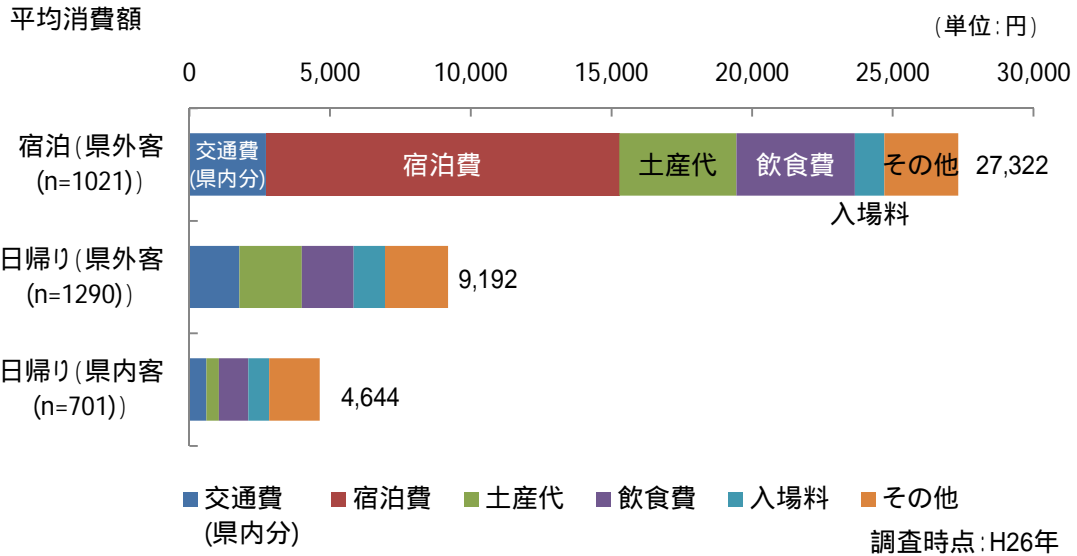
前年と比較すると、全体的に消費額はやや増加した。

消費額全体の内訳をみると、県外宿泊客は3万円以上が40.2%、2万円以上では75.9%を占めている。日帰りでは、県外客は5千円以上～2万円未満が74.3%、県内客は1千円以上3千円未満(32.5%)を中心に1万円未満までで86.0%を占めている。

カテゴリ		冬	春	夏	秋	H26年	H25年
宿泊	県外客	26,144	25,270	30,211	27,762	27,322	26,823
	県内客	26,535	25,200	30,257	28,266	27,569	27,108
日帰り	県外客	8,480	8,229	9,882	10,369	9,192	8,424
	県内客	3,797	4,827	4,951	5,586	4,644	4,184
全体		6,447	7,141	8,027	9,122	7,592	7,135
全体		12,675	12,643	15,065	17,430	14,401	14,219

調査時点：H26年			交通費 (県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費 (県外分)
宿泊	県外客 (n=1021)	平均額	2,714	12,567	4,167	4,204	1,049	2,620	27,322	4,483
		中央値	2,000	12,000	3,000	3,000	0	0	20,000	2,500
	宿泊全体 (n=1070)	平均額	2,736	12,661	4,230	4,259	1,052	2,631	27,569	4,529
		中央値	2,000	12,000	3,000	3,000	0	0	20,000	2,500
日帰り	県外客 (n=1290)	平均額	1,775	0	2,212	1,852	1,113	2,240	9,192	2,373
		中央値	1,500	0	1,500	1,500	520	0	5,020	1,750
	県内客 (n=701)	平均額	602	0	445	1,051	735	1,811	4,644	7
		中央値	400	0	0	1,000	0	0	1,400	0
	日帰り全体 (n=2021)	平均額	1,369	0	1,585	1,577	986	2,074	7,592	1,594
		中央値	1,000	0	360	1,300	0	0	2,660	1,000
全体 (n=3091)	平均額	1,838	4,300	2,494	2,495	1,009	2,265	14,401	2,596	
	中央値	1,400	0	1,500	2,000	0	0	4,900	1,500	

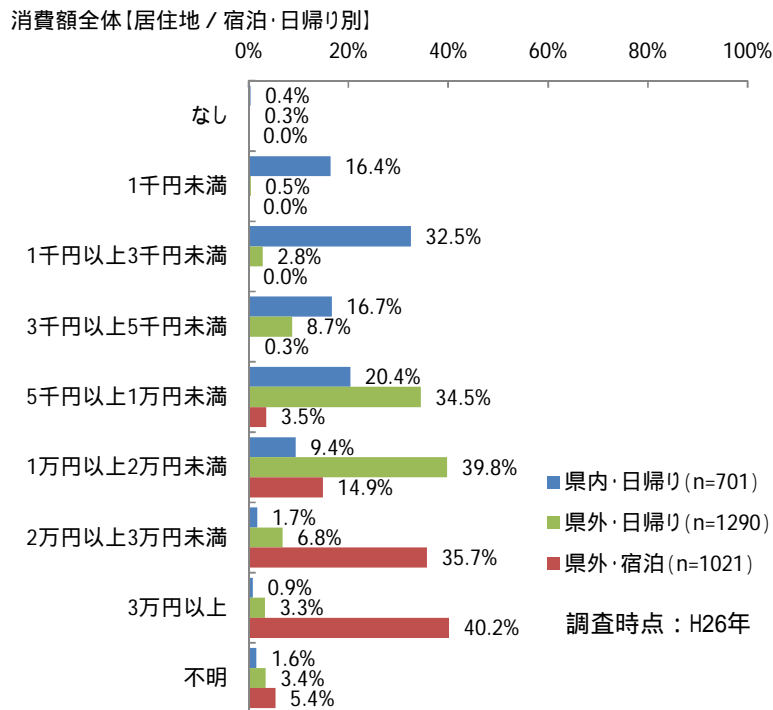
全体には、海外客を含み、居住地や宿泊・日帰りの別が不明なものを除く。

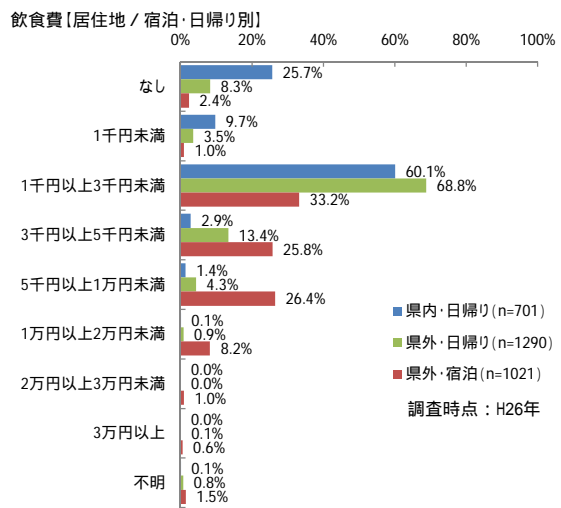
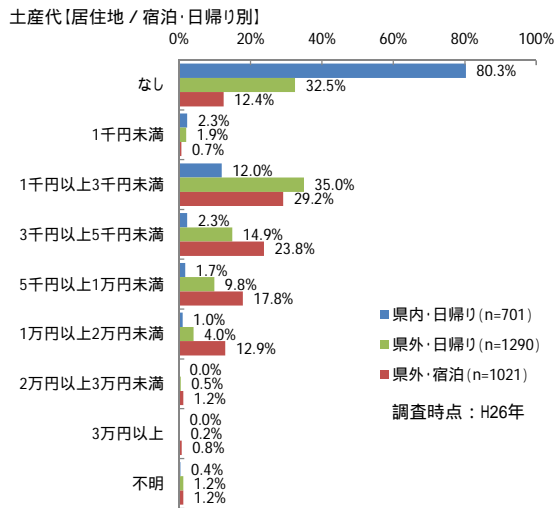
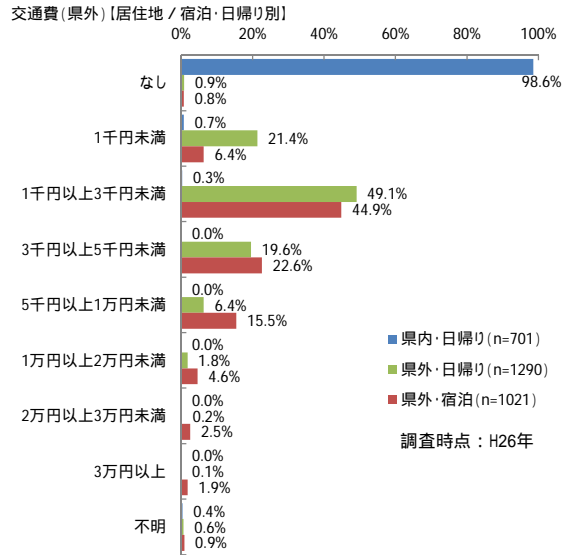
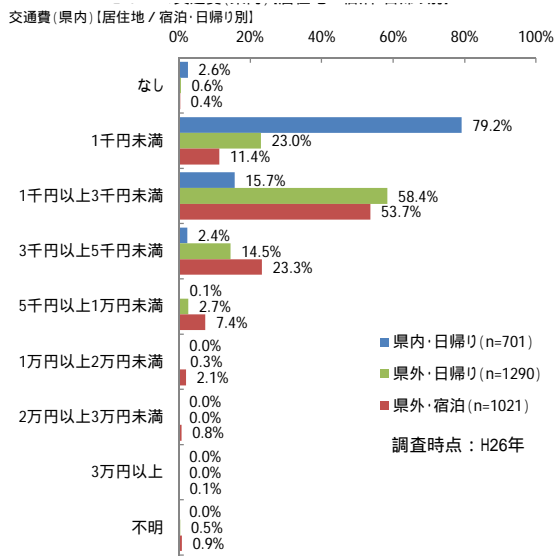


【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%ベース)	H25年 (%ベース)	比較増減(円)	
宿泊全体	27,569	27,108	461	
日帰り	県外客	9,192	8,424	768
	県内客	4,644	4,184	460
	全体	7,592	7,135	457
観光全体	14,401	14,219	182	

消費額合計【居住地/宿泊・日帰り別】



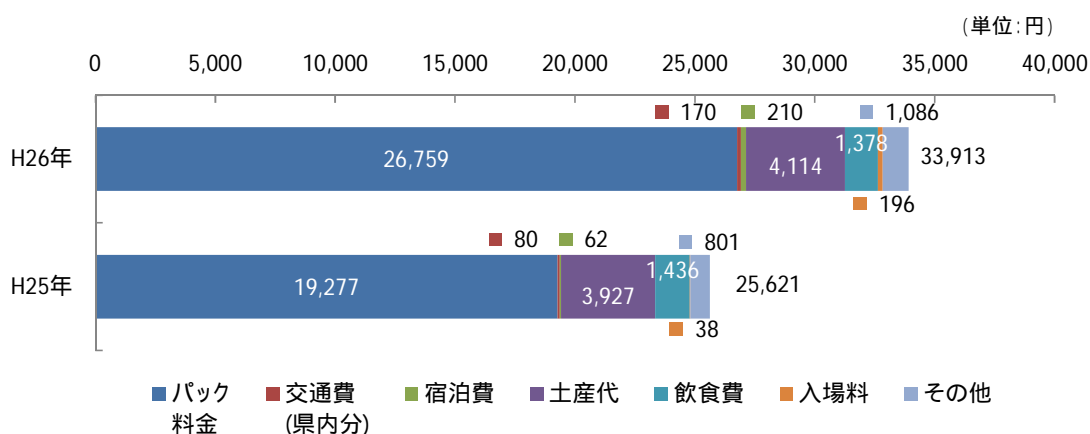


## B. パック旅行客

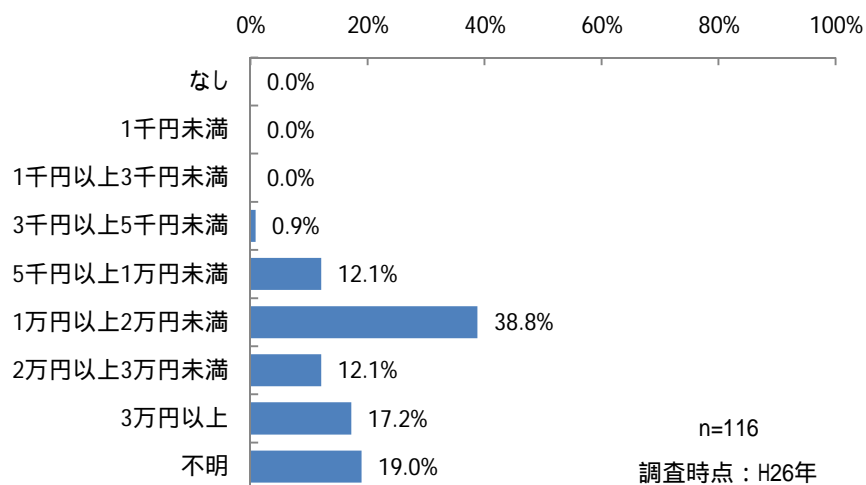
パック料金の平均額は 33,913 円であった。パック料金は「1万円未満」(70.2%) が最も高く、次いで、「3万円以上」(11.7%)である。前年と比較すると、2万円以上の割合が増加し、パック料金の平均額が大きく増加している。

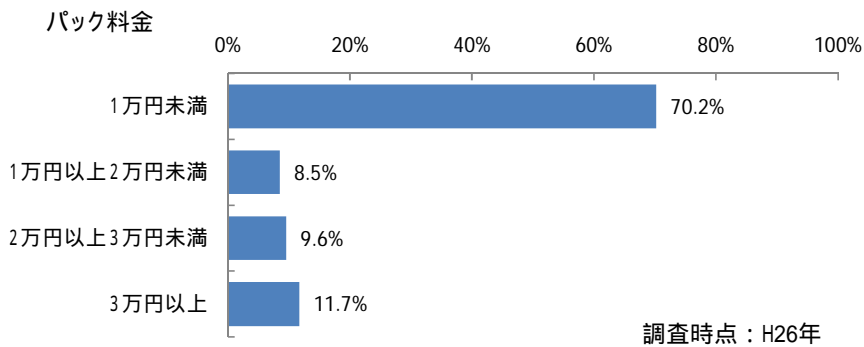
パック料金以外の消費額では「1万円未満」(74.5%) が最も高くなっている。一方で、前年調査と比較して、パック料金同様に2万円以上の割合が増加している。

調査時点: H26年		パック料金	交通費(県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費(県外分)
全体	平均額	26,759	170	210	4,114	1,378	196	1,086	33,913	369
	中央値	8,700	0	0	3,000	750	0	0	12,450	0
(前年)	平均額	19,277	80	62	3,927	1,436	38	801	25,621	0



パック旅行消費額合計

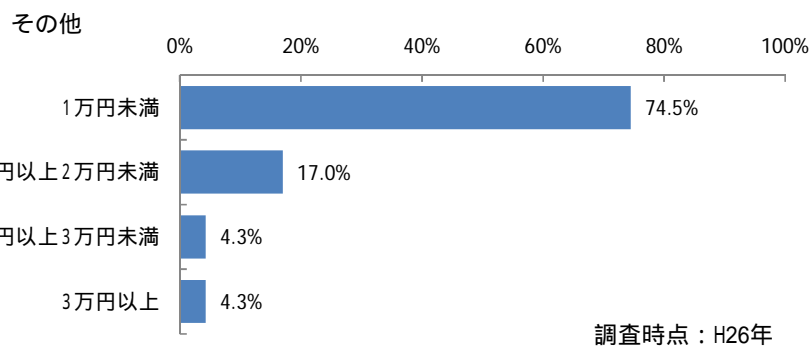




【季節対比・前年対比】

パック料金

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H26年	H25年
平均額(円)	32,809	40,919	30,703	18,595	26,759	19,277
1万円未満	81.5%	33.3%	28.6%	87.8%	70.2%	73.5%
1万円以上2万円未満	0.0%	25.0%	28.6%	2.4%	8.5%	12.9%
2万円以上3万円未満	11.1%	25.0%	14.3%	2.4%	9.6%	5.2%
3万円以上	7.4%	16.7%	28.6%	7.3%	11.7%	8.4%



【季節対比・前年対比】

その他

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H26年	H25年
平均額(円)	7,146	10,514	8,836	6,039	7,154	6,344
1万円未満	77.8%	58.3%	71.4%	78.0%	74.5%	77.4%
1万円以上2万円未満	18.5%	16.7%	7.1%	19.5%	17.0%	19.4%
2万円以上3万円未満	0.0%	8.3%	14.3%	2.4%	4.3%	1.9%
3万円以上	3.7%	16.7%	7.1%	0.0%	4.3%	1.3%

## 観光客の満足度

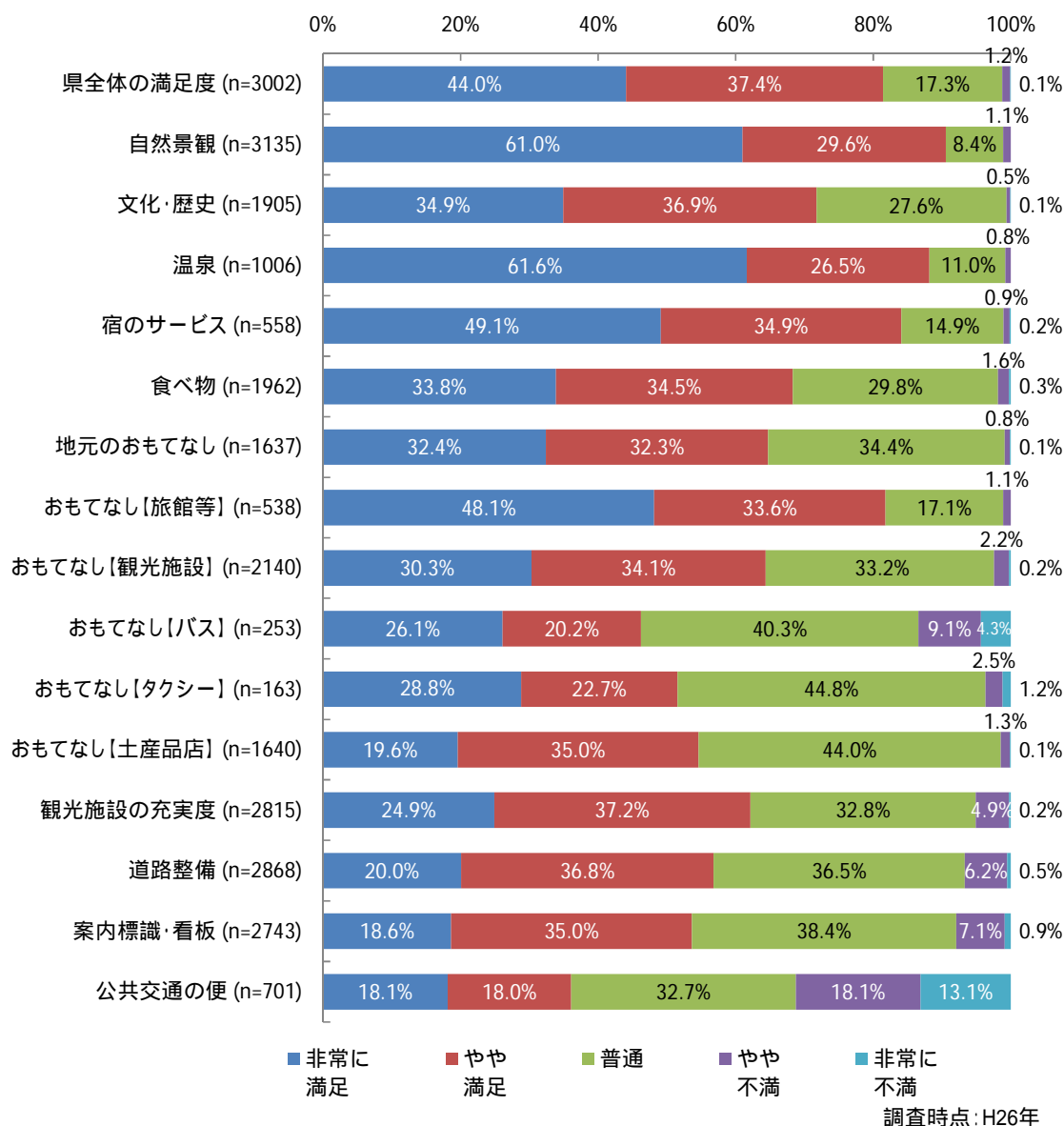
今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び不明を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは、個別項目では「自然景観」（90.6%）で、次いで「温泉」（88.2%）となっている。なお、「山梨県全体の満足度」をプラスに評価した割合は81.4%となっている。

逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」（31.2%）、「おもてなし【バス】」（13.4%）の順となった。

前年調査と比較して、同様の傾向がみられるが、「宿のサービス」「おもてなし【旅館等】」など宿泊関連の項目で『満足』の割合が増加している。

調査時点:H26年	満足			普通	不満	不満	
	満足	非常に満足	やや満足			やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=3002)	81.4%	44.0%	37.4%	17.3%	1.3%	1.2%	0.1%
自然景観 (n=3135)	90.6%	61.0%	29.6%	8.4%	1.1%	1.1%	0.0%
文化・歴史 (n=1905)	71.8%	34.9%	36.9%	27.6%	0.6%	0.5%	0.1%
温泉 (n=1006)	88.2%	61.6%	26.5%	11.0%	0.8%	0.8%	0.0%
宿のサービス (n=558)	84.1%	49.1%	34.9%	14.9%	1.1%	0.9%	0.2%
食べ物 (n=1962)	68.3%	33.8%	34.5%	29.8%	1.9%	1.6%	0.3%
地元のおもてなし (n=1637)	64.7%	32.4%	32.3%	34.4%	0.9%	0.8%	0.1%
おもてなし【旅館等】 (n=538)	81.8%	48.1%	33.6%	17.1%	1.1%	1.1%	0.0%
おもてなし【観光施設】 (n=2140)	64.3%	30.3%	34.1%	33.2%	2.4%	2.2%	0.2%
おもてなし【バス】 (n=253)	46.2%	26.1%	20.2%	40.3%	13.4%	9.1%	4.3%
おもてなし【タクシー】 (n=163)	51.5%	28.8%	22.7%	44.8%	3.7%	2.5%	1.2%
おもてなし【土産品店】 (n=1640)	54.6%	19.6%	35.0%	44.0%	1.5%	1.3%	0.1%
観光施設の充実度 (n=2815)	62.1%	24.9%	37.2%	32.8%	5.1%	4.9%	0.2%
道路整備 (n=2868)	56.8%	20.0%	36.8%	36.5%	6.7%	6.2%	0.5%
案内標識・看板 (n=2743)	53.6%	18.6%	35.0%	38.4%	7.9%	7.1%	0.9%
公共交通の便 (n=701)	36.1%	18.1%	18.0%	32.7%	31.2%	18.1%	13.1%

「わからない」及び不明を除く

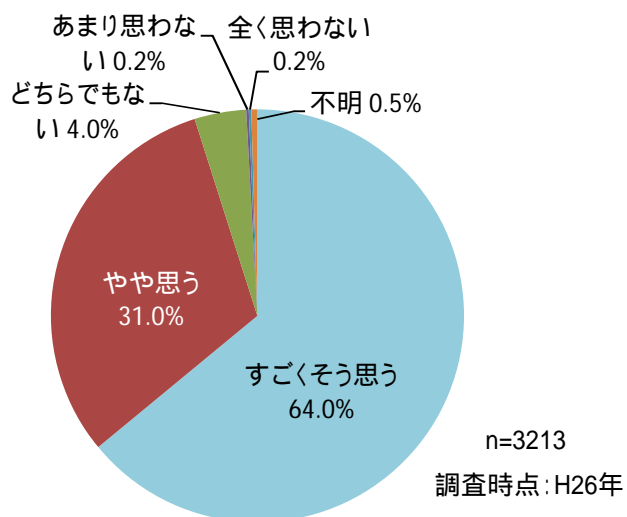


【前年対比】

カテゴリ	H26年 (%ポイント)	H25年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
満足			
自然景観	90.6%	93.5%	3.0%
温泉	88.2%	87.4%	0.8%
宿のサービス	84.1%	78.1%	5.9%
不満			
公共交通	31.2%	29.0%	2.2%
おもてなし【バス】	13.4%	20.1%	6.6%
案内標識・看板	7.9%	8.2%	0.2%

## 再訪希望

県外・海外からの観光客に山梨再訪の意向についてたずねたところ、「すごくそう思う」(64.0%)、「やや思う」(31.0%)があわせて95.0%を占めている。

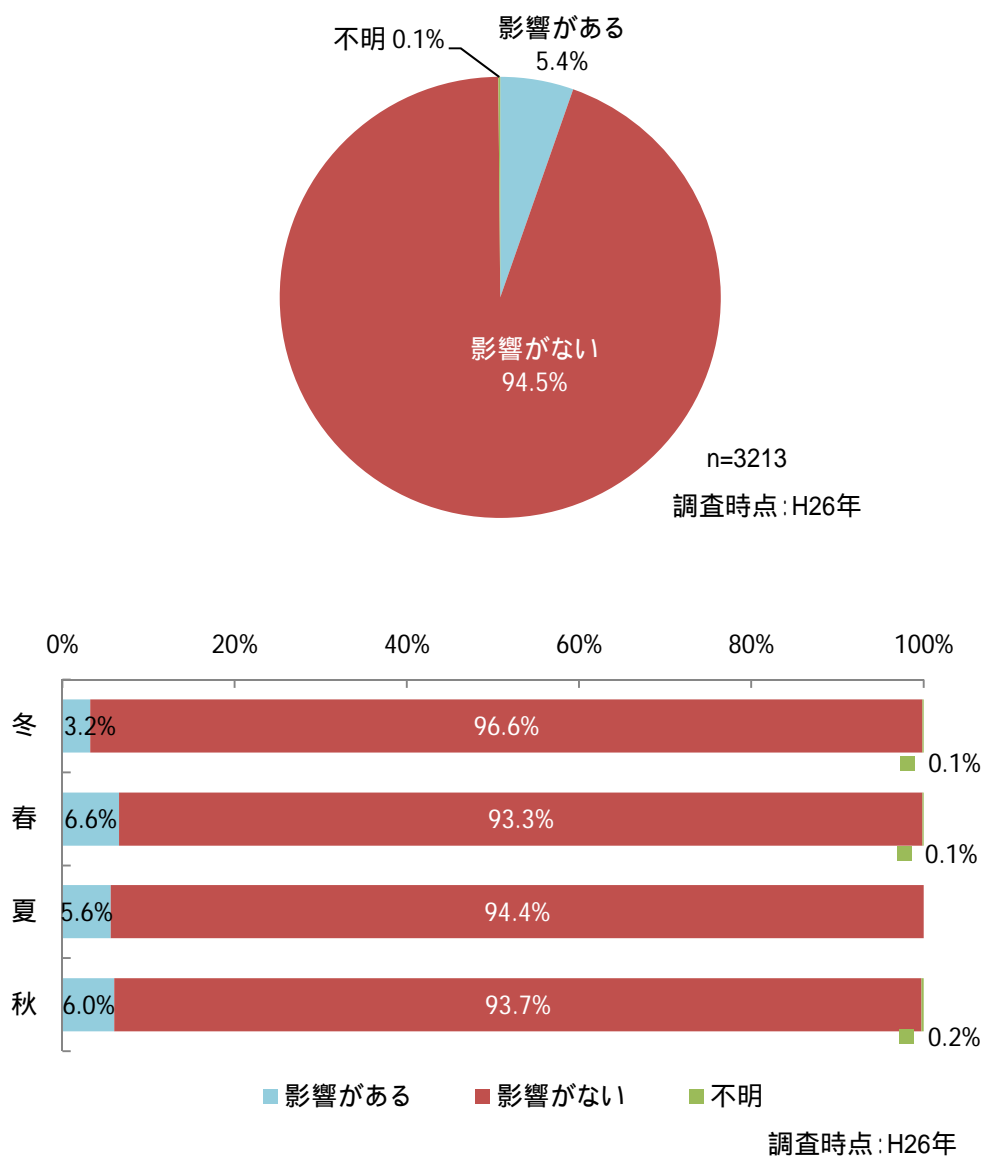




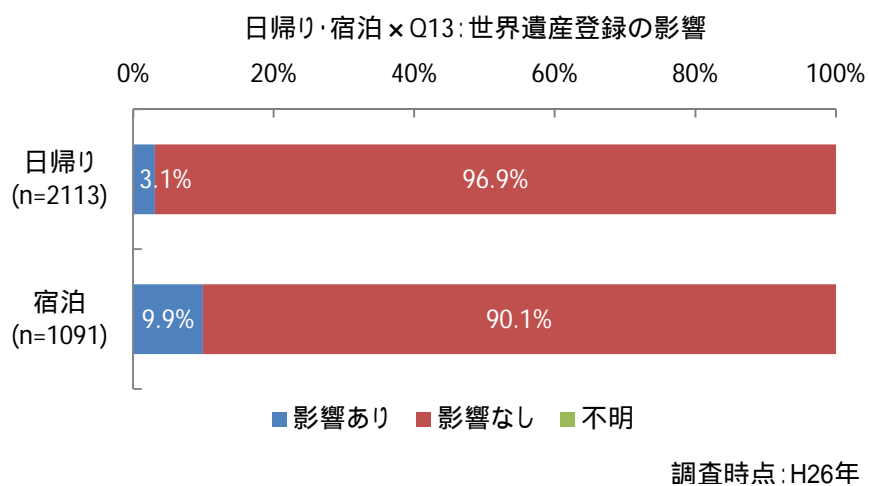
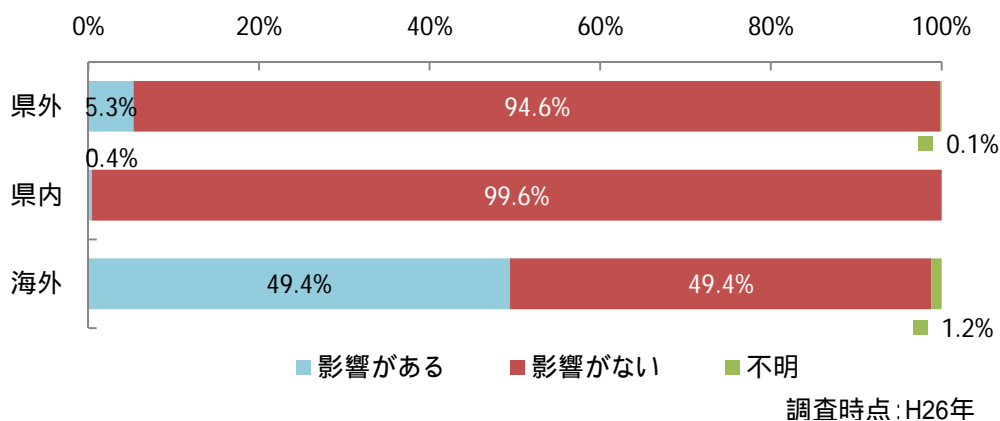
## 世界遺産の影響

今回の旅行が、富士山が世界遺産に登録されたことがきっかけとなったかたずねたところ、「影響がある」と回答した割合は5.4%であった。

季節毎にみても、「影響がある」は冬では3%程度であるが、春以降は6%前後となっている。



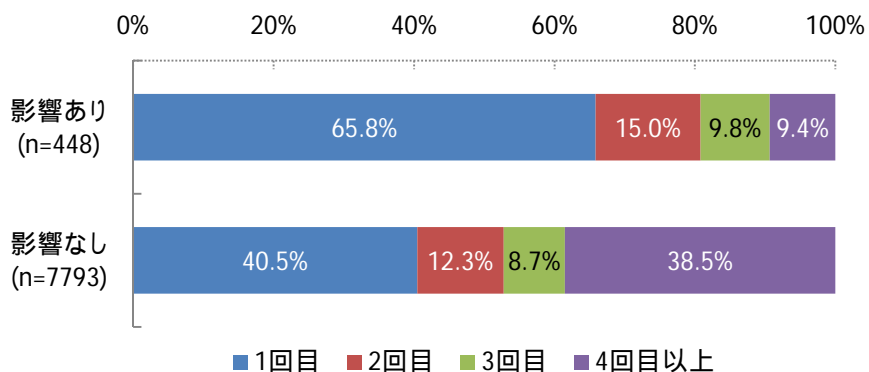
海外からの来訪者では「影響がある」と答えた割合が49.4%と半数近い。  
 また、「影響がある」と回答した人は「宿泊」が「日帰り」と比較して3倍近く多い。



世界文化遺産登録の影響の有無別で、今いる観光地への訪問回数をみると、「影響あり」と回答した人では「1回目」が65.8%であるのに対し、「影響なし」と回答した人では40.5%であった。一方「4回目以上」は、「影響あり」では9.4%にとどまっているが、「影響なし」で38.5%となっている。

本県への訪問回数についても同様の構成となっている。

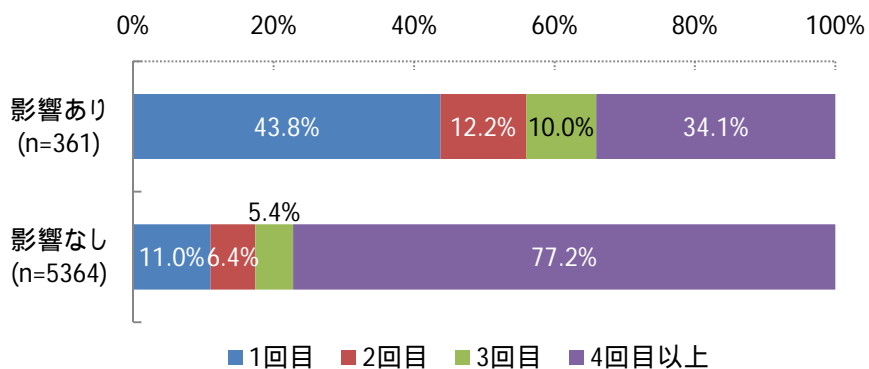
今いる観光地への訪問回数



調査時点：H26年

カテゴリ	影響あり (% <sup>^</sup> -入)	影響なし (% <sup>^</sup> -入)
1回目	65.8%	40.5%
2回目	15.0%	12.3%
3回目	9.8%	8.7%
4回目以上	9.4%	38.5%

本県への訪問回数



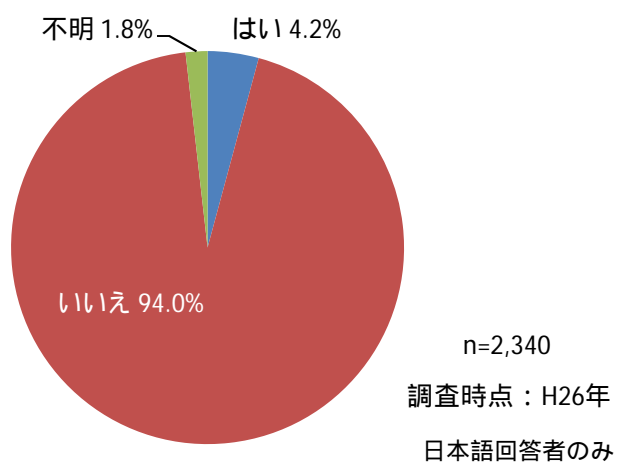
調査時点：H26年

カテゴリ	影響あり (% <sup>^</sup> -入)	影響なし (% <sup>^</sup> -入)
1回目	43.8%	11.0%
2回目	12.2%	6.4%
3回目	10.0%	5.4%
4回目以上	34.1%	77.2%

## テレビドラマ「花子とアン」放映の影響

今回の旅行は、テレビドラマ「花子とアン」放映の影響があったかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は4.2%であった。

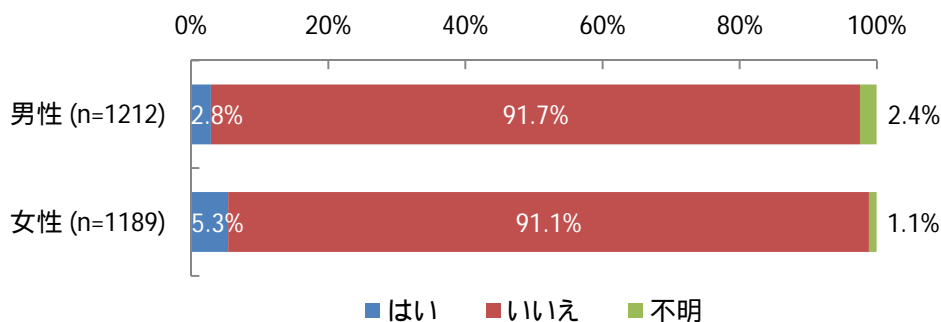
また、春季調査から秋季調査へ移行するにつれ、「はい」が減少し、「いいえ」は増加する傾向が見られた。



カテゴリ	春 (% <sup>^</sup> -ス)	夏 (% <sup>^</sup> -ス)	秋 (% <sup>^</sup> -ス)	年間 (% <sup>^</sup> -ス)
はい	5.3	4.4	2.9	4.2
いいえ	93.2	93.2	95.6	94.0
不明	1.5	2.5	1.5	1.8

性別で比較してみると、「いいえ」が男女で差異はほぼ見られなかったものの、「はい」は、女性の回答割合が男性に比べやや多かった。

性別 × Q14：テレビドラマ「花子とアン」放映の影響

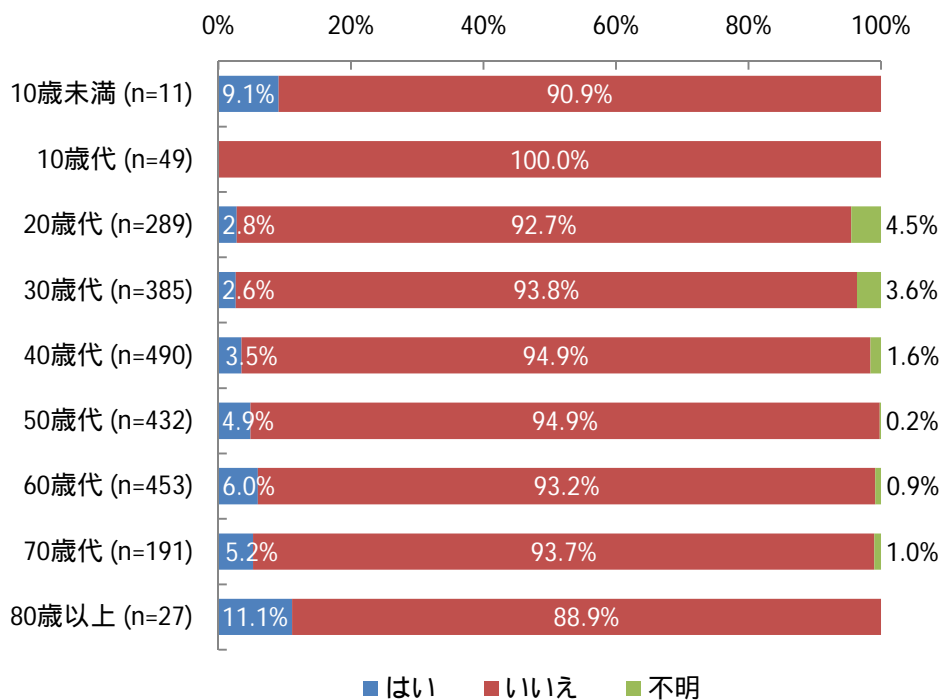


日本語回答者のみ

調査時点：H26年

年代別にみると、80歳以上では「はい」が1割程度あった。一方、10歳代は「いいえ」が100%であった。

年齢 × Q14：テレビドラマ「花子とアン」放映の影響



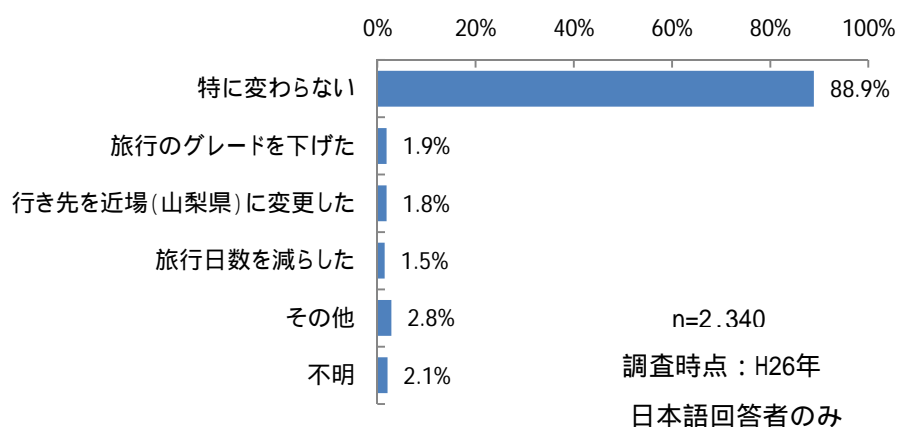
日本語回答者のみ

調査時点：H26年

## 平成 26 年 4 月からの増税の影響

平成 26 年 4 月からの消費税増税を受けて、旅行内容に影響が出たかをきいたところ、「特に変わらない」が 88.9%であり、大多数は影響無いとしている。

春季調査から秋季調査に進んでいくと、「特に変わらない」が若干増加した。



カテゴリ	春 (% <sup>△</sup> -入)	夏 (% <sup>△</sup> -入)	秋 (% <sup>△</sup> -入)	年間 (% <sup>△</sup> -入)
特に変わらない	86.2	86.6	87.9	88.9
旅行のグレードを下げた	1.7	2.1	2.8	1.9
行き先を近場(山梨県)に変更した	1.8	2.3	1.3	1.8
旅行日数を減らした	2.2	2.3	1.0	1.5
その他	4.4	3.2	3.3	2.8
不明	1.8	2.8	1.5	2.1

## (2) 性別・年代別の観光客の特徴

アンケート回答者の性別及び年代（20～70 歳代）別に特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。（10 歳代及び 80 歳以上はサンプル数が少ない為除外。）

交通手段

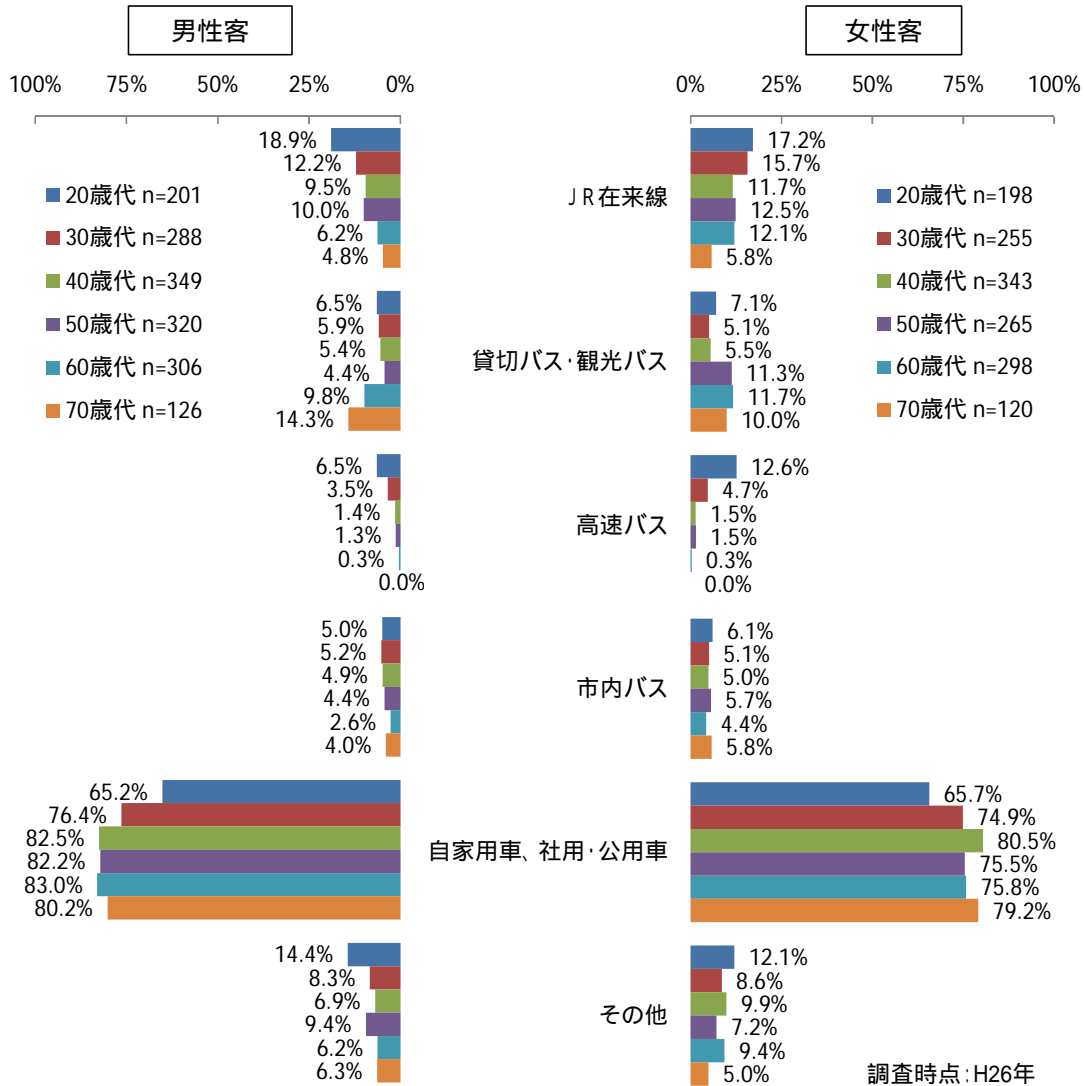
旅行の主な目的

旅行計画の参考資料

滞在状況（日帰り・宿泊）

### 交通手段

交通手段は、性別・年代別を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も高くなっているが、20 歳代では男女ともやや割合が低く、相対的に「JR 在来線」や「高速バス」の割合が比較的高くなっている。また、70 歳代男性や 50 歳代以上の女性では「貸切バス・観光バス」の割合が比較的高い。



調査時点：H26年

\* 複数回答

## 旅行の主な目的

旅行目的の割合が高い上位3項目をみると、「自然を楽しむ」は男女ともに全ての年代で高くなっており、「温泉を楽しむ」も30、40歳代女性以外で高くなっている。ほかに男女ともに20～40歳代で「行楽（遊園地、観光施設等）」、男性50歳代以上では「名所・旧跡・歴史」、女性30～60歳代では「ショッピング」の割合が高くなっている。

男女で大きな差はみられなかったが、「名所・旧跡・歴史」では男性が、「ショッピング」では女性が高くなっている。

男性	20歳代 (n=201)	30歳代 (n=288)	40歳代 (n=349)	50歳代 (n=320)	60歳代 (n=306)	70歳代 (n=126)	合計 (n=1,648)
自然を楽しむ	27.4%	38.5%	23.2%	30.9%	32.7%	37.3%	30.8%
温泉を楽しむ	20.9%	26.4%	21.2%	31.6%	33.7%	27.8%	26.5%
名所・旧跡・歴史	17.4%	24.0%	16.9%	20.3%	25.5%	25.4%	21.1%
行楽(遊園地、観光施設等)	42.8%	29.9%	25.2%	15.6%	8.8%	10.3%	22.3%
慰安旅行	5.0%	2.4%	2.6%	2.2%	3.9%	0.8%	2.9%
登山・トレッキング	2.5%	2.1%	1.7%	1.6%	2.3%	4.8%	2.1%
スポーツ・レクリエーション	5.0%	6.3%	10.6%	4.7%	4.6%	3.2%	6.2%
収穫体験	2.0%	1.7%	1.1%	1.3%	2.3%	0.8%	1.5%
ものづくり体験	1.0%	1.0%	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%
ショッピング	13.9%	17.4%	19.2%	18.8%	21.9%	11.1%	17.7%
郷土料理	7.5%	8.0%	2.9%	6.3%	5.9%	4.8%	5.6%
文化・芸術	6.0%	4.5%	8.6%	7.2%	5.6%	14.3%	7.1%
祭り・イベント	5.5%	2.4%	5.2%	2.2%	2.0%	1.6%	3.3%
保養・休養	3.0%	4.9%	2.9%	7.5%	8.8%	8.7%	5.7%
旅先での出会い・交流	3.5%	1.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	1.0%
目的地とは別の立寄り	0.5%	2.1%	1.4%	0.9%	2.0%	1.6%	1.5%
その他	6.0%	12.5%	13.5%	16.3%	12.7%	19.0%	13.1%
不明	3.0%	2.8%	2.6%	3.1%	2.3%	0.8%	2.5%
サンプル数	201	288	349	320	306	126	1,648

女性	20歳代 (n=198)	30歳代 (n=255)	40歳代 (n=343)	50歳代 (n=265)	60歳代 (n=298)	70歳代 (n=120)	合計 (n=1,536)
自然を楽しむ	27.3%	32.2%	28.9%	29.4%	35.6%	27.5%	30.0%
温泉を楽しむ	16.7%	20.8%	18.4%	24.2%	31.9%	34.2%	23.4%
名所・旧跡・歴史	10.6%	13.3%	13.7%	14.3%	19.8%	23.3%	15.2%
行楽(遊園地、観光施設等)	42.9%	27.8%	23.3%	9.4%	4.4%	8.3%	20.0%
慰安旅行	1.0%	1.2%	0.6%	2.3%	2.0%	1.7%	1.4%
登山・トレッキング	2.0%	2.0%	1.5%	2.3%	2.0%	0.8%	1.8%
スポーツ・レクリエーション	4.5%	6.3%	4.4%	1.5%	1.0%	0.0%	3.4%
収穫体験	4.5%	3.1%	4.7%	3.4%	2.3%	1.7%	3.5%
ものづくり体験	1.5%	1.2%	0.6%	0.4%	0.7%	0.0%	0.7%
ショッピング	12.1%	22.4%	25.4%	29.4%	23.5%	13.3%	22.2%
郷土料理	4.5%	5.1%	4.4%	6.0%	4.4%	5.0%	4.8%
文化・芸術	3.0%	8.2%	9.3%	10.2%	13.1%	13.3%	9.6%
祭り・イベント	1.5%	3.5%	3.5%	4.5%	5.4%	7.5%	4.2%
保養・休養	1.0%	4.7%	6.1%	10.2%	5.4%	6.7%	5.6%
旅先での出会い・交流	1.5%	1.6%	0.0%	0.4%	0.7%	0.8%	0.8%
目的地とは別の立寄り	1.0%	0.8%	1.5%	0.4%	1.0%	0.8%	1.0%
その他	12.1%	10.2%	14.6%	14.7%	16.4%	24.2%	14.6%
不明	3.0%	3.5%	2.9%	3.8%	2.3%	3.3%	3.0%
サンプル数	198	255	343	265	298	120	1,536

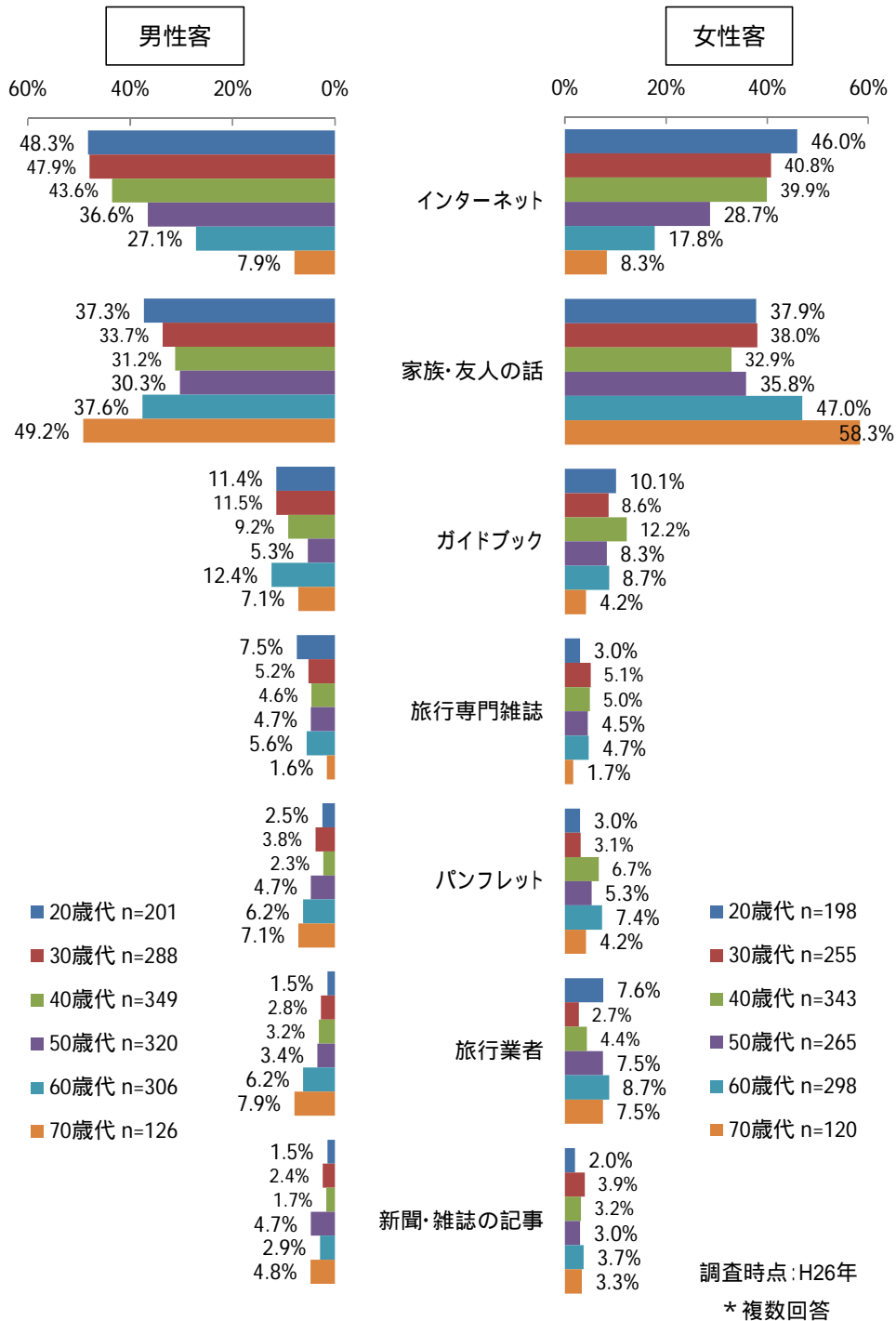
■ 上位3位

\* 複数回答



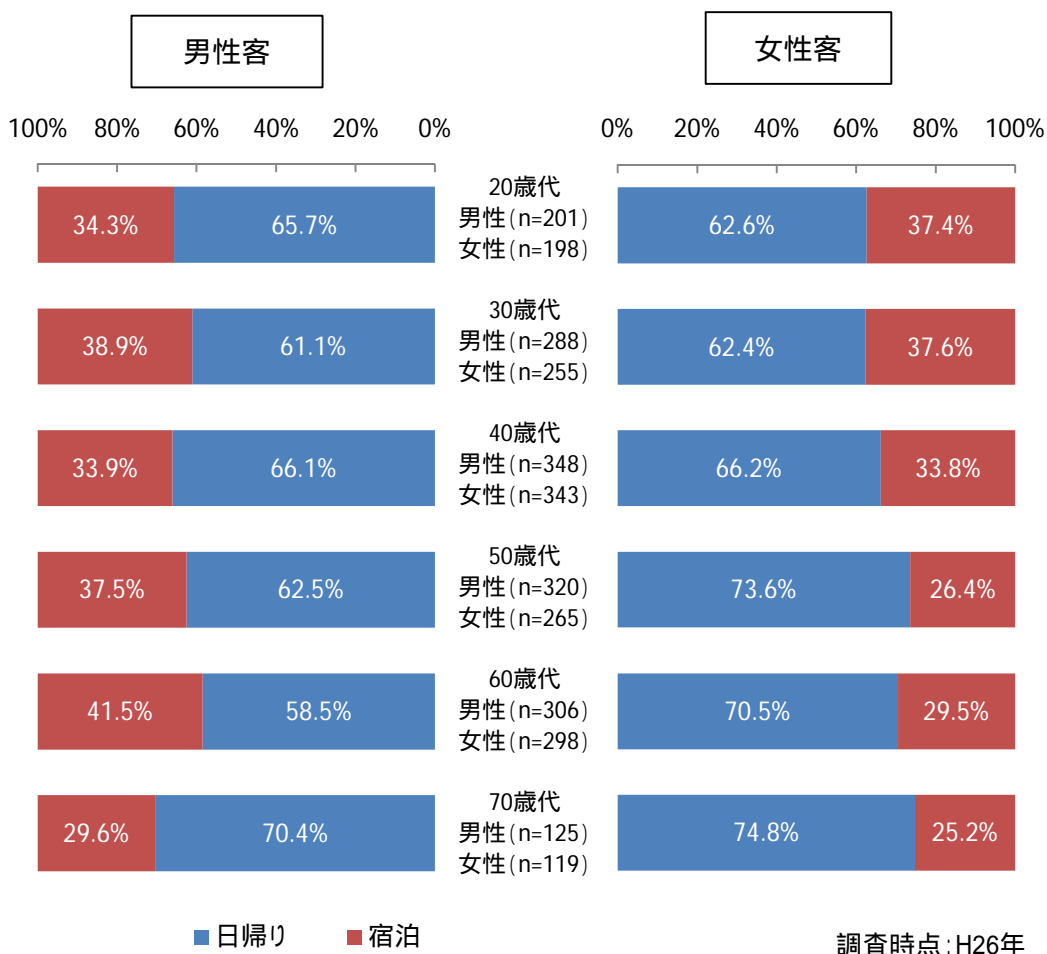
## 旅行計画の参考資料

旅行の際に参考にする資料は、ほぼ全ての性別・年代で「家族・友人の話」が高い割合となっているが、20～50歳代の男性と20～40歳代の女性では「インターネット」が最も高くなっている。



## 滞在状況（日帰り・宿泊）

旅行形態（宿泊か日帰りか）を分析すると、宿泊の割合は男性では60歳代（41.5%）が最も高く、70歳代（29.6%）で最も低くなっている。女性客では30歳代（37.6%）が最も高く、70歳代（25.2%）で最も低くなっている。



### (3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

アンケート回答者の属性

同行者

観光客のグループ形態

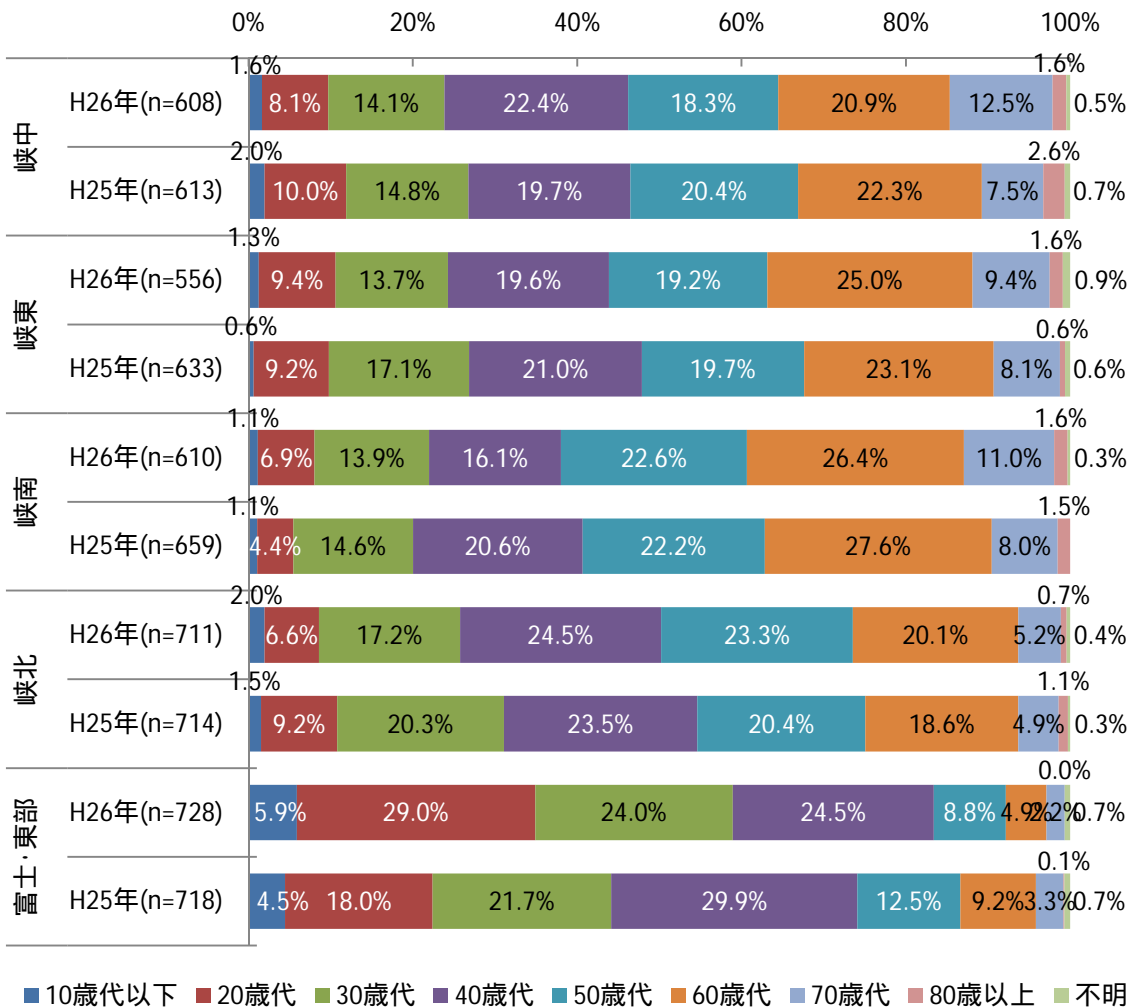
滞在状況（日帰り・宿泊）

観光客の満足度

#### アンケート回答者の属性

年代構成をみると、「峡中」、「峡東」、「峡北」はほぼ県全体と同じ傾向を示しているが、「峡南」で50歳代以上が61.6%を占め、他の圏域よりも高齢者の割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳代以下が82.4%を占めている。

また、前年調査と比較すると「富士・東部」を除く全ての圏域で30歳代の割合が減少し、60歳代以上の割合が増加している。

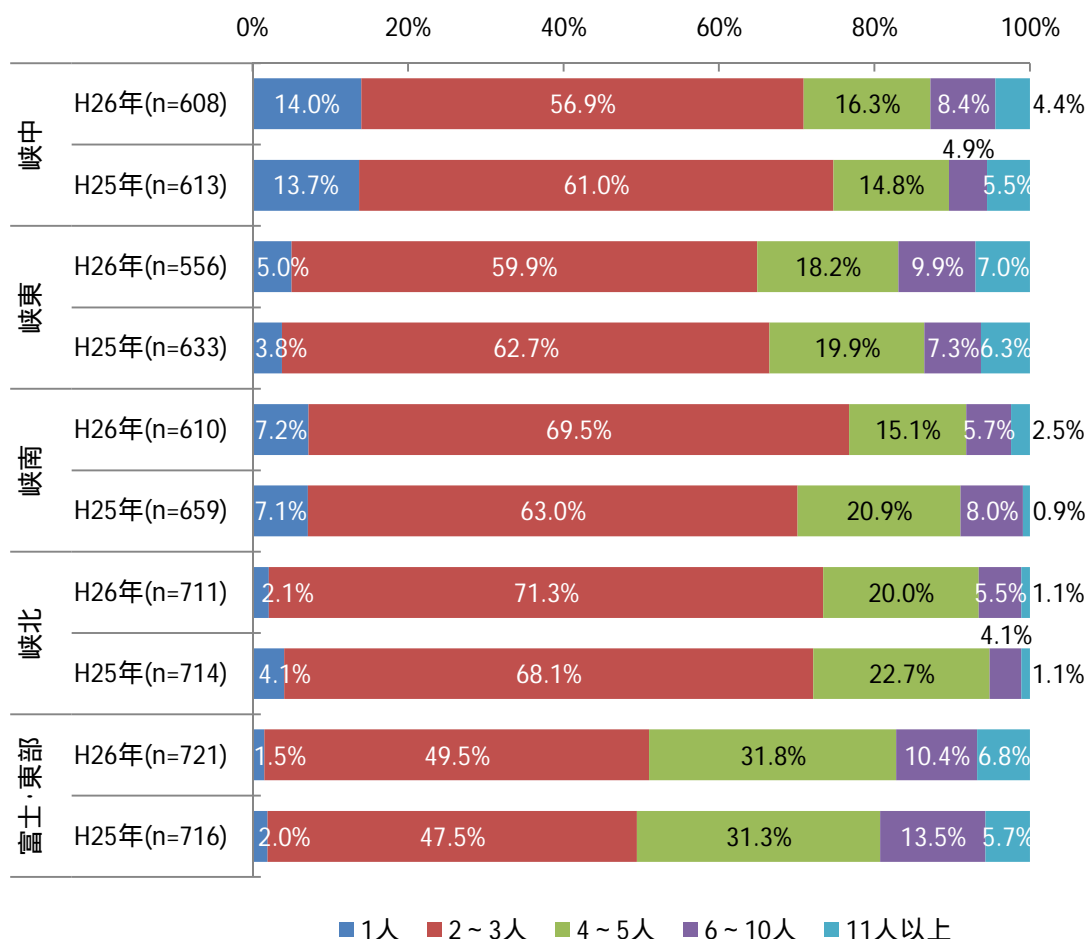


## 同行者

旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高いが、「富士・東部」では4人以上の割合が49.0%と他の圏域に比べて高くなっている。また、「峡中」では「1人」の割合が高い(14.0%)。

前年と同じような傾向であった。

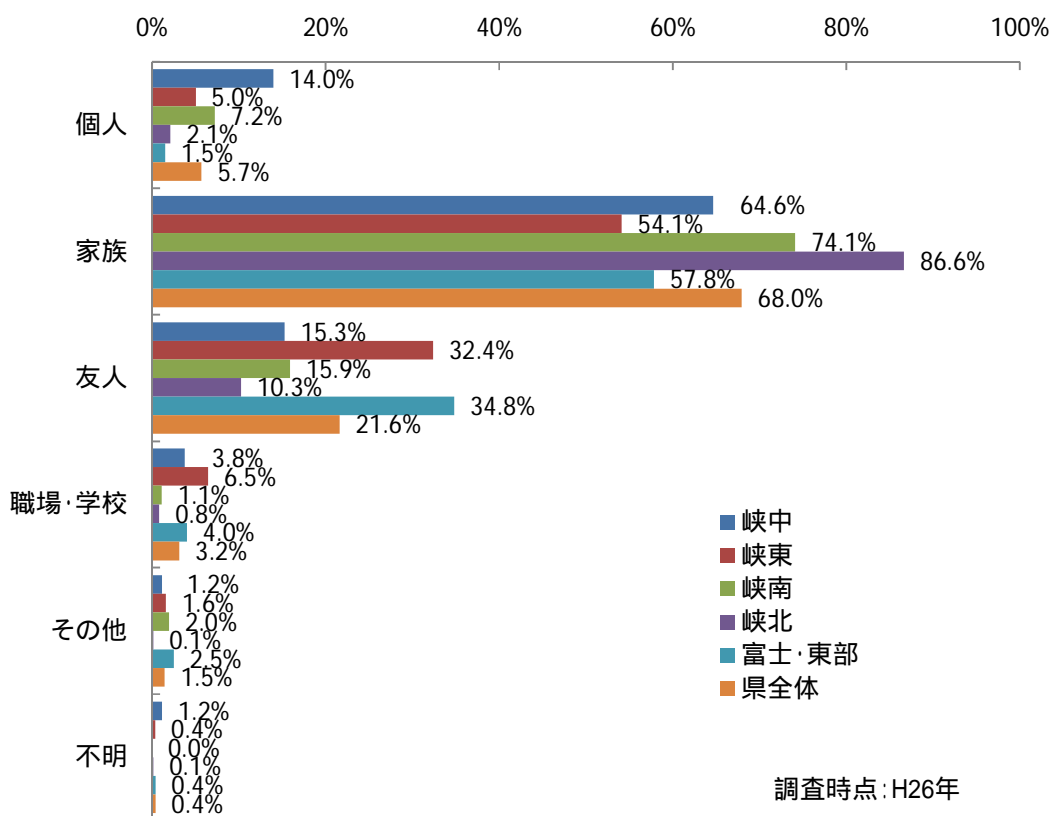
	峡中		峡東		峡南		峡北		富士・東部	
	H26年 (n=608)	H25年 (n=613)	H26年 (n=556)	H25年 (n=633)	H26年 (n=610)	H25年 (n=659)	H26年 (n=711)	H25年 (n=714)	H26年 (n=721)	H25年 (n=716)
1人	14.0%	13.7%	5.0%	3.8%	7.2%	7.1%	2.1%	4.1%	1.5%	2.0%
2～3人	56.9%	61.0%	59.9%	62.7%	69.5%	63.0%	71.3%	68.1%	49.5%	47.5%
4～5人	16.3%	14.8%	18.2%	19.9%	15.1%	20.9%	20.0%	22.7%	31.8%	31.3%
6～10人	8.4%	4.9%	9.9%	7.3%	5.7%	8.0%	5.5%	4.1%	10.4%	13.5%
11人以上	4.4%	5.5%	7.0%	6.3%	2.5%	0.9%	1.1%	1.1%	6.8%	5.7%



## 観光客のグループ形態

グループ形態では、いずれの圏域も「家族」が最も高く、特に「峡北」では 86.6% に達している。

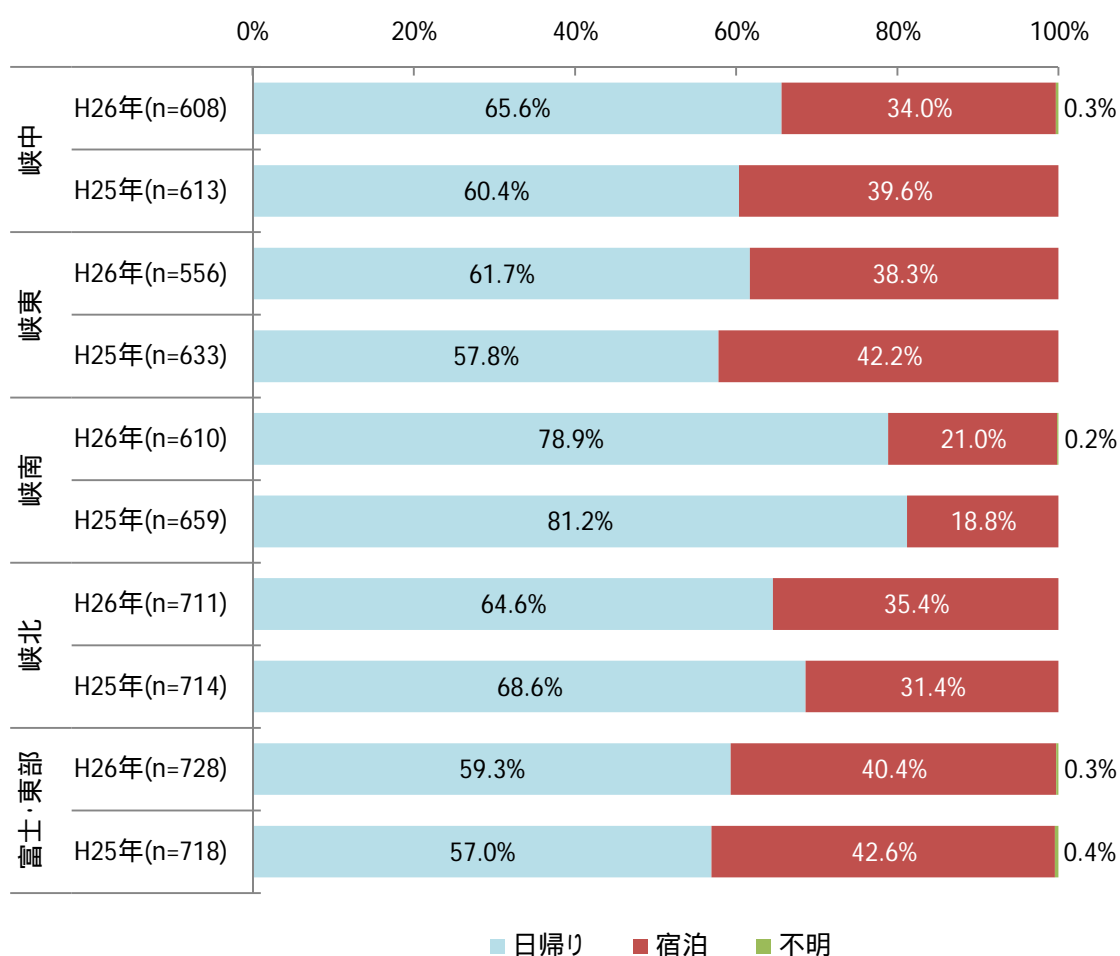
「峡東」「富士・東部」では、「家族」が他圏域に比べて低くなっている代わりに、「友人」(それぞれ 32.4%、34.8%)が高く、「峡中」では「個人」(14.0%)の割合が高い。



### 滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況（日帰り・宿泊）をみると、「日帰り」では「峡南」（78.9%）が他圏域に比べ高くなっており、「宿泊」では「富士・東部」（40.4%）、「峡東」（38.3%）が4割前後を占めている。

前年調査と比較すると、「峡南」「峡北」では「宿泊」の割合が増加したものの、「峡中」「峡東」「富士・東部」では減少している。

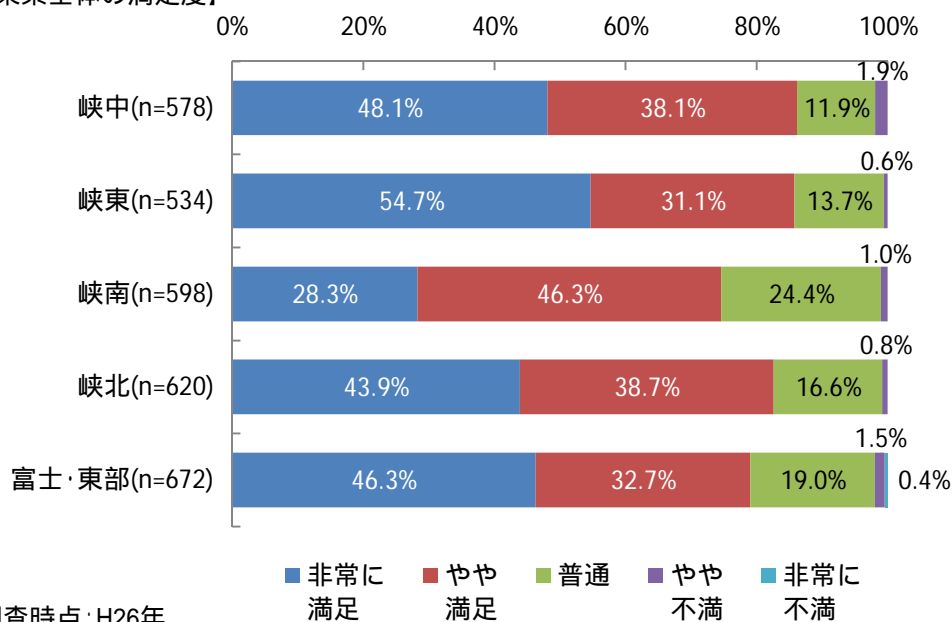


## 観光客の満足度

### 山梨県全体

山梨県全体に対する満足度は、「非常に満足」とやや「満足」をあわせると、全ての圏域で7割以上が満足と回答している。また、「非常に満足」だけをみると、峡東(54.7%)が最も割合が高く、峡中、峡北、富士・東部も4割以上となっているが、峡南は28.3%に留まっている。

【山梨県全体の満足度】



#### 峡中

「文化・歴史」に対する満足度（非常に満足＋やや満足）は県平均に比べて高くなっているが、「公共交通の便」「おもてなし【バス】」など交通関係の項目を中心に多くの項目で県平均を下回っている。

#### 峡東

多くの項目で満足度が県平均を上回っており、特に「おもてなし【タクシー】」「道路整備」「案内標識・看板」といった交通関係の項目が他の圏域と比較して最も高い。その一方で、「文化・歴史」の満足度は最も低くなっている。

#### 峡南

他の圏域と比較して、「山梨県全体の満足度」が最も低い。「温泉」「食べ物」「おもてなし【観光施設】」などの満足度は県平均を上回っているものの、非常に満足の割合が低い項目が多くなっている。

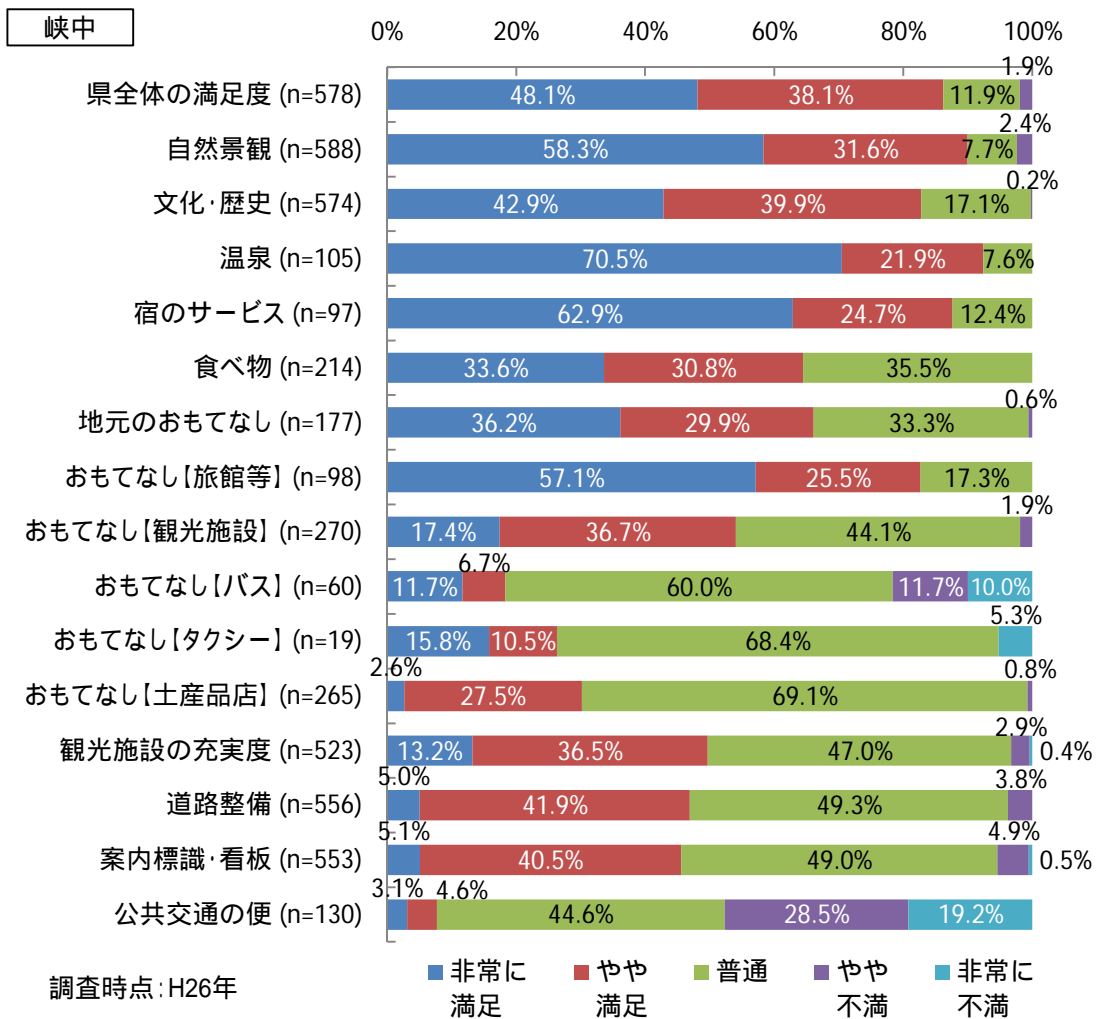
#### 峡北

「食べ物」「道路整備」「案内標識・看板」などの満足度が県平均を上回っている。一方、「温泉」「観光施設の充実」の満足度は県平均を大きく下回っている。

#### 富士・東部

おもてなし関連の項目については、すべての項目で県平均を上回っており、非常に満足の割合も高い。特に、「おもてなし【バス】」「観光施設の充実度」「公共交通の便」については、他の圏域と比較して最も満足度が高くなっている。

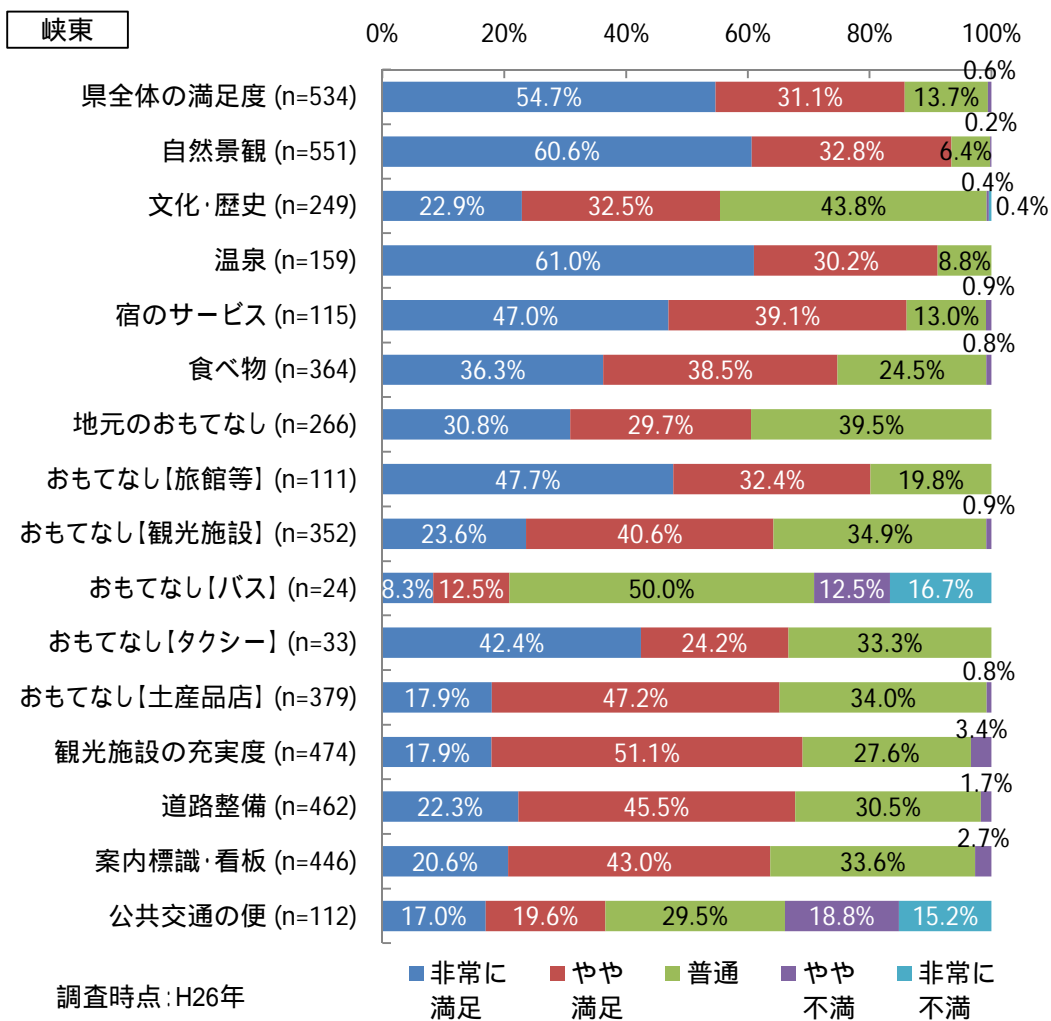




【県全体との差分】

【峡中】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=578)	4.1	0.7	-5.4	0.7	-0.1
自然景観 (n=588)	-2.7	2.1	-0.7	1.3	-0.0
文化・歴史 (n=574)	7.9	3.0	-10.5	-0.4	-0.1
温泉 (n=105)	8.8	-4.6	-3.4	-0.8	0.0
宿のサービス (n=97)	13.8	-10.2	-2.5	-0.9	-0.2
食べ物 (n=214)	-0.2	-3.6	5.7	-1.6	-0.3
地元のおもてなし (n=177)	3.8	-2.4	-1.1	-0.2	-0.1
おもてなし【旅館等】 (n=98)	9.0	-8.1	0.2	-1.1	0.0
おもてなし【観光施設】 (n=270)	-12.9	2.6	10.8	-0.3	-0.2
おもてなし【バス】 (n=60)	-14.4	-13.5	19.7	2.6	5.7
おもてなし【タクシー】 (n=19)	-13.0	-12.2	23.6	-2.5	4.0
おもてなし【土産品店】 (n=265)	-16.9	-7.5	25.1	-0.6	-0.1
観光施設の充実度 (n=523)	-11.7	-0.7	14.3	-2.0	0.1
道路整備 (n=556)	-15.0	5.2	12.8	-2.4	-0.5
案内標識・看板 (n=553)	-13.6	5.5	10.6	-2.2	-0.3
公共交通の便 (n=130)	-15.0	-13.4	11.9	10.3	6.1

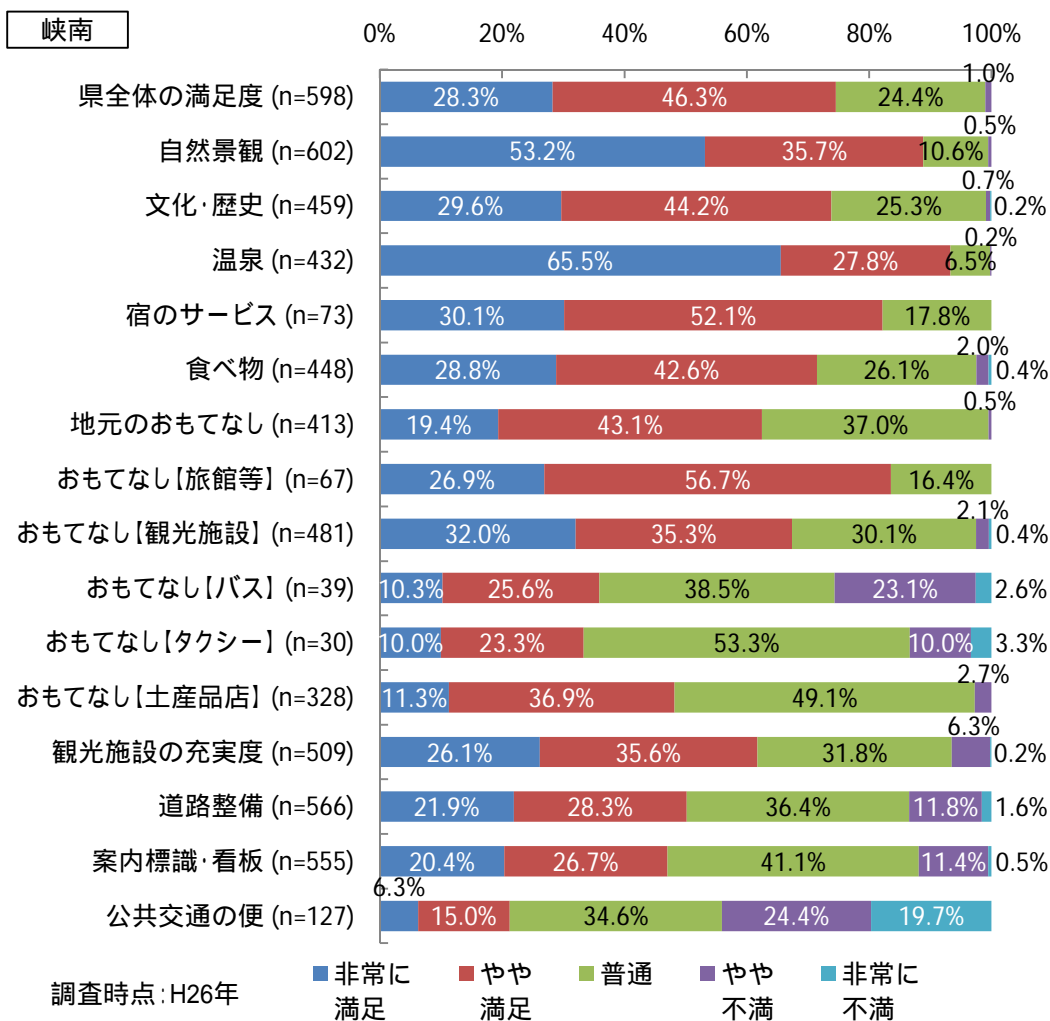
+10ポイント以上  
 0ポイント以上+10ポイント未満  
 -10ポイント以上0ポイント未満  
 -10ポイント未満



【県全体との差分】

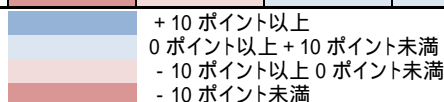
【峡東】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=534)	10.6	-6.3	-3.6	-0.6	-0.1
自然景観 (n=551)	-0.4	3.3	-2.0	-0.9	-0.0
文化・歴史 (n=249)	-12.0	-4.3	16.2	-0.1	0.3
温泉 (n=159)	-0.6	3.6	-2.2	-0.8	0.0
宿のサービス (n=115)	-2.1	4.2	-1.8	-0.0	-0.2
食べ物 (n=364)	2.4	4.0	-5.4	-0.8	-0.3
地元のおもてなし (n=266)	-1.5	-2.6	5.1	-0.8	-0.1
おもてなし【旅館等】 (n=111)	-0.4	-1.2	2.7	-1.1	0.0
おもてなし【観光施設】 (n=352)	-6.7	6.6	1.7	-1.3	-0.2
おもてなし【バス】 (n=24)	-17.8	-7.7	9.7	3.4	12.3
おもてなし【タクシー】 (n=33)	13.6	1.5	-11.5	-2.5	-1.2
おもてなし【土産品店】 (n=379)	-1.6	12.2	-9.9	-0.5	-0.1
観光施設の充実度 (n=474)	-7.0	13.8	-5.1	-1.5	-0.2
道路整備 (n=462)	2.2	8.7	-6.0	-4.4	-0.5
案内標識・看板 (n=446)	2.0	8.1	-4.8	-4.4	-0.9
公共交通の便 (n=112)	-1.2	1.7	-3.2	0.6	2.1

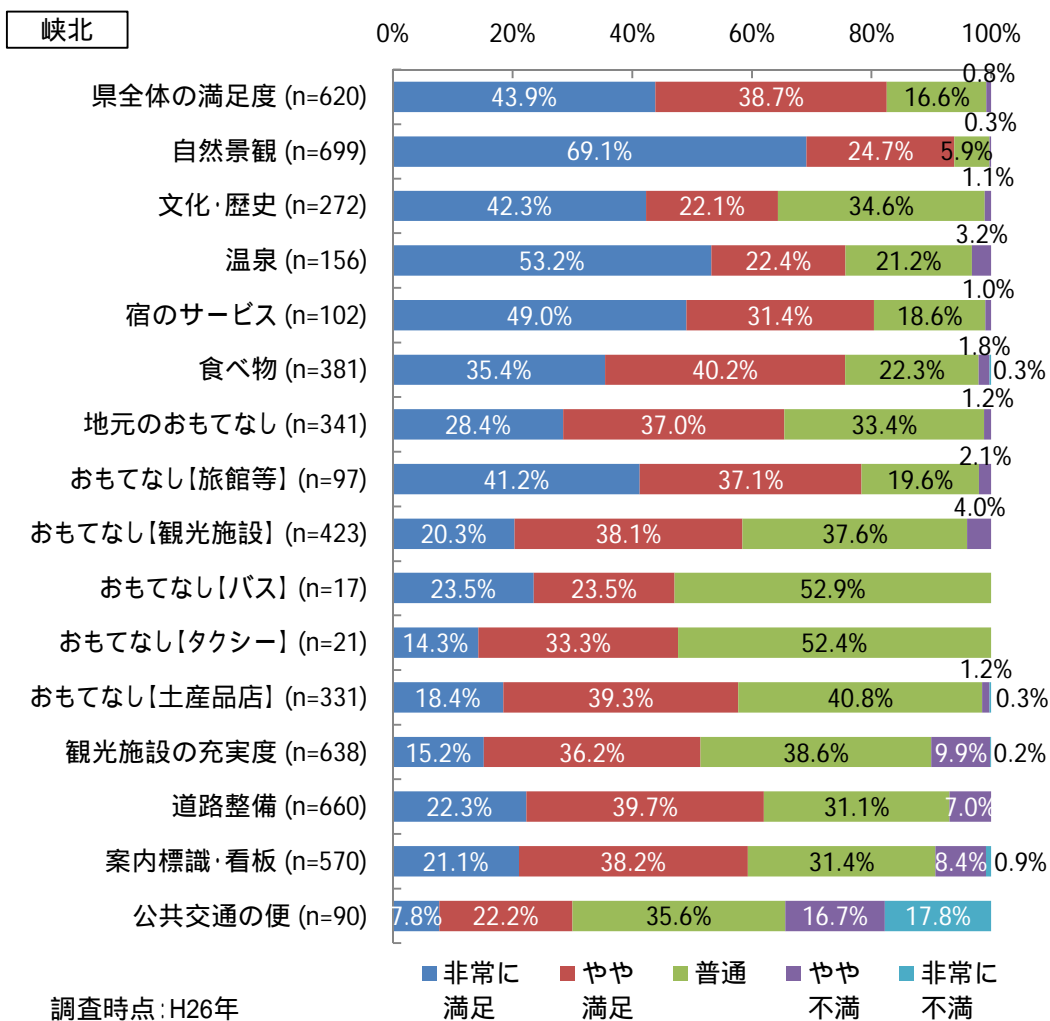
+10ポイント以上  
 0ポイント以上+10ポイント未満  
 -10ポイント以上0ポイント未満  
 -10ポイント未満



【県全体との差分】

【峡南】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=598)	-15.8	8.9	7.1	-0.2	-0.1
自然景観 (n=602)	-7.8	6.1	2.3	-0.6	-0.0
文化・歴史 (n=459)	-5.3	7.4	-2.3	0.1	0.1
温泉 (n=432)	3.9	1.2	-4.6	-0.6	0.0
宿のサービス (n=73)	-19.0	17.1	2.9	-0.9	-0.2
食べ物 (n=448)	-5.0	8.2	-3.7	0.4	0.2
地元のおもてなし (n=413)	-13.0	10.8	2.7	-0.3	-0.1
おもてなし【旅館等】 (n=67)	-21.3	23.1	-0.7	-1.1	0.0
おもてなし【観光施設】 (n=481)	1.7	1.3	-3.1	-0.1	0.2
おもてなし【バス】 (n=39)	-15.8	5.5	-1.9	14.0	-1.8
おもてなし【タクシー】 (n=30)	-18.8	0.6	8.5	7.5	2.1
おもてなし【土産品店】 (n=328)	-8.3	1.9	5.1	1.4	-0.1
観光施設の充実度 (n=509)	1.2	-1.7	-0.9	1.4	-0.1
道路整備 (n=566)	1.9	-8.5	-0.1	5.7	1.1
案内標識・看板 (n=555)	1.7	-8.3	2.7	4.3	-0.3
公共交通の便 (n=127)	-11.8	-3.0	2.0	6.3	6.6

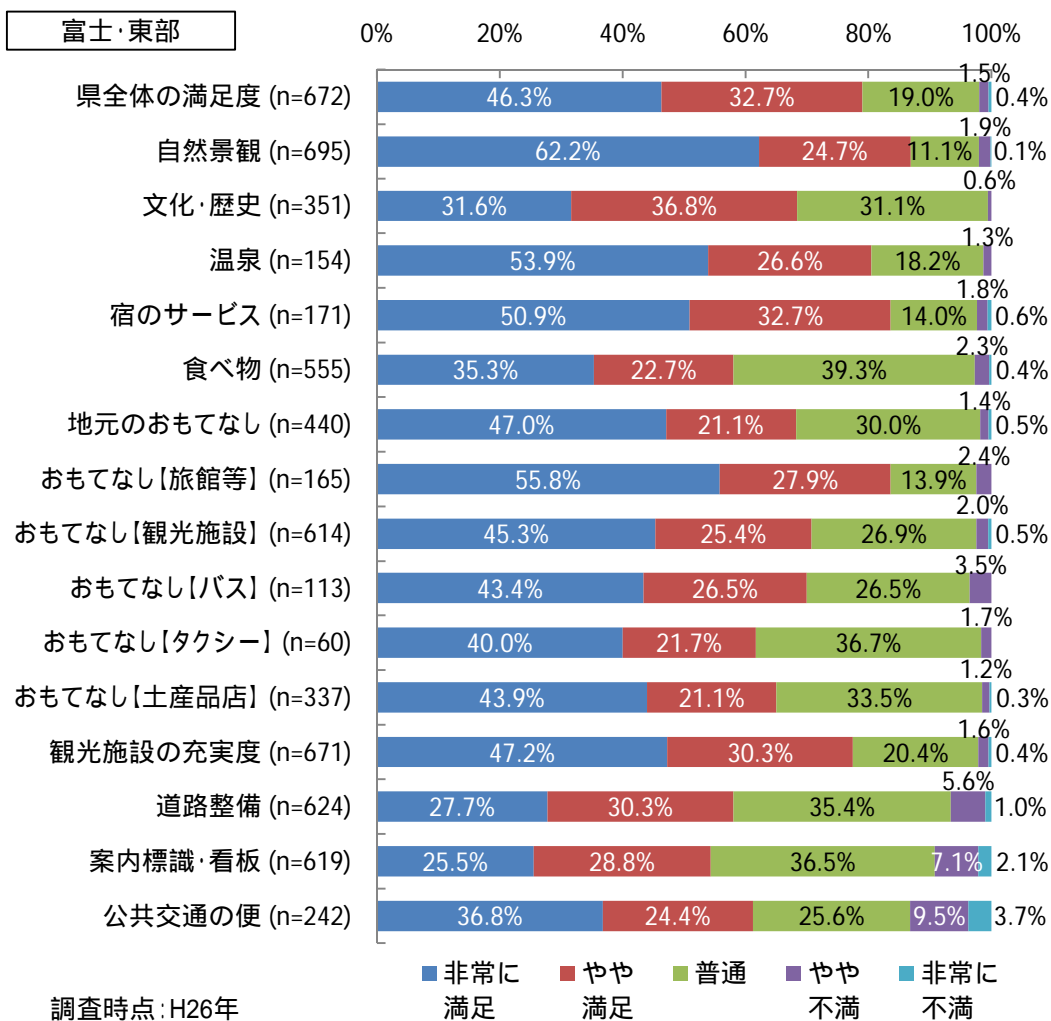




【県全体との差分】

【峡北】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=620)	-0.2	1.3	-0.7	-0.4	-0.1
自然景観 (n=699)	8.1	-4.8	-2.5	-0.8	-0.0
文化・歴史 (n=272)	7.4	-14.8	6.9	0.6	-0.1
温泉 (n=156)	-8.4	-4.1	10.1	2.4	0.0
宿のサービス (n=102)	-0.1	-3.6	3.8	0.1	-0.2
食べ物 (n=381)	1.6	5.7	-7.5	0.2	0.0
地元のおもてなし (n=341)	-3.9	4.6	-1.0	0.4	-0.1
おもてなし【旅館等】 (n=97)	-6.9	3.5	2.5	0.9	0.0
おもてなし【観光施設】 (n=423)	-9.9	4.0	4.4	1.8	-0.2
おもてなし【バス】 (n=17)	-2.6	3.4	12.6	-9.1	-4.3
おもてなし【タクシー】 (n=21)	-14.5	10.6	7.6	-2.5	-1.2
おもてなし【土産品店】 (n=331)	-1.1	4.3	-3.2	-0.1	0.2
観光施設の充実度 (n=638)	-9.7	-1.0	5.8	5.0	-0.1
道路整備 (n=660)	2.2	2.9	-5.4	0.8	-0.5
案内標識・看板 (n=570)	2.4	3.2	-7.0	1.3	0.0
公共交通の便 (n=90)	-10.3	4.2	2.9	-1.5	4.7

+10 ポイント以上  
 0 ポイント以上+10 ポイント未満  
 -10 ポイント以上0 ポイント未満  
 -10 ポイント未満



【県全体との差分】

【富士・東部】県全体との比較	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=672)	2.2	-4.7	1.8	0.3	0.3
自然景観 (n=695)	1.2	-4.8	2.7	0.8	0.1
文化・歴史 (n=351)	-3.3	-0.1	3.4	0.0	-0.1
温泉 (n=154)	-7.7	0.1	7.1	0.5	0.0
宿のサービス (n=171)	1.8	-2.2	-0.8	0.9	0.4
食べ物 (n=555)	1.5	-11.8	9.5	0.7	0.1
地元のおもてなし (n=440)	14.7	-11.2	-4.4	0.6	0.3
おもてなし【旅館等】 (n=165)	7.6	-5.8	-3.2	1.3	0.0
おもてなし【観光施設】 (n=614)	15.0	-8.7	-6.4	-0.2	0.3
おもてなし【バス】 (n=113)	17.3	6.4	-13.8	-5.6	-4.3
おもてなし【タクシー】 (n=60)	11.2	-1.0	-8.1	-0.8	-1.2
おもてなし【土産品店】 (n=337)	24.3	-13.9	-10.4	-0.2	0.2
観光施設の充実度 (n=671)	22.3	-7.0	-12.3	-3.2	0.2
道路整備 (n=624)	7.7	-6.5	-1.1	-0.6	0.4
案内標識・看板 (n=619)	6.9	-6.2	-1.9	0.0	1.2
公共交通の便 (n=242)	18.7	6.4	-7.0	-8.6	-9.4

+ 10 ポイント以上  
 0 ポイント以上 + 10 ポイント未満  
 - 10 ポイント以上 0 ポイント未満  
 - 10 ポイント未満

### 3. アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名：_____)	海外の場合(国名：_____)
山梨県内の場合 > (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。それぞれ1つだけ

性別	1. 男性	2. 女性							
年齢	1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。 1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。 いくつでも

1. 日帰り	2. 宿泊
宿泊数 _____ 泊	
そのうち県内 _____ 泊	
県内宿泊施設数 _____ 施設	

↓

< 県内宿泊施設 >									
1. 実家や知人・親戚宅	2. 旅館	3. ホテル	4. ペンション・民宿	5. 保養所・研修所	6. キャンプ場	7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊	8. 別荘・リゾートマンション	9. 会員制の宿泊施設	10. その他

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。 1つだけ

また観光の場合、その目的はなんですか(複数回答可)

1. ビジネス	2. 観光	3. 帰省	4. (1~3のどれでもない) その他
観光目的			
1. 自然を楽しむ	2. 温泉を楽しむ	3. 名所、旧跡、歴史	4. 行楽(遊園地、観光施設等)
5. 慰安旅行	6. 登山、トレッキング	7. スポーツ、レクリエーション	8. 収穫体験
9. ものづくり体験	10. ショッピング	11. 郷土料理	12. 文化、芸術
13. 祭り、イベント	14. 保養、休養	15. 旅先での出会い・交流	16. 目的地とは別の立ち寄り
17. その他			

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。 子供や乳幼児も含む

( _____ ) 人			
2人以上の場合			
> 1. 家族	2. 友人	3. 職場・学校等の団体旅行	4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。 回答の合計はQ5と一致

1. 知らない	2. <u>知っている</u>	1回目の人数( _____ )人、	2回目の人数( _____ )人
		3回目の人数( _____ )人、	4回目以上の人数( _____ )人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたの山梨県への訪問割合はどれくらいですか。

また、ご一緒のみなさん全員の、当県の訪問が何回目かご存じですか。 回答の合計はQ5と一致

訪問割合	1. 1年に1回以上	2. 2~3年に1回程度	3. 5年に1回程度
	4. 10年に1回程度	5. 今回の旅行が初めて	
1. 知らない	2. <u>知っている</u>	1回目の人数( _____ )人、	2回目の人数( _____ )人
		3回目の人数( _____ )人、	4回目以上の人数( _____ )人

Q8 . 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

- 1.家族・友人の話 2.観光案内所・情報センター 3.旅行者 4.テレビ・ラジオの番組  
 5.テレビ・ラジオのCM 6.インターネット 7.新聞・雑誌の記事 8.新聞・雑誌の広告・チラシ  
 9.ガイドブック 10.旅行専門雑誌 11.旅行・歴史等に関する本、小説  
 12.観光物産展、キャンペーン 13.パンフレット 14.駅・車内のポスター 15.その他( )

Q9 . 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

	ここに來る前にいた場所			現在地		これから行く予定の場所	
居住地	→	→	→	調査地点	→	→	居住地
	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )

**【表】交通機関**

J R 新幹線	J R 在來線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス
高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	
レンタカー	自家用車、社用・公用車		その他	

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに來る前にいた県			現在地		これから行く予定の県	
居住地	→	→	→	当 県	→	→	居住地
	交通機関 ( )	交通機関 ( )			交通機関 ( )	交通機関 ( )	

交通機関は上表から選択

Q10 . 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください。

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入

今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用
交通費	(県内分) 円		(県外分) 円
宿泊費	(県内分) 円		
土産代	(県内分) 円		
飲食費	(県内分) 円		
入場料	(県内分) 円		
その他	(県内分) 円		
バック料金			円
		↑	県内分のみ もしくは 県外分含む

Q11．今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの 印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1.山梨県全体の満足度	1	2	3	4	5	6
2.自然景観	1	2	3	4	5	6
3.文化・歴史	1	2	3	4	5	6
4.温泉	1	2	3	4	5	6
5.宿のサービス	1	2	3	4	5	6
6.食べ物	1	2	3	4	5	6
7.旅先でのおもてなし	1	2	3	4	5	6
旅館等	1	2	3	4	5	6
観光施設	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	3	4	5	6
土産品店	1	2	3	4	5	6
8.観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
9.道路整備	1	2	3	4	5	6
10.案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
11.公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q12．県外又は外国にお住まいの方に伺います。また山梨に来てみたいと思いますか。

1. すごく思う	2. やや思う	3. どちらでもない
4. あまり思わない	5. 全く思わない	

Q13．今回の旅行は、富士山が世界遺産に登録されたことがきっかけとなりましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q14．今回の旅行は、テレビドラマ「花子とアン」を見たことがきっかけとなりましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q15．平成26年4月からの消費税増税を受けて、旅行内容への影響はありましたか。(複数回答可)

1. 行き先を近場(山梨県)に変更した	2. 旅行日数を減らした
3. 旅行のグレードを下げた	4. 特に変わらない
5. その他( )	

Q16．山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。

調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1.観_共通_日				:	

調査員記入欄

調査地点名:	調査年月日:平成 年 月 日
調査員名:	調査時刻:( : )